長野県立美術館

2024年度
令和6年度

館報　27

目次

はじめに　5

1. 美術館概要
特徴　6
沿革　7
施設概要　本館・東山魁夷館　8
施設概要　東山魁夷館　10
長野県立美術館条例　12
長野県立美術館規則　14
歴代館長　15

2. 展覧会概要　16

3. 各展覧会の記録
企画展　19
オープンギャラリー展示　38
アートラボ展示　42
本館　コレクション展　47
東山魁夷館　コレクション展　58
交流名品展　68
移動展　70

4. 交流・学習係
(1)　交流事業
（善光寺平アートライン、地域との連携事業、県内大学等連携事業、インクルーシブ・プロジェクト）　74
(2)　学習事業
（スクールプログラム、鑑賞プログラム、アート・コミュニケータ）　77

5. アートライブラリー　86

6. 収蔵品貸出　87

7. 新収蔵作品　89

8. 広報・マーケティング室事業　91

9. その他
(1)その他事業　93
(2)利用案内　94

はじめに

長野県立美術館の使命は県民をはじめとする多くの人びとの豊かで文化的な生活と、創造性あふれる人づくりに貢献することです。それを実現するために、「鑑賞」「学び」「交流」「研究」という4本の柱を軸に活動を行っています。

令和6（2024）年度は、まず「鑑賞」事業として、新聞社やテレビ局などメディアとの共催展「ダリ版画展−奇想のイメージ」展、「京都 細見美術館の名品−琳派、若冲、ときめきの日本美術−」展を、自主企画展「生誕150年池上秀畝 高精細画人」展、「NAMコレクション2024 特集展示 自然と人間／あいだの美術」展、「信州から考える 絵画表現の50年」展を開催しました。特に「池上秀畝」展は練馬区立美術館の学芸員との長年の共同研究が実った巡回展で、作家の生誕地である長野県伊那市を中心に同時に複数の関連する展覧会が開催されました。また、「絵画表現の50年」展は戦後から1995年までの日本の絵画表現を信州の作家18人の作品によって考えるという、まさに当館でなければできない意欲的な展覧会でした。本館及び東山魁夷館でのコレクション展では、各5期に分けてそれぞれのテーマで展示替えを行い、美術館に何度来ても違った角度でお楽しみいただけるようにしました。結果、約531,000人のお客様にご来館いただき、約161,000人の方に展覧会をご覧いただきました。

「学び」については、美術と人をつなぎアートの楽しさを伝えるために、こどもから大人までを対象とした各種のプログラムを用意しました。鑑賞プログラム（こどもアートラボ、おやこでトーク、おとなもトーク、ギャラリートーク、講演会他）や、次世代の学芸員を目指す学生のための博物館実習、教員のスキルアップのためのプログラム等を実施しました。スクールプログラム（学校団体鑑賞）では累計89校、3,621人の児童・生徒・教員を受け入れました。また、当館は「アート・コミュニケータ」というユニークな取組を進めています。「アート・コミュニケータ」は、美術館を拠点に、世代や職業を問わず多様なメンバーが、人とアートのつなぎ手として自発的に活動しています。令和6年度は4期生を募集し、多くの応募があった中、26人の仲間が加わりました。その他にインクルーシブ・プロジェクトとして、全職員が参加して行う「障がいのある方のための特別鑑賞日」を2回実施。美術館が垣根のないコミュニケーションの場となるよう、その可能性を模索しています。

「交流」事業は、県内外の美術館や地域の団体等と連携し、中核的な文化施設としての使命を積極的に果たしています。双方のコレクションを活かした「交流展」として諏訪市美術館で「交差する諏訪―風景と人々」展を、当館のコレクションをより多くの人々に鑑賞していただくための「移動展」は、飯山市美術館と長野県伊那文化会館で開催しました。また、オープンギャラリーでは「山の画家 足立源一郎」展を開催したほか、第4回目となる公開制作には新進作家の原田裕規を迎え好評を得ました。その他に商工団体や観光施設などとの連携や、県立長野図書館や長野県立歴史館等と「信州知の連携フォーラム」へ参加、山の洲文化財交流事業（新潟県、長野県、山梨県、静岡県）では「高木こずえ《琵琶島》×原始美術工芸品」展を開催しました。さらに地域の信州たかやまワイナリーと共同で当館オリジナルワインを制作し、信州アーツカウンシル等と連携して「ランドスケープ・ミュージアム×風テラスワイン」と題して試飲会を実施。善光寺平アートライン推進協議会の活動他、地域の様々な施設や団体・企業と連携し、文化観光を推進するとともに、地域社会に文化芸術とのつながりを広げました。

「研究」は美術館のあらゆる事業の基礎をなすものです。その成果は自主企画展やコレクション展、オープンギャラリー展示や各種学習プログラム等で成果を挙げています。また当館は、前身の長野県信濃美術館が昭和41（1966）年の開館以来半世紀以上にわたって培った4,600点を超えるコレクションを引き継ぎ、令和3（2021）年のリニューアル・オープンを契機に、4つの収集方針を設け、さらなるコレクションの充実を図ってきました。令和6年度は4作家6点の作品を購入し、11作家74点の寄贈を受け入れ、コレクション数は5,809点になりました。アートライブラリーでは美術図書や展覧会図録、雑誌等を収集保存し公開しており、令和6年度は1,195冊の図書資料を受入れ、9,119人のお客様にご利用いただきました。

長野県立美術館は今後も様々な事業をとおして、過去を学び現在を考え、未来につなげていくような、美術館が人と人との結節点になるよう努力いたします。

令和7年5月

長野県立美術館
館長　笠原 美智子

特徴

長野県立美術館は、昭和41年（1966年）、県民の声を受けて善光寺に隣接する城山公園内に財団法人信濃美術館として発足し、昭和44年（1969年）に長野県に移管されて以来、信州における唯一の県立美術館「長野県信濃美術館」として活動してきました。平成2年（1990年）には東山魁夷館が開館。令和3年（2021年）には本館が新築され、「長野県立美術館」へと改称し、現在に至ります。

本館では、「鑑賞」「学び」「交流」「研究」の4つの柱を軸に、郷土作家の作品、信州の風景画を中心とした近現代美術の収集とコレクション展や企画展の開催、美術団体などへの作品発表の場の提供、多様な学習プログラムの提供、館外における交流活動、近現代美術の研究・発信などを積極的に行っています。

これらの活動を通じて、美術家・学芸員・来館者など、そこに集うすべての人びとが互いに学び合う「人本位の美術館」であるとともに、暮らしに文化のうるおいと創造の喜びを吹き込み、さらに美術を通じて県内外を結ぶ「交流や観光の拠点」となる美術館を目指します。
そして、県民をはじめとする多くの皆様の「豊かで文化的な生活」と、「創造性あふれる人づくり」に貢献することが使命です。

■長野県立美術館の4つの柱

1　多様なアートと出会い、世界観を広げる「鑑賞」

本館及び東山魁夷館において収集・保管している作品のコレクション展のほか、企画展や県下各地での移動展を通じて、多くのみなさまが近代美術から現代美術まで、質の高いアートに出会える機会を提供します。

2　アートを通じて豊かな心を育み、生きる喜びを実感する「学び」

世代を越えて誰もが参加できるプログラムを提供するほか、来館者とアートを結ぶアート・コミュニケータの活動を通じて、アートを楽しく学ぶことができる環境づくりに寄与します。

3　他者との協働により、深く新しい視座を開拓する「交流」

県内各地の美術館などの文化施設、美術家のグループ、また地域の観光施設などとアートを介して連携することにより、地域の拠点施設としての役割も担います。

4　美術作品などの文化資源を調査研究し、公開する「研究」

多彩なコレクションを文化資源として調査研究を深めていくとともに、アートに関する最新の調査研究の成果や美術書を中心とした蔵書等のデータベースを公開していきます。

東山魁夷館

東山魁夷館は、長野県が日本画家・東山魁夷（1908−1999）から作品と関係図書の寄贈を受け、長野県信濃美術館に併設して建設され、平成2年（1990年）4月に開館しました。およそ2〜3カ月に一度の割合で展示替えをし、「風景は心の鏡である」という東山芸術の世界をお楽しみいただいています。

コレクション・ポリシー（作品の収集方針）

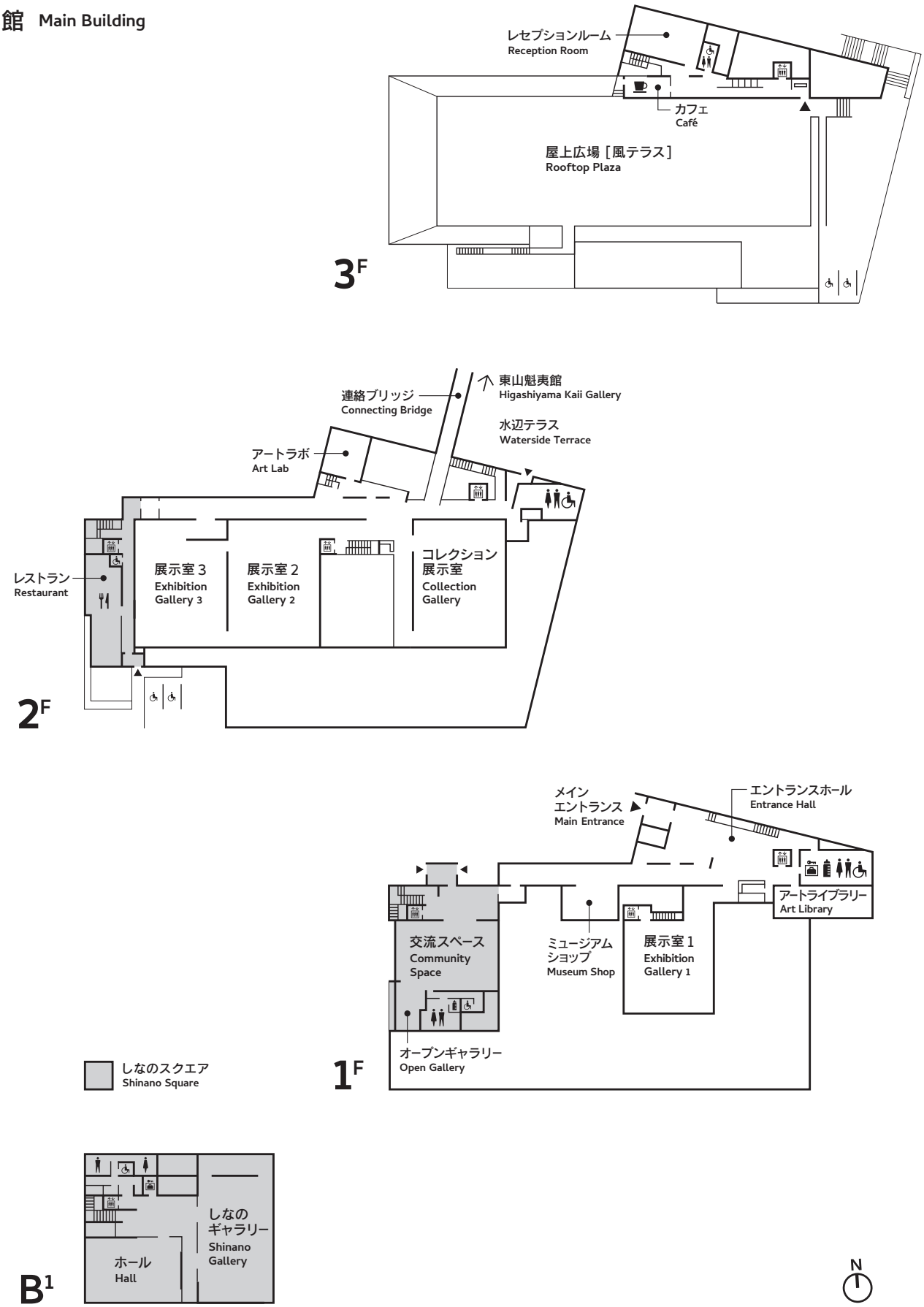
- 長野県出身または長野県に関係の深い芸術家の優れた近現代美術の作品（絵画、彫刻、水彩、素描、版画、工芸、デザイン、写真、映像など）
- 美しい山岳風景や精神文化に通じる作品、及び「自然」や「自然と人間」をテーマとした優れた近現代美術の作品
- 日本及び海外の近現代美術史上の重要作品
- 近現代美術史を理解する上で貴重な、散逸を防ぐべき作品群、及び美術資料群

沿革

昭和40年３月23日　財団法人信濃美術館設立
昭和41年５月28日　財団法人信濃美術館新築工事完成　（建設費 1億円）
昭和41年10月１日　信濃美術館開館　（敷地面積：7,946平方メートル　延床面積：1,826平方メートル）
昭和44年３月31日　長野県信濃美術館条例制定
昭和44年６月１日　同美術館を長野県に移管し、長野県信濃美術館発足
昭和45年10月15日　昭和45年５月着工の第二展示棟増築工事完成　（延床面積：654平方メートル）（建設費 6,500万円）
昭和49年３月29日　昭和48年12月着工の収蔵庫増築工事完成　（延床面積：333平方メートル）（建設費 5,192万円）
昭和54年７月12日　長野県美術品取得基金条例制定
昭和61年４月１日　管理運営を財団法人長野県文化振興事業団に委託
昭和62年９月22日　東山魁夷作品寄贈目録贈呈式
昭和62年11月20日　東山魁夷館基本構想発表
平成元年12月25日　平成元年８月着工の信濃美術館改修工事完成
平成２年４月26日　東山魁夷館開館
（着工：昭和62年12月　完成：平成２年２月　敷地面積：4,675平方メートル　延床面積：1,698平方メートル）（建設費 11億円）
平成５年10月14日　東山魁夷館延入館者数100万人達成
平成11年７月15日　東山魁夷館延入館者数200万人達成
平成15年３月31日　東山魁夷館側駐車場増設工事完成（40台から90台へ）
平成18年４月１日　財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託　（～平成21年３月31日）
平成20年７月17日　東山魁夷館延入館者数300万人達成
平成21年４月１日　財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託　（～平成26年３月31日）
平成25年４月１日　公益法人制度改革に伴い、長野県文化振興事業団が一般財団法人へ移行
平成26年４月１日　一般財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託　（～平成31年３月31日）
平成28年10月１日　長野県信濃美術館開館50周年
平成28年11月18日　「信濃美術館整備基本構想」発表
平成29年５月31日　東山魁夷館改修のため休館
平成29年10月１日　長野県信濃美術館全面改築のため休館
平成30年５月１日　長野県信濃美術館事務所を全面改築のため長野県南俣庁舎へ移転
平成31年４月１日　一般財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託　（～令和３年３月31日）
令和元年10月５日　東山魁夷館リニューアルオープン
（エレベーター増設等バリアフリー対応、トラックヤード新設ほか）（改修総事業費 約９億4000万円）
令和３年４月１日　一般財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託　（～令和８年３月31日）
令和３年４月10日　長野県立美術館開館
（着工：平成31年４月　完成：令和３年３月　敷地面積：16,363.3平方メートル　延床面積：11,324.25平方メートル）（総事業費 約106億円）
令和４年５月20日　東山魁夷館延入館者数400万人達成
令和４年７月10日　長野県立美術館新築オープン後延入館者数100万人達成

施設概要

本館 Main Building



本館

[建築概要]

-設計-

建築	プランツアソシエイツ
	オープンヴィジョン
構造	KAP
設備	森村設計
サイン	KMD
外構	オンサイト計画設計事務所
照明計画	ライティングプランナーズアソシエーツ

-施工-

建築/周辺整備	清水・新津建設共同企業体
空調	金澤工業
衛生	浅間設備
電力	協栄電気興業
弱電	TOSYS
外構ほか工事	守谷商会

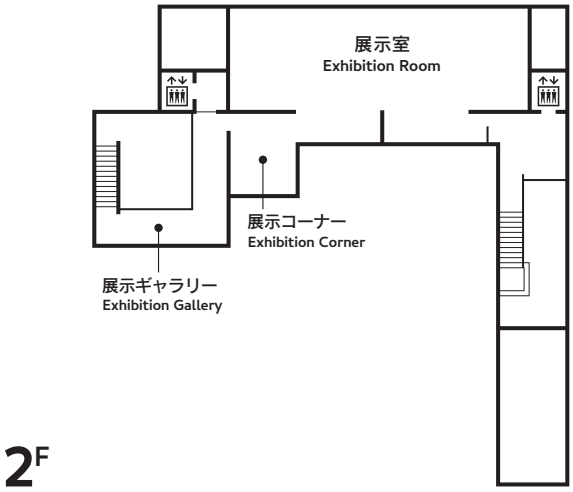
階数	地下 1 階　地上 3 階
高さ	11.57m
構造	鉄筋コンクリート造 + プレストレストコンクリート造　一部鉄骨造
地域指定	都市計画区域内（市街化区域）法 22 条区域
	善光寺城山風致地区 , 下水道処理区域 , 日影規制（4h-2.5h/4m）, 第二種住居地域
工事期間	2019 年 4 月 - 2020 年 12 月（本館）
	2021 年 1 月 - 2021 年 3 月（周辺整備等）

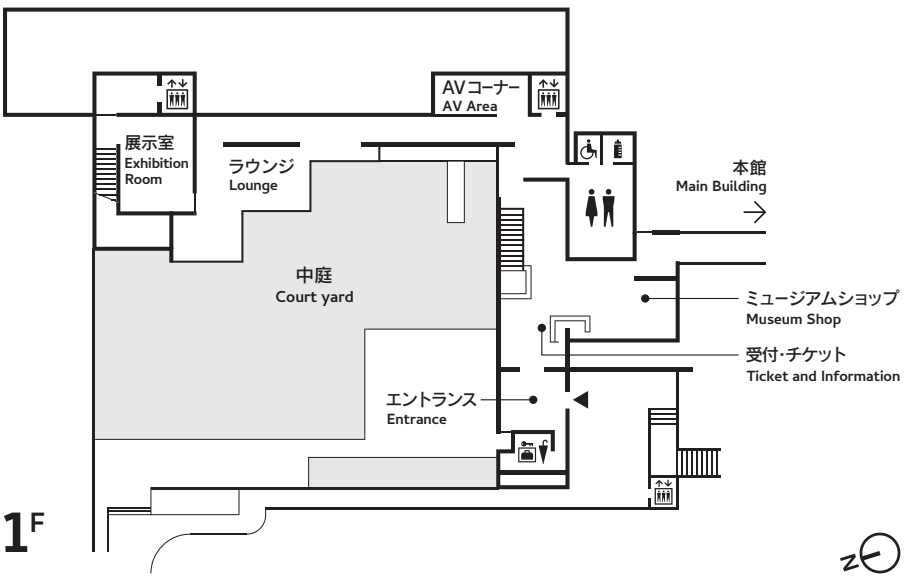
[面積]

敷地面積	16,363.30 ㎡
建築面積	4,541.17 ㎡
延床面積	11,324.25 ㎡（連絡ブリッジ 69.79 ㎡含む）
地下1階床面積	3,091.45 ㎡
・しなのギャラリー	423.93 ㎡
・ホール	234.36 ㎡
・収蔵庫	789.43 ㎡
1階床面積	3,995.08 ㎡
・エントランスホール	208.84 ㎡
・展示室1	378.06 ㎡
・交流スペース	308.12 ㎡
・ミュージアムショップ	81.55 ㎡
・アートライブラリー	121.97 ㎡
・収蔵庫	259.20 ㎡
2階床面積	3,691.57 ㎡
・展示室2	390.85 ㎡
・展示室3	366.34 ㎡
・コレクション展示室	389.13 ㎡
・展示準備室	192.15 ㎡
・アートラボ	53.84 ㎡
・レストラン	105.34 ㎡
・連絡ブリッジ	69.79 ㎡
・事務室	278.45 ㎡
3階床面積	551.41 ㎡
・レセプションルーム	116.01 ㎡
・カフェ	39.91 ㎡

施設概要

東山魁夷館 Higashiyama Kaii Gallery





東山魁夷館

[建築概要]

設計	谷口建築設計研究所
施工	竹中・守谷建築共同企業体
階数	地上 2 階
高さ	11.45 m
構造	鉄筋コンクリート
地域指定	第二種住居地域
	善光寺城山風致地区
工事期間	1988 年 12 月 -1989 年 12 月
改修工事期間	2018 年 5 月 -2019 年 3 月

[面積]

敷地面積	4,675.00 ㎡
建築面積	1,316.31 ㎡（内増築面積 225.85 ㎡）
延床面積	1,882.22 ㎡（内増築面積 225.85 ㎡）
1 階床面積	1,197.58 ㎡
・エントランスホール	119.52 ㎡
・展示室	79.38 ㎡　h. 7.8m
・収蔵庫	169.69 ㎡
・荷解室その他	46.45 ㎡
・ミュージアムショップ	54.08 ㎡
・ラウンジ	128.79 ㎡
・事務室	33.56 ㎡
2 階床面積	684.64 ㎡
・展示室	359.11 ㎡　h. 4.7m
・展示コーナー	30.72 ㎡　h. 3m
・展示ギャラリー	79.34 ㎡　h. 4.45m

長野県立美術館条例

昭和44年3月31日　条例第32号
改正 令和5年12月25日 条例第26号

（趣旨）
第1条　この条例は、博物館法（昭和26年法律第285号）及び地方自治法（昭和22年法律第67号）の規定に基づき、博物館の設置及び管理等に関し必要な事項を定めるものとする。
（設置）
第2条　美術品を収集し、保管し、展示して一般住民の利用に供し、その教養、調査研究等に資するとともに、美術の振興を図り、もって教育、学術及び文化の向上に寄与するため、長野県立美術館（以下「美術館」という。）を長野市に設置する。
（職員）
第3条　美術館に、博物館法第4条第1項及び同条第3項に規定する職員のほか、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。
（協議会）
第4条　美術館に、博物館法第23条の規定による美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。
2　協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから知事が任命する。
3　協議会の委員の定数は10人以内とし、その任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。
（利用の許可）
第5条　美術館を利用しようとする者は、次条の規定によりその管理を行わせる指定管理者（地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）の許可を受けなければならない。
（指定管理者による管理）
第6条　美術館の管理は、指定管理者に行わせるものとする。
（指定管理者の指定）
第7条　指定管理者の指定は、美術館の管理を行うことを希望するものの申請によりその候補者を選定し、議会の議決を経て行うものとする。
（指定の申請）
第8条　前条の申請は、知事が定める日までに、規則で定めるところにより、申請書に事業計画書（職員、美術館の管理の方法その他の美術館の管理業務の実施に関する計画を記載した書類をいう。次条において同じ。）その他規則で定める書類を添付して行うものとする。
（候補者の選定の基準）
第9条　第7条の候補者の選定は、次に掲げる基準により行うものとする。
(1)　事業計画書の内容が、美術館の公共性を確保し、かつ、美術館の効用を最大限発揮するとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
(2)　一般住民の平等な利用が確保されること。
(3)　事業計画書の内容の確実な実施に必要な経理的及び技術的な基礎を有するものであること。
(4)　指定管理者が行う業務について相当の知識及び経験を有する者を当該業務に従事させることができること。
(5)　県内において芸術文化の振興に寄与する活動を行っているものであること。
(6)　地方自治法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消され、その取消しの日から2年を経過しないものでないこと。
（指定の告示）
第10条　知事は、指定管理者の指定をしたときは、当該指定管理者の名称及び主たる事務所の所在地並びに当該指定の期間を告示しなければならない。
（業務の範囲）
第11条　指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるとおりとする。
(1)　美術品を保管し、及び展示するとともに、一般住民に対して当該美術品に関し必要な説明を行うこと。
(2)　施設及び設備の維持管理に関する業務
(3)　美術館の利用の許可に関する業務
(4)　美術館の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）に関する業務
(5)　博物館法第3条第1項第3号及び第5号から第12号までに掲げる事業に関する業務
(6)　前各号に掲げる業務に附帯する業務
（管理の基準）
第12条　指定管理者が行う管理の基準は、次に掲げるとおりとする。
(1)　美術館の休館日について、水曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下この号において「休日」という。）に当たるときは、木曜日）、休日の翌日及び12月28日から翌年1月3日までとすること。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ教育委員会の承認を得て、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。
(2)　美術館の利用時間について、午前9時から午後5時までとすること。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を得て、これを変更することができる。
(3)　美術館の利用の停止及び許可の取消しについて、展示品等を汚損した場合その他の規則で定める場合に行うことができるものとすること。
(4)　美術館の管理上著しく支障があると認められる者の入館を禁止し、又は退館を命ずることができること。
(5)　この条例及び次条の規定による協定を遵守して行うこと。
(6)　指定管理者がその業務を行うに当たって取得した利用者の個人に関する情報を適切に取り扱うこと。
(7)　前各号に掲げるもののほか、美術館の管理を適切に行うために必要な基準で知事が定めるもの
（協定の締結）
第13条　知事及び指定管理者は、次に掲げる事項について、

協定を締結するものとする
（1） 地方自治法第244条の2第7項に規定する事業報告書に関する事項
（2） 利用者の個人に関する情報の取扱いに関し必要な事項
（3） 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項

（利用料金の納付等）

第14条 美術館の展示品を観覧する者又は県民ギャラリー若しくは多目的ルームを利用する者は、利用料金を納付しなければならない。

2 利用料金は、指定管理者の収入として収受させるものとする。

3 常設に係る展示品を観覧する場合の利用料金の額は、1人1回について700円の範囲内において、あらかじめ知事の承認を得て、指定管理者が定めるものとする。

4 特別企画に係る展示品を観覧する場合の利用料金の額は、あらかじめ知事の承認を得て、特別企画ごとに指定管理者が定めるものとする。

5 知事は、前項に規定する承認の申請があった場合において、当該申請に係る利用料金が当該申請に係る特別企画と規模、形態等において類似の特別企画に係る展示品を観覧する場合の料金と比較して均衡のとれたものであると認めるときは、承認をするものとする。

6 県民ギャラリー又は多目的ルームを利用する場合の利用料金の額は、別表に定める額の範囲内において、あらかじめ知事の承認を得て、指定管理者が定めるものとする。

（利用料金の減免）

第15条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、特に必要があると認めるときは、利用料金について知事が定める額を基準とした額を減免することができる。
（1） 国又は地方公共団体が利用するとき。
（2） 前号に定めるもののほか、知事が定める特別の理由があるとき。

（利用料金の還付）

第16条 指定管理者は、既に納付された利用料金を還付しないものとする。ただし、指定管理者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、特に必要があると認めるときは、知事が定める額を基準とした額を還付することができる。
（1） 利用する者の責任によらない理由で利用できなくなったとき。
（2） 利用の申込みをした者が知事が定める日までにその申込みを取り消したとき。
（3） 前2号に定めるもののほか、知事が定める特別の理由があるとき。

（管理等の委任）

第17条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理等及び協議会の運営に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この条例は、昭和44年6月1日から施行する。

附 則（令和2年10月19日条例第35号）

この条例は、公布の日から施行する。ただし、題名の改正規定、第2条の改正規定（「長野県信濃美術館」を「長野県立美術館」に改める部分に限る。）及び次項の規定は、令和3年4月1日から施行する。

附 則（令和5年12月25日条例第26号抄）

この条例は、令和6年4月1日から施行する

（別表）（第14条関係）

1 県民ギャラリー及び多目的ルーム

区分		金額		
		午前9時から午後零時30分まで	午後1時から午後5時まで	午前9時から午後5時まで
県民ギャラリー		円	円	円
		—	—	23,400
多目的ルーム	文化芸術活動に利用する場合	6,000	6,900	13,800
	文化芸術活動以外に利用する場合	24,200	27,600	55,200

（備考）1 入場料又はこれに類するものを徴収して利用する場合は、この表に掲げる区分に従い、当該区分に定める額に100分の130を乗じて得た額とする。
2 県民ギャラリーの一部を利用する場合の利用料金の額は、当該利用する部分の面積に応じ、知事が定める額とする。

2 備品等

区分	金額
備品を利用する場合	知事が別に定める額
電気器具の持込みをして電力を利用する場合	

長野県立美術館規則

令和3年4月8日規則第83号
題名改正〔令和6年規則24号〕

（趣旨）
第1条　この規則は、長野県立美術館条例（昭和44年長野県条例第32号。以下「条例」という。）の規定に基づき、長野県立美術館（以下「美術館」という。）の管理等及び美術館協議会（第2条において「協議会」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。
（協議会）
第2条　条例第4条の規定による協議会は、知事が招集する。
2　協議会を分けて定例会及び臨時会とし、定例会は毎年2回、臨時会は必要に応じて招集する。
3　協議会に幹事2名を置き、幹事は知事が指名する。
（利用の許可等）
第3条　県民ギャラリー又は多目的ルーム（以下「貸出施設」という。）を利用する者は、条例第5条の規定による許可を受けようとするときは、申請書を次に掲げる期間内に条例第6条の規定により美術館の管理を行う指定管理者（以下「指定管理者」という。）に提出して申請しなければならない。
(1)　県民ギャラリー又は県民ギャラリーと併せて利用する場合の多目的ルームについては、利用しようとする日（以下この項において「利用日」という。）の前1年に当たる日の属する月の初日（その日が休館日に当たるときは、その翌日）から利用日の前30日まで
(2)　多目的ルームについては、利用日の前3月に当たる日（その日が休館日に当たるときは、その翌日）から利用日の前日まで
2　前項の規定にかかわらず、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、知事の承認を得て、同項の期間外の申請についても受理することができる。
3　第1項の申請書には、次に掲げる事項を記載するものとする。
(1)　利用目的
(2)　利用する貸出施設の名称
(3)　利用期間
(4)　入場料又はこれに類するものを徴収して利用する場合にあっては、その旨
(5)　多目的ルームを文化芸術活動以外に利用する場合にあっては、その旨
(6)　前各号に掲げるもののほか、指定管理者が利用の許可を行うために必要と認める事項
4　美術館の展示品を観覧する者は、条例第5条の規定による許可を受けようとするときは、指定管理者に口頭により申請しなければならない。
5　指定管理者は、第1項の申請に対し貸出施設の利用を許可したときはその利用許可書を、前項の申請に対し展示品の観覧を許可したときは入場券を交付しなければならない。
（利用取消届）
第4条　前条第5項の規定による利用許可書の交付を受けた者（第6条及び第7条において「貸出施設利用者」という。）が、貸出施設の利用の取消しをしようとするときは、その理由を記載した届出書に当該利用許可書を添付して、指定管理者に提出しなければならない。
（遵守事項）
第5条　美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。
(1)　施設、展示品等を毀損し、又は汚損しないこと。
(2)　館内において他人に迷惑をかけないこと。
(3)　所定の場所以外で飲食しないこと。
(4)　前3号に掲げるもののほか、指定管理者が知事の承認を得て定める事項
（利用後の処理）
第6条　貸出施設利用者は、施設又は備品の利用を終了したときは、その旨を指定管理者に届け出なければならない。
（損害の賠償）
第7条　美術館を利用する者は、施設、展示品等（貸出施設利用者が持込みをしたものを除く。）を毀損し、汚損し、又は滅失したときは、速やかに指定管理者に届け出て、その指示に従い、原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。
（指定の申請）
第8条　条例第8条の申請書は、指定管理者指定申請書（別記様式）によるものとする。
2　条例第8条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。ただし、条例第7条の申請を行うもの（以下この項において「申請者」という。）について知事がその性格に応じ前項の申請書に添付することを要しないものと認める書類がある場合には、当該書類を除く。
(1)　定款若しくは寄附行為及び登記事項証明書又はこれらに準ずるもの
(2)　申請の日の属する事業年度の前3年の各事業年度における申請者の事業の状況を記載した書類、貸借対照表及び損益計算書若しくは収支計算書又はこれらに準ずるもの
(3)　申請の日の属する事業年度及び翌事業年度における申請者の事業の実施及び収支に係る計画を記載した書類
(4)　役員の名簿及び履歴書
(5)　申請者が現に行っている業務の概要を記載した書類
(6)　申請者が条例第9条第6号に該当する旨の誓約書
(7)　前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類
（利用の停止又は許可の取消しを行うことができる場合）
第9条　条例第12条第3号の規則で定める場合は、第5条の規定に違反した場合とする。
（利用料金の納付）
第10条　県民ギャラリー又は多目的ルームを利用する場合の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）は、第3条第5項の利用許可書が交付されるときに納付しなければならない。ただし、条例別表の2に規定する場合の利用料金にあっては、利用の際に納付するものとする。
2　美術館の展示品を観覧する場合の利用料金は、第3条第5

項の入場券が交付されるときまでに納付しなければならない。
3　前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、国又は地方公共団体が利用する場合にあっては、当該利用を終わった後に納付させることができる。

（備品等の利用料金）

第11条　条例別表の2に規定する知事が別に定める額は、別表のとおりとする。

（利用料金の減免）

第12条　条例第15条第2号に規定する知事が定める特別の理由は、指定管理者が特に必要があると認め、かつ、知事の承認を受けた場合であることとする。
2　県民ギャラリー又は多目的ルームを利用する者で条例第15条の規定による利用料金の減免を受けようとするものは、その理由を記載した申請書を、第3条第1項の規定による申請の際に指定管理者に提出しなければならない。
3　美術館の展示品を観覧する者で条例第15条の規定による利用料金の減免を受けようとするものは、その理由を記載した申請書を、第3条第4項の規定による申請の際に指定管理者に提出しなければならない。ただし、指定管理者が当該申請書の提出を要しないと認めた者にあっては、指定管理者が定める書類の提示をもって、当該申請書の提出に代えることができる。

（利用料金の還付）

第13条　条例第16条第2号に規定する知事が定める日は、次の各号に掲げる区分に従い、当該各号に定める日とする。
(1)　県民ギャラリーを利用する場合又は県民ギャラリーと併せて多目的ルームを利用する場合　利用しようとする日の40日前の日
(2)　多目的ルームのみを利用する場合　利用しようとする日の10日前の日
2　条例第16条第3号に規定する知事が定める特別の理由は、指定管理者が特に必要があると認め、かつ、知事の承認を受けた場合であることとする。
3　条例第16条ただし書に規定する知事が定める額は、既に納付した利用料金の額に、次の各号に掲げる区分に従い、当該各号に定める率を乗じて得た額とする。
(1)　条例第16条第1号に規定する場合
ア　全く利用できなくなったとき　100分の100
イ　利用予定時間の2分の1以上を利用できなくなったとき　100分の50
(2)　条例第16条第2号に規定する場合　100分の50（利用しようとする日の6月前の日までに取り消した場合にあっては、100分の75）
(3)　条例第16条第3号に規定する場合　指定管理者が知事の承認を得てその都度定める率
4　条例第16条ただし書の規定による利用料金の還付を受けようとする者は、その理由を記載した申請書を指定管理者に提出しなければならない。

（補則）

第14条　この規則に定めるもののほか、美術館の管理等について必要な事項は、知事が定める。

附　則

この規則は、公布の日から施行する。

附　則（令和6年3月28日規則第24号）

この規則は、令和6年4月1日から施行する。

別表（省略）

歴代館長

山田邦夫	昭和41年10月1日～昭和44年5月31日	※財団法人信濃美術館
西沢千秋	昭和44年6月1日～昭和46年11月30日	※財団法人から県に移管
宮沢　寿	昭和46年12月1日～昭和47年11月30日	
藤森治幸	昭和47年12月1日～昭和53年3月31日	
鵜野　孝	昭和53年4月1日～昭和57年1月31日	
大友博幸	昭和57年2月1日～昭和57年3月31日	教育次長兼
竹本春男	昭和57年4月1日～昭和58年3月31日	
佐藤義人	昭和58年4月1日～昭和59年3月31日	
伊藤万寿雄	昭和59年4月1日～昭和60年3月31日	
三沢国臣	昭和60年4月1日～昭和61年3月31日	
山本正男	昭和61年4月1日～平成14年3月31日	※長野県文化振興事業団に管理運営を委託
松本　猛	平成14年4月1日～平成22年4月30日	
橋本光明	平成23年4月8日～平成30年3月31日	
松本　透	平成30年4月1日～令和6年3月31日	
笠原美智子	令和6年4月1日～現在に至る	

令和6年度展覧会概要

(1)当館主催展覧会

企画展

展覧会名	会期	日数	入場者数				
			有料	障害者減免	招待等	その他無料	計
生誕150年池上秀畝　高精細画人	5/25～6/30	32	4,920	723	713	575	6,931
ダリ版画展−奇想のイメージ	7/13～9/16	58	19,121	2,371	1,031	3,362	25,885
京都　細見美術館の名品 −琳派、若冲、ときめきの日本美術−	10/5～11/17	39	19,628	2,379	971	1,667	24,645
信州から考える　絵画表現の50年	2/1～4/6	56	4,426	663	831	1,085	7,005
計		185	48,095	6,136	3,546	6,689	64,466

企画展

展覧会名	会期	日数	入場者数				
			有料	障害者減免	招待等	その他無料	計
NAMコレクション2024　特集展示 自然と人間/あいだの美術(※)	11/30～1/13	33	4,773	353	250	333	5,709
計		33	4,773	353	250	333	5,709

(※)個別集計ではなく会期中のコレクション展入館者を集計

オープンギャラリー展示

展覧会名	会期	日数	入場者数				
			有料	障害者減免	招待等	その他無料	計
山の画家　足立源一郎	7/20～9/24	59	−	…	…	…	5,450
公開制作vol.4 原田裕規 ドリームスケープ	10/5～3/16	135	−	…	…	…	8,948
計		194	0	0	0	0	14,398

アートラボ展示

展覧会名	会期	日数	入場者数				
			有料	障害者減免	招待等	その他無料	計
アートラボ2024第Ⅰ期 西村陽平　死者の書	5/18～7/21	56	−	…	…	…	2,516
アートラボ2024第Ⅱ期 冨長敦也　石の見る夢	7/27～10/27	81	−	…	…	…	8,335
アートラボ2024第Ⅲ期 ひらくツール ふれるはなすあるく 齋藤名穂×長野県立美術館	11/2～1/19	63	−	…	…	…	2,237
アートラボ2024第Ⅳ期 光島貴之　でこ・ぼこ・ながの	1/25～4/13	68	−	…	…	…	4,474
計		268	0	0	0	0	17,562

コレクション展(本館)

展覧会名	会期	日数	入場者数				
			有料	障害者減免	招待等	その他無料	計
NAMコレクション2024 第Ⅰ期	4/25～7/16	72	16,505	1,504	1,081	1,548	20,638
NAMコレクション2024 第Ⅱ期	7/18～10/8	73	20,003	2,591	327	4,038	26,959
NAMコレクション2024 第Ⅲ期 もうひとつの風景	10/10～12/17	61	17,202	2,510	423	2,018	22,153
NAMコレクション2024 第Ⅳ期	12/19～2/25	54	7,299	550	401	843	9,093
NAMコレクション2024 第Ⅴ期	2/27～5/6	60	10,533	811	680	1,063	13,087
計		320	71,542	7,966	2,912	9,510	91,930

コレクション展(本館)

展覧会名	会期	日数	入場者数				
			有料	障害者減免	招待等	その他無料	計
中谷芙二子《Dynamic Earth Series Ⅰ》 霧の彫刻 #47610　記録映像上映	12/19～1/5	10	−	…	…	…	328
計		10	0	0	0	0	328

コレクション展(東山魁夷館)

展覧会名	会期	日数	入場者数				
			有料	障害者減免	招待等	その他無料	計
東山魁夷館コレクション展2024 第Ⅰ期	4/11～6/18	60	13,116	1,118	840	1,067	16,141
東山魁夷館コレクション展2024 第Ⅱ期	6/20～9/3	67	16,378	2,165	556	3,004	22,103
東山魁夷館コレクション展2024 第Ⅲ期	9/5～11/12	61	19,926	2,864	286	2,920	25,996

展覧会名	会期	日数	入場者数				
			有料	障害者減免	招待等	その他無料	計
東山魁夷館コレクション展2024 第Ⅳ期	11/14～2/4	66	11,307	1,008	456	1,154	13,925
東山魁夷館コレクション展2024 第Ⅴ期	2/6～4/29	72	11,203	874	838	1,297	14,212
計		326	71,930	8,029	2,976	9,442	92,377

交流名品展

展覧会名（会場）	会期	日数	入場者数				
			有料	障害者減免	招待等	その他無料	計
交差する諏訪-風景と人々-（諏訪市美術館）	2/1～3/23	42	585	…	…	291	876
計		42	585	0	0	291	876

移動展

展覧会名（会場）	会期	日数	入場者数				
			有料	障害者減免	招待等	その他無料	計
丘にそって、河にそって（飯山市美術館）	9/28～10/13	14	–	…	…	…	928
生誕150年 池上秀畝×菱田春草 コレクションに見る南信が生んだ日本画家たち（長野県伊那文化会館 美術展示ホール）	10/19～11/17	26	730	…	…	474	1,204
計		40	730	0	0	474	2,132

(2)しなのギャラリー(県民ギャラリー)における展覧会

展覧会名	主催団体名	会期	日数	入場者数		
				有料	無料	計
春色花の詩　長野県華道教育会 長野支部 2024華道展	長野県華道教育会 長野支部	4/12～4/15	4	0	1,488	1,488
八幡屋礒五郎 七味缶 百周年記念展 「七味缶」食卓であゆんだ100年	㈱八幡屋礒五郎	4/26～5/6	10	0	4,926	4,926
絵が立体になる紙アート　シャドーボックス 「シャドーボックス・ラ・マーニ作品展」原作者:藤岡牧夫	シャドーボックス・ラ・マーニ	5/23～5/28	6	0	781	781
第10回山田「洋子水彩画&まさお造形」の夫婦展	アトリエようこ	5/31～6/4	5	0	720	720
第75回北信美術展	北信美術会	6/20～6/25	6	0	2,483	2,483
プリザーブド&アートフラワーの世界 カラコレス研究生グループ展 2024	カラコレス・プリザーブド&アートフラワースクール	6/28～7/2	5	0	173	173
山下貞治絵画展	山下貞治	7/12～7/23	11	0	458	458
第43回長野県工芸展	長野県工芸会	8/30～9/3	5	0	583	583
小田切八景切り絵展	小田切地区住民自治協議会	9/13～9/17	5	0	327	327
第1回明扇書藝會展覧会	明扇書藝會	10/11～10/14	4	0	453	453
己書 龍眼道場作品展	己書 龍眼道場	10/17～10/22	6	0	584	584
西陣美術織　伊藤若冲展	西陣美術織全国巡回展実行委員会	10/18～10/22	5	0	440	440
令和6年度 第40回長野県高等学校書道展	長野県高等学校書道展	10/25～10/27	3	0	305	305
第65回北信高校美術展	北信高校美術展実行委員会	11/1～11/4	4	0	765	765
第57回「ふれあい展」長野上水内特別支援学級・特別支援学校　児童生徒作品展	長野上水内特別支援教育担任者会	11/15～11/18	4	0	2,202	2,202
第11回アール・パレ　長野アール・パレ展	アール・パレ実行委員会	11/22～11/26	5	0	100	100
上高田保育園絵画展	上高田保育園	12/15～12/22	7	0	141	141
令和6年度 山の洲文化財交流事業　高木こずえ≪琵琶島≫×原始美術工芸品　のこされたすこしのもの、なされたたくさんのこと。	長野県、静岡県、山梨県、新潟県、長野県立歴史館、(一財)長野県文化振興事業団(長野県立美術館・埋蔵文化財センター・芸術文化推進室)	1/4～1/19	14	0	859	859
第75回長野県児童生徒美術展／第40回長水中学校美術部合同展／令和6年度長野上水内教育会図工美術展／第34回北信ブロック展	長野県美術教育研究会長水支部	1/25～1/28	4	0	1,759	1,759
令和6年度 信州大学教育学部 図画工作・美術教育コース　卒業記念展覧会	信州大学教育学部 図画工作・美術教育コース	2/6～2/11	6	0	278	278
令和6年度 和洋女子大学 日本文学文化学科 書道専攻 卒業書道作品展　第50回「雁鴻会書作展」白井亜弥書作展	和洋女子大学 書道準備室 白井亜弥	2/23～2/25	3	0	147	147
第52回日本の書展	信濃毎日新聞社 事業局 事業部	3/7～3/10	4	1,619	0	1,619
第54回新構造長野県展	一般社団法人 新構造社長野県支部	3/21～3/25	5	0	380	380
計			131	1,619	20,352	21,971

(3)ホール(多目的ルーム)におけるイベント

イベント名	主催団体名	会期	日数	入場者数		
				有料	無料	計
北アルプス国際芸術祭2024　開幕100日前イベント	北アルプス国際芸術祭 実行委員会事務局	6/1	1	0	100	100
長水高等学校図書館協議会　生徒図書委員交流会	長水高等学校図書館協議会 長野商業高等学校	8/8	1	0	36	36

イベント名	主催団体名	会期	日数	入場者数		
				有料	無料	計
デジタルカメラ体験イベント　Hello GFX 2024 NAGANO	富士フイルムイメージングシステムズ㈱	9/28～9/29	2	0	190	190
アール・パレ展　シンポジウム〈日本人に愛される東山魁夷と萩原碌山の魅力と美術品の保護について〉	アール・パレ実行委員会	11/22	1	0	10	10
令和6年度　山の洲文化財交流事業　高木こずえ≪琵琶島≫×原始美術工芸品　のこされたすこしのもの、なされたたくさんのこと。【ワークショップ】「縄文スタンプでいろいろ作ろう」「こうこがく、考古楽－体験して学ぶ考古学－」	長野県、静岡県、山梨県、新潟県、長野県立歴史館、(一財)長野県文化振興事業団(長野県立美術館・埋蔵文化財センター・芸術文化推進室)	1/13	1	0	126	126
令和6年度　山の洲文化財交流事業高木こずえ≪琵琶島≫×原始美術工芸品　のこされたすこしのもの、なされたたくさのこと。考古学者×有識者×アーティストによるトークセッション「いにしえの人と心」	長野県、静岡県、山梨県、新潟県、長野県立歴史館、(一財)長野県文化振興事業団(長野県立美術館・埋蔵文化財センター・芸術文化推進室)	1/18	1	0	82	82
2025日台国際芸術文化交流展	藝荃文化國際有限公司	2/6～2/7	2	0	32	32
R6年度　信州大学教育学部　図画工作・美術教育コース「卒業研究発表会」	信州大学教育学部 図画工作・美術教育コース	2/9	1	0	58	58
灯明スポーツファンフェスタ	第二十二回長野灯明まつり実行委員会事務局	2/11	1	0	230	230
文化芸術×防災　災害時の文化施設を思案する	一般財団法人長野県文化振興事業団	2/14	1	0	60	60
さとのば大学卒業式&ミニフォーラム	NPO法人　学び3.0	3/1	1	0	46	46
NAGA KNOCK!最終報告会	NPO法人ETIC.	3/15	1	0	39	39
あーとdeだいぼうけん!	あーとdeらぼ	3/29	1	400	0	400
計			15	400	1,009	1,409

生誕150年池上秀畝 高精細画人

現在の長野県伊那市高遠町出身で、明治末から昭和戦前期にかけて日本画旧派の代表的画家として活躍した池上秀畝（1874−1944）の展覧会。花鳥画を得意とし、写生に基づく写実的な表現や新しい技法にも積極的に取り組んだ秀畝の代表作と、ライフワークとして取り組んだ写生などを多数展示し、画業の全体像を振り返った。特別展示として昭和天皇の婚礼祝いとして皇室に献上された《国之華》を展示し、存命当時の活躍ぶりを紹介した。本展は練馬区立美術館と共催し、これまであまり知られていなかった写生や制作記録など史料類の詳細な調査を行って、画業の細部を掘り起こし、研究の進んでいない近代日本画旧派の活動にも光を当てた。

本展では YouTube を活用し、展覧会や秀畝について解説した動画コンテンツなどを用意し、より気軽に美術や作品について知ってもらえるよう努めた。また馴染みの薄い屏風を本来の姿で鑑賞してもらえるよう、畳に座って屏風を見るコーナーを設置するなど、展示にも工夫を凝らした。

■会期　令和6年5月25日（土）から6月30日（日）（32日間）
■会場　長野県立美術館（展示室1・2・3）
■主催等　［主催］長野県、長野県立美術館
［共催］長野県教育委員会、練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
［後援］長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、（公財）八十二文化財団、（公財）ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、INC長野ケーブルテレビ
［助成］美術館連絡協議会、読売新聞社
■観覧料　一般1,000（900）円、大学生及び75歳以上700（600）円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※コレクション展（本館・東山魁夷館）との共通料金　一般1,500円、大学生及び75歳以上1,000円
※（　）内は20名以上の団体料金
■入館者数　6,931人（有料：4,920人　無料：2,011人）
■図録（主要目次）
「僕は新派でも旧派でもない」（松浦千栄子）
プロローグ　池上秀畝と菱田春草　日本画の旧派と新派
第1章　「國山」から「秀畝」へ
第2章　秀畝の精華　官展出品の代表作を中心に
第3章　秀畝と写生　師、寛畝の教え“高精細画人”の礎
第4章　屏風と秀畝　画の本分
エピローグ　晩年の秀畝　衰えぬ創作意欲
■イベント　①ゲストスライドトーク1「鳥から見る池上秀畝」／講師：藤元晶子（一橋大学非常勤講師）／日時：6月8日（土）13:30〜40分程度／場所：レセプションルーム／参加人数：42人
②ゲストスライドトーク2「レッツトライ!牧野式植物画鑑賞」／講師：田中純子（練馬区立牧野記念庭園学芸員）／日時：6月22日（土）13:30〜40分程度／場所：レセプションルーム／参加人数：37人
③担当学芸員によるギャラリートーク／日時：5月25日（土）11:00〜11:30／場所：展示室1・2・3／参加人数：26人／日時：6月7日（金）11:00〜11:30／場所：展示室1・2・3／参加人数：25人／日時：6月15日（土）11:00〜11:30／場所：展示室1・2・3／参加人数：36人
④屏風の鑑賞会「畳に座って屏風を見てみよう」／日時：5月26日（日）14:00〜14:30／場所：展示室1／参加人数：17人／日時：6月16日（日）14:00〜14:30／場所：展示室1／参加人数：19人
⑤学芸員鼎談／登壇者：加藤陽介（練馬区立美術館学芸員）、木内真由美（長野県伊那文化会館学芸主幹）／松浦千栄子（当館学芸員）／日時：6月23日（日）13:30〜15:00／場所：レセプションルーム／参加人数：22人
■担当学芸員　松浦千栄子、上沢修、佐々木裕貴子、堀千晶

No.	前期	後期	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵先
プロローグ　池上秀畝と菱田春草　日本画の旧派と新派								
1	○		池上秀畝	秋晴(秋色)	1907(明治40)	絹本着色	137.0×79.0	北野美術館
2		○	池上秀畝	劉女	1915(大正4)	絹本着色	152.3×69.8	個人蔵
3	○		菱田春草	伏姫(常磐津)	1900(明治33)	絹本着色	146.6×67.5	長野県立美術館
4		○	菱田春草	羅浮仙	1901(明治34)頃	絹本着色	124.5×69.5	長野県立美術館
第１章　「國山」から「秀畝」へ								
5	○	○	池上秀畝	がま仙人	1883(明治16)	紙本墨画	133.3×62.6	信州高遠美術館
6	○	○	池上秀畝・画/池上秀花・書	猩々	1896(明治29)	紙本墨書・着色	155.3×366.0	信州高遠美術館
7	○		荒木寛畝	狸図	明治前期（19世紀）	油彩・カンヴァス	55.0×67.0	東京国立博物館
8		○	荒木寛畝	四季花鳥図	1906(明治39)	絹本着色	各125.4×71.8	皇居三の丸尚蔵館収蔵
9	○	○	池上秀畝	楊柳観音像	1914(大正3)	絹本着色	154.0×55.5	個人蔵
10	○	○	池上秀畝	十六善神図	1896(明治29)	紙本着色	103.4×90.9	伊那市高遠町清福寺
11	○	○	池上秀畝	大江山鬼賊退治図	1893(明治26)	紙本着色	各168.0×346.0	飯山陸送株式会社
12	○	○	池上秀畝	日蓮上人避難之図	1911(明治44)	絹本着色	145.2×87.6	一般財団法人北方文化博物館
第２章　秀畝の精華　官展出品の代表作を中心に								
13	○		池上秀畝	初冬	1910(明治43)	紙本着色	各167.0×364.0	東京国立近代美術館
14		○	池上秀畝	溪澗野雉・威震八荒	1934(昭和9)	絹本着色	各195.0×86.0	横浜美術館
15	○		池上秀畝	晴潭(紅葉谷川)	1914(大正3)	絹本着色	各168.4×372.0	田中本家博物館
16		○	池上秀畝	夕月	1916(大正5)	紙本着色	各159.5×360.0	東京国立近代美術館
17		○	池上秀畝	四季花鳥	1918(大正7)	紙本着色	各239.4×103.5	長野県立美術館
18	○	○	池上秀畝	岐蘇川画巻　天・人	1921(大正10)	紙本着色	天：63.3×726.5 / 人：63.2×725.5	長野県立美術館
19		○	池上秀畝	松韻双鶴	1914−1916(大正3−5)頃	絹本金地着色	各166.4×154.4	水野美術館
20	○		池上秀畝	暮雪	制作年不詳	絹本着色	68.1×85.3	水野美術館
21	○		池上秀畝	桜花雙鳩・秋草群鶉図	1921(大正10)	絹本金地着色	各168.0×165.0	練馬区立美術館
22	○		池上秀畝	郭子儀・翠松白鶴・福禄寿	制作年不詳	絹本着色	各144.0×57.0	駒ヶ根市立博物館
23	○		池上秀畝	国之華	1924(大正13)	紙本金地着色	各186.6×434.8	皇居三の丸尚蔵館収蔵
参考	○			雑誌『週刊女性』				信州高遠美術館
24		○	池上秀畝	蓮香・梨花九官・海棠鸚鵡	制作年不詳	絹本着色	各152.5×57.3	個人蔵
25		○	池上秀畝	歳寒三友	1926(大正15)	絹本金地着色	208.0×421.0	水野美術館
26		○	池上秀畝	盛夏	1933(昭和8)	絹本金地着色	208.0×421.0	水野美術館
27	○	○	池上秀畝	桃に青鸞・松に白鷹図	1928(昭和3)	板着色	各166.3×81.9	オーストラリア大使館
28	○	○	荒木寛畝	牡丹に孔雀・芭蕉図	制作年不詳	板着色	各165.5×81.5	オーストラリア大使館
29		○	池上秀畝	雪中遊鹿	1915(大正4)	絹本着色	168.2×71.6	一般財団法人北方文化博物館
30	○	○	池上秀畝	牧牛	1929(昭和4)	絹本着色	138.8×50.7	個人蔵
31	○	○	池上秀畝	老子過関	1931(昭和6)	絹本着色	144.2×50.8	個人蔵
32	○	○	池上秀畝	時雨	1931(昭和6)	絹本着色	141.0×51.0	個人蔵
33	○	○	池上秀畝	白鷹	制作年不詳	絹本着色	81.7×124.5	伊那市常圓寺
34	○	○	池上秀畝	画印				信州高遠美術館
35	○	○	池上秀畝	翠禽紅珠	1929(昭和4)	絹本着色	238.0×215.0	伊那市常圓寺
36	○	○	池上秀畝	秋雨	1932(昭和7)	絹本着色	161.0×177.5	長野県立美術館
37	○	○	池上秀畝	秋日和	1934(昭和9)	絹本着色	293.3×147.8	京都大学人文科学研究所
38	練馬会場のみ展示		池上秀畝	秋日和　大下図	1934(昭和9)	紙本着色	267.0×120.0	長野県立美術館
第３章　秀畝と写生　師、寛畝の教え"高精細画人"の礎								
39	○	○	池上秀畝	鳥(あとり、ひばり、みやまほうじろ)	1892(明治25)	紙本着色	27.5×19.5	信州高遠美術館
40	○	○	池上秀畝	鳥(まひわ　雄・雌、きれんじゃく)	1892(明治25)	紙本着色	19.5×27.5	信州高遠美術館
41	○	○	池上秀畝	鳥(ふうちょうの一種)	1892(明治25)	紙本着色	27.5×19.5	信州高遠美術館
42	○	○	池上秀畝	鳥(きびたき、きせきれい)	1892(明治25)	紙本着色	27.5×19.5	信州高遠美術館
43	○	○	池上秀畝	鳥(いかるちどり、しろちどり)	1892(明治25)	紙本着色	19.5×27.5	信州高遠美術館
44	○	○	池上秀畝	鳥(めごいちどり)	1892(明治25)	紙本着色	27.5×19.5	信州高遠美術館
45	○	○	池上秀畝	鳥(おおよしきり、しまむくどり、るりれんじゃく)	1892(明治25)	紙本着色	19.5×27.5	信州高遠美術館
46	○	○	池上秀畝	う	1892(明治25)	紙本着色	27.5×19.5	信州高遠美術館
47	○	○	池上秀畝	くいな	1892(明治25)	紙本着色	19.5×27.5	信州高遠美術館
48	○	○	池上秀畝	山鵲(やまかささぎ)	1892(明治25)	紙本着色	19.5×27.5	信州高遠美術館
49	○	○	池上秀畝	きんばと	1892(明治25)	紙本着色	19.5×27.5	信州高遠美術館
50	○	○	池上秀畝	きれん雀　雄	1895(明治28)	紙本着色	19.5×27.5	信州高遠美術館
51	○	○	池上秀畝	火食鶏(アフリカ産)	1890(明治23)	紙本着色	27.5×19.5	信州高遠美術館

No.	前期	後期	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵先
52	○	○	池上秀畝	小鳥(駒鳥、目白、大ルリ、鶯、火タキ、四十雀)、蝶、蝉	1891(明治24)	紙本着色	19.5×27.5	信州高遠美術館
53	○	○	池上秀畝	大鷲	1892(明治25)	紙本着色	27.5×19.5	信州高遠美術館
54	○	○	池上秀畝	ネズミ	制作年不詳	紙本着色	22.0×35.0	信州高遠美術館
55	○	○	池上秀畝	鴨	1892(明治25)	紙本着色	27.5×19.5	信州高遠美術館
56	○	○	池上秀畝	ばん	1916(大正5)	紙本着色	28.0×39.0	信州高遠美術館
57	○	○	池上秀畝	鳥(とび)	制作年不詳	紙本着色	39.0×55.0	信州高遠美術館
58	○	○	池上秀畝	きじ	制作年不詳	紙本着色	36.5×66.0	信州高遠美術館
59	○	○	池上秀畝	孔雀	1894(明治27)	紙本着色	22.4×34.9	信州高遠美術館
60	○	○	池上秀畝	がま	1890(明治23)	紙本着色	19.0×29.7	信州高遠美術館
61	○	○	池上秀畝	くま鷹	1891(明治24)	紙本着色	27.5×19.5	信州高遠美術館
62	○	○	池上秀畝	孔雀(雄)	1890(明治23)	紙本着色	38.0×27.0	信州高遠美術館
63	○	○	池上秀畝	芭蕉	1894(明治27)	紙本着色	35.5×22.5	信州高遠美術館
64	○	○	池上秀畝	梨、カマキリ	制作年不詳	紙本着色	55.5×71.0	信州高遠美術館
65	○	○	池上秀畝	雁来紅(ハゲイトウ)	制作年不詳	紙本着色	28.4×18.1	信州高遠美術館
66	○	○	池上秀畝	芍薬	1896(明治29)	紙本着色	28.6×18.2	信州高遠美術館
67	○	○	池上秀畝	紫陽花	制作年不詳	紙本着色	71.0×55.5	信州高遠美術館
68	○	○	池上秀畝	にわとり	制作年不詳	紙本着色	24.0×33.0	信州高遠美術館
69	○	○	池上秀畝	葵の花(赤色)	1890(明治23)	紙本着色	71.0×55.5	信州高遠美術館
70	○	○	池上秀畝	水仙、ききょう	制作年不詳	紙本着色	59.3×47.0	信州高遠美術館
71	○	○	池上秀畝	月見草	1896(明治29)	紙本着色	28.0×18.3	信州高遠美術館
72	○	○	池上秀畝	あさがお	制作年不詳	紙本着色	28.4×18.5	信州高遠美術館
73	○	○	池上秀畝	朝鮮朝顔	制作年不詳	紙本着色	35.5×22.5	信州高遠美術館
74	○	○	池上秀畝	あわ	制作年不詳	紙本着色	35.5×22.8	信州高遠美術館
75	○	○	池上秀畝	しゃが	制作年不詳	紙本着色	28.1×18.1	信州高遠美術館
76	○	○	池上秀畝	おしろい花	制作年不詳	紙本着色	28.1×18.3	信州高遠美術館
77	○	○	池上秀畝	人物	制作年不詳	鉛筆、紙	29.4×170	信州高遠美術館
78	○	○	池上秀畝	裸体	制作年不詳	インク、紙	54.6×72.8	信州高遠美術館
79	○	○	池上秀畝	裸体	制作年不詳	インク、紙	54.6×72.8	信州高遠美術館
80	○	○	池上秀畝	片山から西駒眺望	1893(明治26)	紙本着色	35.6×22.7	信州高遠美術館
81	○	○	池上秀畝	武州国澤里真写	制作年不詳	紙本着色	35.6×22.8	信州高遠美術館
82	○	○	池上秀畝	高城町家眺望	1890(明治23)	紙本着色	54.5×72.7	信州高遠美術館
83	○ 巻2	○ 巻4	池上秀畝	伝神洞主写生画巻	1912−1941(明治45−昭和16)	紙本着色	各27.5〜28.0 × 2100.0	横浜美術館(池上秀一氏寄贈)
84	○		池上秀畝	避邪之図	1910(明治43)	紙本着色	108.0×40.0	個人蔵
85 −92	○	○	池上秀畝	『匣書手扣』	1917−1944(大正6−昭和19)			信州高遠美術館
93		○	池上秀畝	桜下美雉	制作年不詳	絹本着色	104.6×61.8	個人蔵
94	○	○	池上秀畝	『写生帖』		紙本着色		信州高遠美術館
95	○	○	池上秀畝	画稿帳	制作年不詳	紙本墨画	23.6×16.2	長野県立美術館
第４章　屏風と秀畝　画の本分								
96	○		池上秀畝	竹林に鷺図	1913(大正2)	紙本着色	各168.3× 364.5	伊那市常圓寺
97		○	池上秀畝	桐に鳳凰図	1923(大正12)	絹本金地着色	各170.9× 348.2	伊那市常圓寺
98	○	○	池上秀畝	画巻(屏風下図)	制作年不詳	紙本着色	47.3×2039.7	長野県立美術館
99	○	○	池上秀畝	画巻(屏風下図)	制作年不詳	紙本着色	46.5×2440.0	個人蔵
エピローグ　晩年の秀畝　衰えぬ創作意欲								
100	○	○	池上秀畝	画稿(雅叙園孔雀の間下図ほか)	制作年不詳	紙本墨画		長野県立美術館
101	○	○	池上秀畝	飛蝶	1937(昭和12)	紙本着色	各117.0〜 118.0× 163.0 〜207.0	飯山陸送株式会社
参考	○	○	池上秀畝	目黒雅叙園　秀畝の間(渡風亭)・静水の間(映像)	1932(昭和7)			ホテル雅叙園東京
102	○	○	池上秀畝	深山鳴鹿図	制作年不詳	絹本着色	249.5×116.3	長野県立美術館
103	○	○	池上秀畝	片時雨	1941(昭和16)	絹本着色	178.0×228.0	東京都現代美術館
104	○	○	池上秀畝	神風	1943(昭和18)	紙本着色	各175.0× 370.0	靖國神社遊就館
105	○	○	二世中村蘭台	古希印	制作年不詳		2.5×2.0×4.1	信州高遠美術館

ダリ版画展－奇想のイメージ

シュルレアリスムを代表する画家として知られるサルバドール・ダリ（1904−1989）の版画作品を紹介する展覧会。ダリの名を聞いて一般的にイメージされるのは油彩作品であるが、実は版画制作についても深い造詣と愛好をもって取り組み、生涯に1600点以上もの作品を残したことはあまり知られていない。本展では、ダリの版画制作が最盛期をむかえた1960〜70年代の作品を中心に約230点を出品し、「やわらかい時計」や「変形した肉体」といった特有のイメージや、作家の繊細な感性が発揮された細やかな描画が見られるものなど、多様な作品群を展覧した。さらに彫刻作品6点を加え、幅広い芸術分野に寄せられたダリの関心を示そうとした。

また、ダリならびにシュルレアリスムについて様々な角度から学び、親しむことができる機会として、ダリが制作に関わった映画作品の鑑賞会や、作家の制作を追体験する版画ワークショップ、またシュルレアリスムの専門家を迎えた講演会等の関連イベントを開催した。

■会期　令和6年7月13日（土）から9月16日（月・祝）（58日間）
■会場　長野県立美術館（展示室1・2・3）
■主催等　［主催］長野県、長野県立美術館、信濃毎日新聞社、（公財）信毎文化事業財団
［共催］長野県教育委員会、信越放送
［後援］スペイン大使館 Embajada de España 、長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、（公財）八十二文化財団、（公財）ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、NHK長野放送局
［企画協力］株式会社創絵社
■観覧料　一般1,400（1,300）円、大学生1,200（1,100）円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※コレクション展（本館・東山魁夷館）との共通料金
一般1,900円、75歳以上1,700円、大学生1,500円
※（　）内は20名以上の団体料金
■入館者数　25,885人（有料：19,121人　無料：6,764人）
■イベント　①映画鑑賞会『白い恐怖』／日時：7月21日（日）14：00〜16：00／場所：ホール／参加人数：46人
②特別講演会「ダリ、シュルレアリスムと日本」／講師：速水 豊（三重県立美術館 館長）／日時：8月3日（土）14：00〜15：30／場所：ホール／参加人数：69人
③担当学芸員によるスライドトーク「サルバドール・ダリ その生涯と作品の展開」／日時：8月25日（日）14：00〜15：00／場所：レセプションルーム／参加人数：29人
④おとなアートラボ「版画ワークショップ」／講師：青山由貴枝（当館学芸専門員）／日時：9月7日（土） 10：00〜15：00／場所：レセプションルーム／参加人数：10人
■担当学芸員　茂原奈保子、池田淳史

No.	作者名	作品名	刊行年	技法	サイズ(cm)
1	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)				
地獄篇					
1	サルバドール・ダリ	1:魅惑的な山(旅のはじまり)(第1歌)	1963	木口木版	330×262
2	サルバドール・ダリ	2:ベアトリーチェの励まし(ベアトリーチェを思い浮かべるダンテ)(第2歌)	1963	木口木版	330×262
3	サルバドール・ダリ	3:地獄の河の渡し守カロン(第3歌)	1963	木口木版	330×262
4	サルバドール・ダリ	4:暗い辺獄(リンボ)で(第4歌)	1963	木口木版	330×262
5	サルバドール・ダリ	5:審判者ミノス(第5歌)	1963	木口木版	330×262
6	サルバドール・ダリ	6:地獄の番犬ケルベロス(第6歌)	1963	木口木版	330×262
7	サルバドール・ダリ	7:貧欲の罪と浪費の罪(第7歌)	1963	木口木版	330×262
8	サルバドール・ダリ	8:忿怒の罪(第8歌)	1963	木口木版	330×262
9	サルバドール・ダリ	9:復讐の女神エリニュスたち(第9歌)	1963	木口木版	330×262
10	サルバドール・ダリ	10:ファリナータ(第10歌)	1963	木口木版	330×262
11	サルバドール・ダリ	11:地獄の深淵について語る(第11歌)	1963	木口木版	330×262
12	サルバドール・ダリ	12:ミノタウロス(第12歌)	1963	木口木版	330×262
13	サルバドール・ダリ	13:自殺者の森(第13歌)	1963	木口木版	330×262
14	サルバドール・ダリ	14:神を冒涜する者(邪悪な舌)(第14歌)	1963	木口木版	330×262
15	サルバドール・ダリ	15:男色者たち(第15歌)	1963	木口木版	330×262
16	サルバドール・ダリ	16:フレゲトン川瀑布(第16歌)	1963	木口木版	330×262
17	サルバドール・ダリ	17:虚偽瞞着の権化(第17歌)	1963	木口木版	330×262
18	サルバドール・ダリ	18:ゲリュオンの背に乗って(第18歌)	1963	木口木版	330×262
19	サルバドール・ダリ	19:誘惑者たち(第19歌)	1963	木口木版	330×262
20	サルバドール・ダリ	20:阿諛追従の徒(第20歌)	1963	木口木版	330×262
21	サルバドール・ダリ	21:聖職売買の徒(第21歌)	1963	木口木版	330×262
22	サルバドール・ダリ	22:マント(第22歌)/[メドゥーサ(第9歌)?]	1963	木口木版	330×262
23	サルバドール・ダリ	23:不正行為者(第23歌)	1963	木口木版	330×262
24	サルバドール・ダリ	24:ヴァンニ・フッチの予言(第24歌)	1963	木口木版	330×262
25	サルバドール・ダリ	25:ヴァンニ・フッチの懲罰(第25歌)	1963	木口木版	330×262
26	サルバドール・ダリ	26:ケンタウロスのカクス(第26歌)	1963	木口木版	330×262
27	サルバドール・ダリ	27:黒天使(第27歌)	1963	木口木版	330×262
28	サルバドール・ダリ	28:マホメット(第28歌)	1963	木口木版	330×262
29	サルバドール・ダリ	29:ベルトラン・ド・ボルン(第29歌)	1963	木口木版	330×262
30	サルバドール・ダリ	30:カポッキオにかじりつくジャンニ・スキッキ(第30歌)	1963	木口木版	330×262
31	サルバドール・ダリ	31:アンタイオスの手によって降下するダンテとウェルギリウス(第31歌)	1963	木口木版	330×262
32	サルバドール・ダリ	32:モンタペルティの裏切り者(ボッカ・デリ・アバーティの髪をつかむダンテ)(第32歌)	1963	木口木版	330×262
33	サルバドール・ダリ	33:ウゴリーノ伯とルッジェーリ大司教(第33歌)/[氷結した涙(第33歌)?]	1963	木口木版	330×262
34	サルバドール・ダリ	34:悪魔大王ルチフェロ(第34歌)	1963	木口木版	330×262
煉獄篇					
35	サルバドール・ダリ	1:悔悟者たちの城(第1歌)	1963	木口木版	330×262
36	サルバドール・ダリ	2:船の船頭をつとめる天使(魂を乗せた船)(第2歌)	1963	木口木版	330×262
37	サルバドール・ダリ	3:魂の能力(第3歌)	1963	木口木版	330×262
38	サルバドール・ダリ	4:怠け者(第4歌)	1963	木口木版	330×262
39	サルバドール・ダリ	5:ウェルギリウスの叱責(第5歌)/[抱擁するウェルギリウスとソルデッロ(第6歌)?]	1963	木口木版	330×262
40	サルバドール・ダリ	6:暴力的な死に遭遇した怠け者(第6歌)/[プオンコンテ・ダ・モンテフェルト口をめぐる争い(第5歌)?]	1963	木口木版	330×262
41	サルバドール・ダリ	7:登りの掟(地に線を引くソルデッロ)(第7歌)	1963	木口木版	330×262
42	サルバドール・ダリ	8:王侯たちの谷間の見張りをする二人の天使(第8歌)	1963	木口木版	330×262
43	サルバドール・ダリ	9:恵みの鷲(ダンテの鷲の夢)(第9歌)	1963	木口木版	330×262
44	サルバドール・ダリ	10:受胎告知の聖母(第10歌)/[レア(第27歌)?]	1963	木口木版	330×262
45	サルバドール・ダリ	11:怠慢な人(第11歌)	1963	木口木版	330×262
46	サルバドール・ダリ	12:蜘蛛と化した狂女アラクネ(第12歌)	1963	木口木版	330×262
47	サルバドール・ダリ	13:第二の環道(第13歌)	1963	木口木版	330×262
48	サルバドール・ダリ	14:嫉妬の羨望の罪を浄める人々(第14歌)	1963	木口木版	330×262
49	サルバドール・ダリ	15:慈悲の天使(第15歌)	1963	木口木版	330×262
50	サルバドール・ダリ	16:厚い帷(第16歌)	1963	木口木版	330×262
51	サルバドール・ダリ	17:恍惚とした光景(第17歌)	1963	木口木版	330×262
52	サルバドール・ダリ	18:怠惰の罪(第18歌)	1963	木口木版	330×262
53	サルバドール・ダリ	19:ダンテの夢にあらわれたセイレーン(第19歌)	1963	木口木版	330×262
54	サルバドール・ダリ	20:貪欲の罪(第20歌)	1963	木口木版	330×262
55	サルバドール・ダリ	21:浪費の罪(第21歌)	1963	木口木版	330×262
56	サルバドール・ダリ	22:黄金時代(第22歌)	1963	木口木版	330×262
57	サルバドール・ダリ	23:大食の罪(第23歌)	1963	木口木版	330×262
58	サルバドール・ダリ	24:懲罰の樹(第24歌)	1963	木口木版	330×262
59	サルバドール・ダリ	25:好色の罪(第25歌)	1963	木口木版	330×262
60	サルバドール・ダリ	26:好色多淫の二群(第26歌)	1963	木口木版	330×262

No.	作者名	作品名	刊行年	技法	サイズ(cm)
61	サルバドール・ダリ	27:ウェルギリウスの最後の言葉(第27歌)	1963	木口木版	330×262
62	サルバドール・ダリ	28:神の森(地上楽園)(第28歌)	1963	木口木版	330×262
63	サルバドール・ダリ	29:ダンテとベアトリーチェ(第29歌)	1963	木口木版	330×262
64	サルバドール・ダリ	30:懺悔するダンテ(第30歌)	1963	木口木版	330×262
65	サルバドール・ダリ	31:掟の樹の方へ(第31歌)	1963	木口木版	330×262
66	サルバドール・ダリ	32:ダンテの覚醒(第32歌)	1963	木口木版	330×262
67	サルバドール・ダリ	33:浄められたダンテ(第33歌)	1963	木口木版	330×262
天国篇					
68	サルバドール・ダリ	1:ダンテ(第1歌)	1963	木口木版	330×262
69	サルバドール・ダリ	2:第一天の天使(第2歌)	1963	木口木版	330×262
70	サルバドール・ダリ	3:ピッカルダ・ドナーティ(第3歌)/[ユスティニアヌス(第6歌)?]	1963	木口木版	330×262
71	サルバドール・ダリ	4:ダンテの疑問を解消するベアトリーチェ(第4歌)	1963	木口木版	330×262
72	サルバドール・ダリ	5:水星天で(第5歌)	1963	木口木版	330×262
73	サルバドール・ダリ	6:教会と帝国(第6歌)	1963	木口木版	330×262
74	サルバドール・ダリ	7:疑念を抱いたダンテ(第7歌)/[目が眩んでしまったダンテ(第25歌)?]	1963	木口木版	330×262
75	サルバドール・ダリ	8:ヴィーナス(金星天)への上昇(第8歌)/[光の中のピカルダ(第3歌)?]	1963	木口木版	330×262
76	サルバドール・ダリ	9:司教となった吟遊詩人(第9歌)/[愚かな説教師(第29歌)?]	1963	木口木版	330×262
77	サルバドール・ダリ	10:造詣の深い魂の群れの歌声(第10歌)	1963	木口木版	330×262
78	サルバドール・ダリ	11:魂の二つの輪(第11歌)/[至高天の光の大河(第30歌)?]	1963	木口木版	330×262
79	サルバドール・ダリ	12:原初の完全な創造(第12歌)	1963	木口木版	330×262
80	サルバドール・ダリ	13:火星天の十字架(第13歌)	1963	木口木版	330×262
81	サルバドール・ダリ	14:粉塵のような無数の魂(第14歌)	1963	木口木版	330×262
82	サルバドール・ダリ	15:高祖父カッチャグイダの出現(第15歌)	1963	木口木版	330×262
83	サルバドール・ダリ	16:カッチャグイダの年代記(第16歌)/[天の白い薔薇(第31歌)?]	1963	木口木版	330×262
84	サルバドール・ダリ	17:神の中にダンテの追放を見るカッチャグイダ(第17歌)/[鷲の姿を形づくる魂(第18歌)?]	1963	木口木版	330×262
85	サルバドール・ダリ	18:詩人を慰めるベアトリーチェ(第18歌)	1963	木口木版	330×262
86	サルバドール・ダリ	19:木星天で(第19歌)/[憤る聖ペテロ(第27歌)?]	1963	木口木版	330×262
87	サルバドール・ダリ	20:至福の魂の星座(第20歌)/[恒星からの眺め(第22歌)?]	1963	木口木版	330×262
88	サルバドール・ダリ	21:天の梯子(第21歌)	1963	木口木版	330×262
89	サルバドール・ダリ	22:神の計りがたさ(第22歌)/[高慢な天使(第29歌)?]	1963	木口木版	330×262
90	サルバドール・ダリ	23:キリストの光の下にある庭(第23歌)/[キリストと聖母の勝利(第23歌)?]	1963	木口木版	330×262
91	サルバドール・ダリ	24:マリアを賛美する(第24歌)	1963	木口木版	330×262
92	サルバドール・ダリ	25:至福の魂の喜び(第25歌)	1963	木口木版	330×262
93	サルバドール・ダリ	26:聖ヤコブの出現(第26歌)	1963	木口木版	330×262
94	サルバドール・ダリ	27:聖ペテロとダンテ(第27歌)/[カッチャグイダの魂と会話するダンテ(第17歌)?]	1963	木口木版	330×262
95	サルバドール・ダリ	28:忠実な天使(第28歌)	1963	木口木版	330×262
96	サルバドール・ダリ	29:ベアトリーチェの超越的美しさ(第29歌)/[祈りにより恵みを得ることを教える聖ベルナール(第32歌)?]	1963	木口木版	330×262
97	サルバドール・ダリ	30: 至高天に至る(第30歌)	1963	木口木版	330×262
98	サルバドール・ダリ	31:至高天の天使たち(第31歌)/[聖ペテロとヤコブ(第25歌)?]	1963	木口木版	330×262
99	サルバドール・ダリ	32:大天使ガブリエルと聖母マリア(第32歌)	1963	木口木版	330×262
100	サルバドール・ダリ	33:マリアを讃える聖ベルナールの祈り(第33歌)	1963	木口木版	330×262
2 『15の版画集』					
101	サルバドール・ダリ	犀	1968	エングレーヴィング	125×175
102	サルバドール・ダリ	象	1968	エングレーヴィング	175×125
103	サルバドール・ダリ	ナルキッソス	1968	エングレーヴィング	175×125
104	サルバドール・ダリ	トゥルーズ=ロートレック	1968	エングレーヴィング	175×125
105	サルバドール・ダリ	メルクリウス	1968	エングレーヴィング	175×125
106	サルバドール・ダリ	レオナルド・ダ・ヴィンチ	1968	エングレーヴィング	175×125
107	サルバドール・ダリ	ファン・ゴッホ	1968	エングレーヴィング	175×125
108	サルバドール・ダリ	ミケランジェロ	1968	エングレーヴィング	175×125
109	サルバドール・ダリ	やわらかい電話	1968	エングレーヴィング	175×125
110	サルバドール・ダリ	ペガサス	1968	エングレーヴィング	175×125
111	サルバドール・ダリ	レンブラント	1968	エングレーヴィング	175×125
112	サルバドール・ダリ	シャガール	1968	エングレーヴィング	175×125
113	サルバドール・ダリ	ピカソ	1968	エングレーヴィング	175×125
114	サルバドール・ダリ	ダリ	1968	エングレーヴィング	175×125
115	サルバドール・ダリ	やわらかい時計	1968	エングレーヴィング	175×125
3 馬乗り					
116	サルバドール・ダリ	馬乗り	1968	リトグラフ	770×560
4 『ファウスト』(ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ著)					
117	サルバドール・ダリ	子牛の頭部	1968	エングレーヴィング	318×239
5 『毛皮を着たヴィーナス』(レオポルト・フォン・ザッハー=マゾッホ著)					
118	サルバドール・ダリ	鞭を持つ女	1968	エングレーヴィング	318×239

No.	作者名	作品名	刊行年	技法	サイズ(cm)
119	サルバドール・ダリ	ヴェールを持つ女	1968	エングレーヴィング	318×239
120	サルバドール・ダリ	紫のブーツ	1968	エングレーヴィング	318×239
121	サルバドール・ダリ	靴の女	1968	エングレーヴィング	318×239
122	サルバドール・ダリ	ひざまずく女	1968	エングレーヴィング	318×239
123	サルバドール・ダリ	トルソ	1968	エングレーヴィング	318×239
124	サルバドール・ダリ	黒人女たち	1968	エングレーヴィング	318×239
125	サルバドール・ダリ	馬乗りの女	1968	エングレーヴィング	318×239
126	サルバドール・ダリ	木の葉になった女	1968	エングレーヴィング	318×239
127	サルバドール・ダリ	羽根飾り	1968	エングレーヴィング	318×239
128	サルバドール・ダリ	枝苔並木道	1968	エングレーヴィング	318×239
129	サルバドール・ダリ	刺激的なお尻	1968	エングレーヴィング	318×239
130	サルバドール・ダリ	頭部	1968	エングレーヴィング	318×239
131	サルバドール・ダリ	松葉杖の女	1968	エングレーヴィング	318×239
132	サルバドール・ダリ	翼のある悪魔	1968	エングレーヴィング	318×239
133	サルバドール・ダリ	靴に接吻する男	1968	エングレーヴィング	318×239
6	『トリスタンとイズー』(アンドレ・マリ編)				
134	サルバドール・ダリ	トリスタンとイズー	1970	ドライポイント	400×265
135	サルバドール・ダリ	マルク王	1970	ドライポイント	400×265
136	サルバドール・ダリ	モルオルトとの戦い	1970	ドライポイント	400×265
137	サルバドール・ダリ	アイルランド王妃イズーとその娘イズー	1970	ドライポイント	400×265
138	サルバドール・ダリ	トリスタンと竜	1970	ドライポイント	400×265
139	サルバドール・ダリ	傷ついたトリスタン	1970	ドライポイント	400×265
140	サルバドール・ダリ	イズーの到着	1970	ドライポイント	400×265
141	サルバドール・ダリ	邪悪な小びとフロサン	1970	ドライポイント	400×265
142	サルバドール・ダリ	カサマツの下で	1970	ドライポイント	400×265
143	サルバドール・ダリ	断罪された恋人たち	1970	ドライポイント	400×265
144	サルバドール・ダリ	隠修士オグラン	1970	ドライポイント	400×265
145	サルバドール・ダリ	マルク王の野営	1970	ドライポイント	400×265
146	サルバドール・ダリ	アルテュール王の騎士たち	1970	ドライポイント	400×265
147	サルバドール・ダリ	王妃は絹のブリオーを身に着けていた	1970	ドライポイント	400×265
148	サルバドール・ダリ	不実な三人の貴族	1970	ドライポイント	400×265
149	サルバドール・ダリ	巨人のベリアゴグ	1970	ドライポイント	400×265
150	サルバドール・ダリ	白き手のイズー	1970	ドライポイント	400×265
151	サルバドール・ダリ	イズーと侍女ブランゲーヌ	1970	ドライポイント	400×265
152	サルバドール・ダリ	狂えるトリスタン	1970	ドライポイント	400×265
153	サルバドール・ダリ	トリスタンの最後の戦い	1970	ドライポイント	400×265
154	サルバドール・ダリ	トリスタンの遺言	1970	ドライポイント	400×265
7	『雅歌』				
155	サルバドール・ダリ	ソロモン王	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
156	サルバドール・ダリ	どうかあの方が、その口のくちづけをもって、わたしにくちづけしてくださるように(1:2)	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
157	サルバドール・ダリ	どうぞ、そんなに見ないでください、日焼けして黒くなったわたしを(1:6)	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
158	サルバドール・ダリ	恋人よ、あなたをたとえよう、ファラオの車をひく馬に(1:9)	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
159	サルバドール・ダリ	恋人よあなたは美しい。あなたは美しく、その目は鳩のよう(1:15)	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
160	サルバドール・ダリ	恋しい人の声が聞こえます。山を越え、丘を跳んでやってきます。(2:8)	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
161	サルバドール・ダリ	恋人はかもしかのよう、若い牡鹿のようです。ごらんなさい、もう家の外に立って窓からうかがい、格子の外からのぞいています(2:9)	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
162	サルバドール・ダリ	見よ、ソロモンの輿を。輿を担う60人の勇士、イスラエルの精鋭(3:7)	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
163	サルバドール・ダリ	恋人よ、あなたは何もかもが美しく傷ひとつもない(4:7)	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
164	サルバドール・ダリ	恋しいあの人はわたしのもの、わたしは恋しいあの人のもの、ゆりの中で群れを飼っているあの人のもの(6:3)	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
165	サルバドール・ダリ	わたしはクルミの園に下りて行きました。流れのほとりの緑の茂みに、ぶどうの花は咲いたか、ざくろのつぼみは開いたか、見ようとして(6:11)	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
166	サルバドール・ダリ	もう一度出ておいで、シュラムのおとめ。もう一度出ておいで、姿を見せておくれ(7:1)	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
8	『シュルレアリスムの思い出』				
167	サルバドール・ダリ	ダダ・シュルレアリスムの天使	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
168	サルバドール・ダリ	シュルレアリスム的花娘	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
169	サルバドール・ダリ	ウルトラ・シュルレアリスム的微粒子のガルツカ	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
170	サルバドール・ダリ	天空の象	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
171	サルバドール・ダリ	シュルレアリスム的王様	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
172	サルバドール・ダリ	シュルレアリスム的時間の目	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
173	サルバドール・ダリ	蝶に囲まれたダリのシュルレアリスム的肖像	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
174	サルバドール・ダリ	シュルレアリスム風に裸体で装う	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
175	サルバドール・ダリ	狂いに狂った狂気のミネルヴァ	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
176	サルバドール・ダリ	シュルレアリスム的時計への思いやり	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
177	サルバドール・ダリ	シュルレアリスム的松葉杖	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415

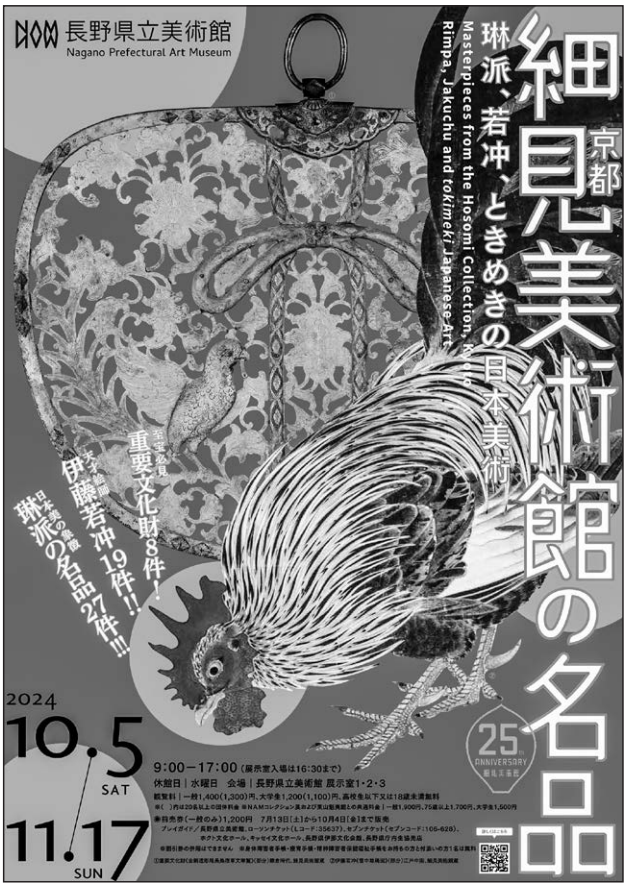
No.	作者名	作品名	刊行年	技法	サイズ(cm)
178	サルバドール・ダリ	シュルレアリスム的美食術	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
9	『シカゴの眺め』				
179	サルバドール・ダリ	シカゴ・アート・インスティテュート	1972a	エッチング、ステンシル	485×315
10	『パンタグリュエルの滑稽な夢』				
180	サルバドール・ダリ	No.2	1973	リトグラフ	760×560
181	サルバドール・ダリ	No.3	1973	リトグラフ	760×560
11	『不死のための10の処方』				
182	サルバドール・ダリ	リスのホログラフィーによって復活した人間	1973	エングレーヴィング	395×570
183	サルバドール・ダリ	ダリアヌス・ガラエの不死	1973	エングレーヴィング	420×320
184	サルバドール・ダリ	不死の墓碑銘	1973	エングレーヴィング	392×576
185	サルバドール・ダリ	遺伝帝国主義の不死	1973	エングレーヴィング	390×570
186	サルバドール・ダリ	大便食(糞して食べろ)システム	1973	エングレーヴィング	390×570
187	サルバドール・ダリ	カストルとポリュデウケスの不死	1973	エングレーヴィング	390×570
188	サルバドール・ダリ	立方体の四面体的不死	1973	エングレーヴィング	390×575
189	サルバドール・ダリ	聖三位一体、聖なる記憶の固執	1973	エングレーヴィング	415×315
190	サルバドール・ダリ	アナモルフォーズの中のアナモルフォーズそしてすべてはホロゲラモフォーズ	1973	エングレーヴィング	570×390
191	サルバドール・ダリ	ゾエートロープとプレ塔	1973	エングレーヴィング	575×390
192	サルバドール・ダリ	君主制の立体鏡的・立体科学的不死	1973	エングレーヴィング	390×570
12	『イスラエルの12部族』				
193	サルバドール・ダリ	口絵	1973	エッチング、ステンシル	655×505
194	サルバドール・ダリ	ベニヤミン族	1973	エッチング、ステンシル	655×505
195	サルバドール・ダリ	ルベン族	1973	エッチング、ステンシル	655×505
196	サルバドール・ダリ	シメオン族	1973	エッチング、ステンシル	610×750
197	サルバドール・ダリ	ヨセフ族	1973	エッチング、ステンシル	655×505
198	サルバドール・ダリ	ゼブルン族	1973	エッチング、ステンシル	655×505
199	サルバドール・ダリ	ユダ族	1973	エッチング、ステンシル	505×655
200	サルバドール・ダリ	イサカル族	1973	エッチング、ステンシル	655×505
201	サルバドール・ダリ	アシェル族	1973	エッチング、ステンシル	655×505
202	サルバドール・ダリ	ダン族	1973	エッチング、ステンシル	655×505
203	サルバドール・ダリ	レビ族	1973	エッチング、ステンシル	655×505
204	サルバドール・ダリ	ガド族	1973	エッチング、ステンシル	505×655
205	サルバドール・ダリ	ナフタリ族	1973	エッチング、ステンシル	655×505
13	『宇宙の征服者』				
206	サルバドール・ダリ	反物質の蝶たち	1974	エングレーヴィング、クロモリトグラフ	740×550
207	サルバドール・ダリ	二重完全電子顕微鏡を備えた火星人ダリ	1974	エングレーヴィング、クロモリトグラフ	740×550
208	サルバドール・ダリ	宇宙の内臓円	1974	エングレーヴィング、クロモリトグラフ	740×550
209	サルバドール・ダリ	5歳のダリが自分は昆虫だと思っていたが故に熱愛した地を這う生物たち	1974	エングレーヴィング、クロモリトグラフ	740×550
14	『日本昔話』				
210	サルバドール・ダリ	花咲じじい	1976	エッチング、ステンシル	660×505
211	サルバドール・ダリ	湖山が長者	1976	エッチング、ステンシル	660×505
212	サルバドール・ダリ	六地蔵	1976	エッチング、ステンシル	660×505
15	『哲学者たちの錬金術』				
213	サルバドール・ダリ	錬金術の天使	1976	リトグラフ、エングレーヴィング、セリグラフ	760×560
214	サルバドール・ダリ	哲学のるつぼ	1976	リトグラフ、エングレーヴィング、セリグラフ	760×560
215	サルバドール・ダリ	エメラルドのテーブル	1976	リトグラフ、エングレーヴィング、セリグラフ	760×560
216	サルバドール・ダリ	王と王妃	1976	リトグラフ、エングレーヴィング、セリグラフ	760×560
217	サルバドール・ダリ	不死	1976	リトグラフ、エングレーヴィング、セリグラフ	760×560
218	サルバドール・ダリ	陰と陽	1976	リトグラフ、エングレーヴィング、セリグラフ	760×560
219	サルバドール・ダリ	錬金術師の夢または生命の樹	1976	リトグラフ、エングレーヴィング、セリグラフ	760×560
220	サルバドール・ダリ	不死鳥	1976	リトグラフ、エングレーヴィング、セリグラフ	760×560
221	サルバドール・ダリ	ウロボロス	1976	リトグラフ、エングレーヴィング、セリグラフ	760×560
222	サルバドール・ダリ	迷宮	1976	リトグラフ、エングレーヴィング、セリグラフ	760×560
16	『薔薇』				
223	サルバドール・ダリ	『薔薇』	1975	ドライポイント、ステンシル	570×760
17	『回想録II』				
224	サルバドール・ダリ	トルソ(ヴィーナスの誕生)	1979	リトグラフ	748×545
特別出品					
225	フィリップ・ハルスマン	フィリップ・ハルスマン写真集『ダリの髭』より：私の口髭は真の私の中への入り口に直立する二人の番兵のようなものだ	1954	写真	250×196

No.	作者名	作品名	刊行年	技法	サイズ(cm)
225	サルバドール・ダリ	『愛の三部作』愛の約束	1976	リトグラフ	755×543
225	サルバドール・ダリ	『愛の三部作』愛の王子様	1976	リトグラフ	755×543
225	サルバドール・ダリ	『愛の三部作』永遠の愛	1976	リトグラフ	755×543
彫刻					
226	サルバドール・ダリ	キリンのヴィーナス	1973	ブロンズ	565×275×92
227	サルバドール・ダリ	『不死のための10の処方』	1973	メタクリル樹脂、ブロンズ	645×550×110
228	サルバドール・ダリ	ニュートンに捧ぐ	1981	ブロンズ	390×210×85
229	サルバドール・ダリ	記憶の持続	1981	ブロンズ	365×175×60
230	サルバドール・ダリ	引き出しを持つミロのヴィーナス	1988	ブロンズ	365×100×85
231	サルバドール・ダリ	天空の犀	1988	ブロンズ	330×165×40

京都 細見美術館の名品－琳派、若冲、ときめきの日本美術－

多彩な日本の美を国内外へ発信し続ける京都・細見美術館。昭和の実業家・細見良（初代古香庵）に始まる細見家三代が蒐集した名品の数々は、一貫した美意識によって形成され、日本美術史を総覧する幅広い年代とジャンルにわたり、内外から高い評価を受けている。本展では、上質なコレクションの中から厳選された重要文化財8件を含む各時代や分野を象徴する名品104件を展観した。平安・鎌倉時代の仏教・神道美術、室町時代の水墨画や茶の湯釜、桃山から江戸にかけての茶陶や華麗な蒔絵、七宝と風俗画、さらに江戸時代絵画の中でも同館屈指のコレクションである日本美の象徴・琳派、天才絵師・伊藤若冲など、誰もが“心ときめく”美の空間へと誘う細見美術館ならではの至極の世界をご覧いただいた。

■会期　令和6年10月5日（土）から11月17日（日）（39日間）
■会場　長野県立美術館（展示室1・2・3）
■主催等　［主催］長野県、長野県立美術館、SBC信越放送
［共催］長野県教育委員会、信濃毎日新聞社
［特別協力］公益財団法人 細見美術財団
［後援］長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、（公財）八十二文化財団、（公財）ながの観光コンベンションビューロー
［協力］ヤマト運輸
［企画制作］毎日放送
■観覧料　一般1,400（1,300）円、大学生1,200（1,100）円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※コレクション展（本館・東山魁夷館）との共通料金
一般1,900円、75歳以上1,700円、大学生1,500円
※（　）内は20名以上の団体料金
■入館者数　24,645人（有料：19,628人　無料：5,017人）
■図録（主要目次）
図版
Ⅰ.祈りのかたち
Ⅱ.数寄の心
Ⅲ.華やぎのとき
Ⅳ.琳派への憧れ
Ⅴ.若冲のちから
細見美術館－その礎と道程－（岡野智子）
■イベント　①記念講演会／講師：細見良行（細見美術館館長）／日時：10月5日（土）13：30～15：00／場所：ホール／参加人数：73人
②担当学芸員によるスライドトーク／日時：10月26日（土）13：30～15：00／場所：レセプションルーム／ 参加人数：45人
■担当学芸員　上沢修、佐々木裕貴子



No.	前期	後期	作者名	作品名	時代／制作年	員数	技法・材質
Ⅰ　祈りのかたち							
1	○	○		金銅誕生釈迦仏立像	飛鳥時代	1軀	銅製鋳造 鍍金
2	○	○	伝光明皇后 書	蝶鳥下絵法華経断簡	平安中期	1幅	彩箋墨書
3	○	○		絵因果経断簡	鎌倉時代	1幅	紙本著色
4	○	○		金胎仏画帖断簡（東方欲金剛像）	平安後期	1幅	紙本著色
5	○	○		准胝観音像	鎌倉時代	1幅	絹本著色
6		○		虚空蔵菩薩像（重要文化財）	鎌倉時代	1面	板絵著色
7	○	○		金銅千体阿弥陀懸仏（重要文化財）	鎌倉前期	1面	銅製鋳造　鍍金　彫金
8	○			熊野十二社権現懸仏（重要文化財）	鎌倉時代	1面	銅製鋳造　鍍金　鍍銀
9	○	○		薬師如来懸仏「熊野三山御正体集」のうち	鎌倉時代	1面	銅製鋳造　鍍金
10	○			金銅春日神鹿御正体（重要文化財）	南北朝時代	1軀	銅製鋳造　鍍金　鍍銀　彫金
11	20面は通期展示 10面は後期展示			羽黒山御手洗池出土銅鏡（重要文化財）	平安後期	30面	銅製鋳造
12	○	○		金銅透彫尾長鳥唐草文華鬘（重要文化財）	鎌倉時代	1面	銅製鍛造　鍍金　彫金
13	○	○		金銅五鈷鈴（重要文化財）	平安後期	1口	銅製鋳造　鍍金
14	○	○		金銅三昧耶五鈷鈴（重要美術品）	鎌倉時代	1口	銅製鋳造　鍍金
15	○	○		金銅五鈷杵（重要美術品）	平安後期	1口	銅製鋳造　鍍金
16	○	○		金銅金剛盤（重要美術品）	室町時代	1面	銅製鋳造　鍍金
17	○	○		銅布薩形水瓶	鎌倉時代	1口	銅製鋳造
Ⅱ　数寄の心							
18	○	○		鹿形装飾付飾	古墳時代後期	1口	炻器
19	○	○	春屋妙葩	墨蹟	南北朝時代	1幅	紙本墨書
20	○	○	千 利休	消息＜釜の文＞	桃山時代	1幅	紙本墨書
21	○	○		梵字経刷白描伊勢物語絵巻断簡「彦星」（重要美術品）	鎌倉時代	1幅	紙本墨画　木版墨刷
22	○	○	単庵智伝	煙寺晩鐘図（重要美術品）	室町時代	1幅	紙本墨画
23	○	○	単庵智伝	梅花小禽図（重要美術品）	室町時代	1幅	紙本墨画
24	○	○	伝狩野元信	雪中花鳥図屏風	室町時代	6曲1隻	紙本墨画
25	○	○		根来亀甲文瓶子	室町時代	1口	木製漆塗
26	○	○		根来湯桶	室町時代	1口	木製漆塗
27	○	○		芦屋霰地楓鹿図真形釜（重要文化財）	室町時代	1口	鉄製鋳造
28	○	○	大江宣秀	芦屋十一面観音香炉釜（重要美術品）	1534（天文3）銘	1口	鉄製鋳造
29	○	○		志野茶碗 銘 弁慶	桃山時代	1口	施釉陶器
30	○	○	宗味	黒楽茶碗 銘 穂垣	桃山時代	1口	施釉陶器
31	○	○		信楽鬼桶水指	桃山時代	1口	炻器
32	○	○		織部分銅形香合	桃山時代	1合	施釉陶器
33	○	○		織部菊兜香合	桃山時代	1合	施釉陶器
34	○	○		伊賀伽藍香合	桃山時代	1合	炻器
35	○	○		織部千鳥文手付四方鉢	桃山時代	1口	施釉陶器
Ⅲ　華やぎのとき							
36	○	○		桐竹鳳凰図屏風	江戸初期	6曲1隻	紙本金地著色
37	○	○		桐鳳凰蒔絵長持	桃山時代	1合	木製漆塗
38	○	○		七宝夕顔文釘隠	桃山時代	1個	銅製　象嵌七宝　無線七宝
39	○	○		七宝流水蛇籠文釘隠	江戸前期	1個	銅製　象嵌七宝
40	○	○		七宝梅枝文釘隠	江戸前期	1個	銅製　象嵌七宝　無線七宝
41	○	○		七宝桜文引手	江戸前期	1個	銅製　象嵌七宝
42	○	○		七宝桜花手桶文引手	江戸前期	1個	銅製　象嵌七宝
43	○	○		七宝花筏文引手	江戸前期	1個	銅製　象嵌七宝
44	○	○		七宝鳥兜文引手	江戸前期	1個	銅製　象嵌七宝
45	○	○		七宝八角水指	江戸中期～後期	1合	銅製　有線七宝
46	○	○	「椋政」印	北野社頭図屏風	江戸前期	6曲1隻	紙本金地著色
47	○	○		東山四条河原遊楽図屏風	江戸前期	6曲1隻	紙本著色
48	○	○		遊楽図扇面	江戸前期	10面	紙本著色
49	○	○		男女遊楽図屏風	江戸前期	6曲1隻	紙本金地著色
50	○	○	山東京伝 序跋	江戸風俗図巻	江戸後期	1巻	紙本著色
51	○	○	葛飾北斎	夜鷹図	江戸後期	1幅	紙本淡彩
52	○	○	葛飾北斎	五美人図	江戸後期	1幅	絹本著色
53	○	○		桜幔幕蒔絵螺鈿重箱	江戸前期	1合	木製漆塗
54	○	○		菊蒔絵徳利	江戸前期	1対	木製漆塗
55	○	○		藤蒔絵提重	江戸後期	1具	木製漆塗
56	○	○		花車図屏風	江戸後期	6曲1双	紙本金地著色
Ⅳ　琳派への憧れ							
57	○	○	本阿弥光悦 書、俵屋宗達 下絵	月梅下絵和歌書扇面	江戸前期	1幅	紙本墨書　金地銀泥下絵

No.	前期	後期	作者名	作品名	時代／制作年	員数	技法・材質
58	○	○	本阿弥光悦 書、俵屋宗達 下絵	忍草下絵和歌色紙「郭公」	江戸前期	1幅	紙本墨書　金銀泥下絵
59	○	○	俵屋宗達	墨梅図	江戸前期	1幅	紙本墨画
60	○	○	俵屋宗達	伊勢物語図色紙「大淀」	江戸前期	1幅	紙本著色
61	○	○	尾形光琳	柳図香包	江戸中期	1幅	絹本金地著色
62	○	○	尾形乾山	色絵唐子図筆筒	江戸中期	1口	施釉陶器
63	○	○	渡辺始興	白象図屏風	江戸中期	2曲1隻	紙本墨画淡彩
64	○	○	中村芳中	白梅小禽図屏風	江戸後期	6曲1隻	紙本金地著色
65	○	○	中村芳中	朝顔図	江戸後期	1幅	絹本著色
66	○	○	中村芳中	月に萩鹿図	江戸後期	1幅	絹本著色
67	○	○	神坂雪佳	金魚玉図	明治末期	1幅	絹本著色
68	○	○	神坂雪佳	十二ヶ月草花図	大正末期～昭和初期	12面	絹本著色
69	○	○	神坂雪佳	伊勢物語図扇面「河内越」	大正末期～昭和初期	1幅	紙本著色
70	○	○	神坂雪佳 図案、木村秀雄 作	住之江蒔絵色紙箱	大正時代	1合	木製漆塗
71	○	○	酒井抱一	松風村雨図	1785（天明5）	1幅	絹本墨画淡彩
72	○	○	酒井抱一	扇面貼交屏風	江戸後期	6曲1双	紙本墨画　紙本著色
73	○	○	酒井抱一	鹿楓図団扇	江戸後期	1柄	紙本金地著色
74	○	○	酒井抱一	桜に小禽図	江戸後期	1幅	絹本著色
75	○	○	酒井抱一	白蓮図	江戸後期	1幅	絹本墨画淡彩
76	○	○	池田孤邨	四季草花流水図屏風	江戸後期	2曲1隻	紙本金地著色
77	○	○	鈴木其一	水辺家鴨図屏風	江戸後期	6曲1隻	紙本金地著色
78	○	○	鈴木其一	朴に尾長鳥図	江戸後期	1幅	絹本著色
79	○	○	鈴木其一	白椿に楽茶碗花鋏図	江戸後期	1幅	絹本著色
80	○	○	鈴木其一	雪中竹梅小禽図	江戸後期	双幅	絹本著色
81	○	○	鈴木守一	桜下花雛図	江戸後期～明治時代	1幅	絹本著色
82	○	○	鈴木守一	業平東下り図	江戸後期～明治時代	1幅	絹本著色
83	○	○	酒井道一	菊龍胆に小禽図	明治時代	1幅	絹本著色
Ⅴ　若冲のちから							
84	○	○	伊藤若冲	雪中雄鶏図	江戸中期	1幅	紙本著色
85	○	○	伊藤若冲	糸瓜群虫図	江戸中期	1幅	絹本著色
86	○	○	伊藤若冲	風竹図	江戸中期	1幅	絹本墨画
87	○	○	伊藤若冲	瓢箪・牡丹図	江戸中期	双幅	紙本墨画
88	○	○	伊藤若冲	花鳥図押絵貼屏風	江戸中期	6曲1双	紙本墨画
89	○	○	伊藤若冲	海老図	1761（宝暦11）賛	1幅	紙本墨画
90	○	○	伊藤若冲	仔犬に箒図	江戸中期	1幅	紙本墨画
91	○	○	伊藤若冲	伏見人形図	1782（天明2）賛	1幅	紙本著色
92	○	○	伊藤若冲	萬歳図	江戸中期	1幅	紙本墨画
93	○	○	伊藤若冲	踏歌図	江戸中期	1幅	絹本墨画
94	○	○	伊藤若冲	菊花図押絵貼屏風	1795（寛政7）頃	6曲1双	紙本墨画
95	○	○	伊藤若冲	宝珠に小槌図	1800（寛政12）頃	1幅	紙本墨画
96	○	○	伊藤若冲	里芋図	江戸中期	1幅	紙本墨画
97	○	○	伊藤若冲	関羽図	江戸中期	1幅	紙本墨画
98	○	○	伊藤若冲	朱達磨図	江戸中期	1幅	紙本著色
99	○	○	伊藤若冲	鼠婚礼図	1796（寛政8）頃	1幅	紙本墨画
100	○	○	伊藤若冲	虻に双鶏図	江戸中期	1幅	紙本墨画
101	○	○	伊藤若冲	群鶏図	1796（寛政8）頃	1幅	紙本墨画
102	○	○	伊藤若冲	鶏図押絵貼屏風	1797（寛政9）頃	6曲1双	紙本墨画
103	○	○	若演	遊鶏図押絵貼屏風	江戸後期	6曲1双	紙本墨画
104	○	○	若演	釣瓶に鶏図	江戸後期	1幅	紙本墨画

NAMコレクション2024特集展示
自然と人間／あいだの美術

長野県立美術館は1966年に財団法人信濃美術館として発足して以来、郷土作家による作品や、信州の自然を描いた風景画を中心に作品を収集してきた。日本の近代美術を基軸としたコレクションには、信州の地に根差したからこそ見つめられた風景や、この地を訪れた画家の眼差しによって観察された風景など、さまざまな美術家によって見出された「自然」が描かれている。また、収蔵品の中には、図案やイラストレーション、ことばを用いた作品など、従来の絵画作品の範囲にとどまらない、多様な表現や形態を用いた美術作品が含まれていることも見逃せない。本展は、「自然と人間」「あいだの美術」の二部構成によって、普段展示する機会が少ない作品も交えて、NAM（長野県立美術館）コレクションを特集した。第I部では、近代日本美術における自然表現の断片を辿り、第II部では作品と資料の「あいだ」に位置する近現代の芸術表現を紹介し、多様な表現に彩られたNAMコレクションを概観した。

■会期　令和6年11月30日（土）から令和7年1月13日（月・祝）（33日間）
■会場　長野県立美術館（展示室2・3）
■主催等　［主催］長野県、長野県立美術館　［共催］長野県教育委員会
■観覧料　コレクション展（本館・東山魁夷館共通）
一般700（600）円、大学生及び75歳以上500（400）、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※（　）内は20名以上の団体料金
■入館者数　5,709人（有料：4,773人　無料：936人）
■図録　第Ⅰ部「自然と人間」―日本近代美術コレクションから
－ 西洋の「眼」―リアルの系譜
column 1　洋画の「先覚者」、川上冬崖（松浦千栄子）
－ 無名の風景の発見
column 2　水彩画の時代―水彩画講習会と小諸義塾のこと（古家満葉）
－ 感応する風景―河野通勢と村山槐多
column 3　河野通勢の風景画について（鈴木幸野）
－ 北信の近代南画
column 4　信州南画の様相―児玉果亭と長井雲坪を中心に（北泉剛史）
－ 農と地の記憶
－ 近代登山と風景―版画コレクションを中心に
第Ⅱ部 あいだの美術
－ 杉浦非水のデザイン―写生と図案と
column 5　杉浦非水の西洋美術受容（堀千晶）
－ 図案と紋様―江崎孝坪の風呂敷原画
－ アートディレクター 太田英茂の眼
－ 商業写真家 ハリー・K.シゲタ
column 6　商業写真と芸術写真のあいだに―ハリー・K. シゲタのレタッチとトリック（古家満葉）
－ 口絵／挿絵／装幀―富岡永洗と池田満寿夫の仕事から
－ 松澤宥の「言語による美術」
column 7　コンセプチュアリズム―松澤宥が見た「世界」と「世界」が見た松澤宥（茂原奈保子）
－ コミュニケーションとネットワーク
column 8　印刷物が伝えるインフォメーション―松澤アーカイブズから（古家満葉）
出品目録
作家略歴
■イベント　担当学芸員によるギャラリートーク
日時：12月7日（土）14:00～14:30／場所：展示室3／参加人数：18人
日時：12月14日（土）14:00～14:30／場所：展示室2／参加人数：20人
■担当学芸員　古家満葉、堀千晶

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵先・コレクション名
第Ⅰ部 「自然と人間」―日本近代美術コレクションから					
Ⅰ−1	司馬江漢	泊船遠望図	不詳	絹本彩色	信越放送（長野県立美術館寄託）
Ⅰ−2	内田正雄編、川上冬崖挿画（発行：大学南校）	『輿地誌略』第一編（巻三）	1870（明治3） 初版		長野県立美術館
Ⅰ−3	川上冬崖（発行：文部省）	『西画指南』後編下巻	1871（明治4）		長野県立美術館
Ⅰ−4	不詳	水辺の牛	不詳	エッチング、紙	長野県立美術館
Ⅰ−5	川上冬崖	草花図	不詳	水彩、紙	長野県立美術館
Ⅰ−6	川上冬崖	ナポレオン	不詳	水彩、紙	長野県立美術館
Ⅰ−7	小山正太郎	川中島第二次犀川之役	1892（明治25）	石版、紙	長野県立美術館
Ⅰ−8	岡村政子	笛吹く女	1890（明治23）	石版、紙	長野県立美術館
Ⅰ−9	亀井至一（発行：信陽堂）	美人（『時事新報』第466号附録）	1894（明治27）年9月5日	石版、紙	長野県立美術館
Ⅰ−10	和田英作画／小川一眞製	高橋白山肖像	不詳	コロタイプ、紙	長野県立美術館
Ⅰ−11	河野次郎	長野郊外	1892（明治25）	油彩、カンヴァス	長野県立美術館
Ⅰ−12	浅井忠	グレー風景	1901（明治34）	水彩、紙	信越放送（長野県立美術館寄託）
Ⅰ−13	丸山晩霞	山上の潤地	不詳	水彩、紙	長野県立美術館
Ⅰ−14	丸山晩霞	初夏の志賀高原	1909（明治42）頃	水彩、紙	長野県立美術館
Ⅰ−15	丸山晩霞	ローマ郊外	1911−12（明治44−45）	水彩、紙	長野県立美術館
Ⅰ−16	石井柏亭	ローマにて（イゾラ・チベリーナ）	1911（明治44）	水彩、紙	長野県立美術館
Ⅰ−17	河野通勢	無題（長野風景）	1914−16（大正3−5）頃	油彩、カンヴァス	長野県立美術館
Ⅰ−18	河野通勢	柳	1915（大正4）	油彩、カンヴァスボード	長野県立美術館
Ⅰ−19	河野通勢	裾花にて	1915（大正4）	インク、紙	長野県立美術館
Ⅰ−20	河野通勢	樹	1915（大正4）	インク、紙	長野県立美術館
Ⅰ−21	河野通勢	芸術の源泉	1916（大正5）	インク、紙	長野県立美術館
Ⅰ−22	村山槐多	田端の崖	1914（大正3）	水彩、紙	長野県立美術館（信濃デッサン館コレクション）
Ⅰ−23	村山槐多	小杉未醒氏庭園にて	1914（大正3）	水彩、紙	長野県立美術館（信濃デッサン館コレクション）
Ⅰ−24	村山槐多	風景（山）	1915（大正4）	鉛筆・色鉛筆、紙	長野県立美術館（信濃デッサン館コレクション）
Ⅰ−25	村山槐多	信州風景	1917（大正6）	墨、紙	長野県立美術館（信濃デッサン館コレクション）
Ⅰ−26	村山槐多（発行：アルス）	『槐多の歌へる』	1920（大正9）		長野県立美術館
Ⅰ−27	長井雲坪	秋山群猿図	1890（明治23）	絹本彩色	長野県立美術館
参考出品1	長井雲坪	枯柯雙猿図	1893（明治26）	紙本彩色	個人蔵
Ⅰ−28	長井雲坪	懸崖香蘭図	1891（明治24）	紙本墨画	長野県立美術館
Ⅰ−29	長井雲坪	蔵月楼	1883（明治16）	紙本墨書	長野県立美術館
Ⅰ−30	児玉果亭	深山大沢	1902（明治35）	絹本墨画	長野県立美術館
Ⅰ−31	児玉果亭	雪景山水図	1905（明治38）	絹本墨画	長野県立美術館
Ⅰ−32	発行：果亭保存会	『果亭翁画譜』	1913（大正2）		長野県立美術館
Ⅰ−33	不詳	児玉果亭肖像	明治時代末期	白黒写真	長野県立美術館
Ⅰ−34	不詳	竹仙居社中竹仙山房写真（門弟集合写真）	1913（大正2）	白黒写真	長野県立美術館
Ⅰ−35	小坂芝田	雪景山水図	1911（明治44）	絹本彩色	長野県立美術館
Ⅰ−36	諏訪部直亭	米法山水図	不詳	紙本墨画	長野県立美術館
Ⅰ−37	河野通勢	アア彼方の地は実に	1915（大正4）	コンテ、紙	長野県立美術館
Ⅰ−38	村山槐多	農夫	1915（大正4）	インク・鉛筆、紙	長野県立美術館（信濃デッサン館コレクション）
Ⅰ−39	矢崎重信	『信濃の子供』原画5 紙漉く村	1943（昭和18）	水彩、紙	長野県立美術館
Ⅰ−40	矢崎重信	『信濃の子供』原画20 柿もぎ	1943（昭和18）	水彩、紙	長野県立美術館
Ⅰ−41	矢崎重信	『信濃の子供』原画22 麻の皮剥ぎ	1942（昭和17）	水彩、紙	長野県立美術館
Ⅰ−42	仲村進	農夫と馬	1979（昭和54）	紙本彩色	長野県立美術館
Ⅰ−43	矢崎重信作画、諸田盛男解説（発行：長野県農会）	『教育画集 信濃の子供 上巻』	1944（昭和19）		長野県立美術館
Ⅰ−44	吉田博	有明山	1920（大正9）	油彩、カンヴァス	長野県立美術館
Ⅰ−45	吉田博	劔山の朝（日本アルプス十二題の内）	1926（大正15）	木版、紙	長野県立美術館
Ⅰ−46	吉田博	駒ヶ岳岩小屋（日本南アルプス集）	1928（昭和3）	木版、紙	長野県立美術館
Ⅰ−47	伊藤孝之	明け行く岳川	1932（昭和7）	木版、紙	長野県立美術館
Ⅰ−48	伊藤孝之	八峰より見たる鹿島槍	1932（昭和7）	木版、紙	長野県立美術館
Ⅰ−49	伊藤孝之	白馬山頂より立山遠望	1932（昭和7）	木版、紙	長野県立美術館
Ⅰ−50	山口進	木曽駒ヶ岳馬の背	1963（昭和38）	木版、紙	長野県立美術館
Ⅰ−51	畦地梅太郎	水	1973（昭和48）	木口木版、紙	長野県立美術館
参考出品2		山口進旧蔵資料（書簡、葉書ほか）			長野県立美術館
第Ⅱ部 あいだの美術					
Ⅱ−1	杉浦非水	やまゆり（山百合）（『非水百花譜』第3輯より）	1929（昭和4）	木版、紙	長野県立美術館
Ⅱ−2	杉浦非水	やまゆり（山百合）影絵（『非水百花譜』第3輯より）	1929（昭和4）	木版、紙	長野県立美術館
Ⅱ−3	杉浦非水	やまゆり（山百合）解説（『非水百花譜』第3輯より）	1929（昭和4）	印刷	長野県立美術館
Ⅱ−4	杉浦非水	がんぴ（雁緋）（『非水百花譜』第8輯より）	1930（昭和5）	木版、紙	長野県立美術館
Ⅱ−5	杉浦非水	がんぴ（雁緋）影絵（『非水百花譜』第8輯より）	1930（昭和5）	木版、紙	長野県立美術館
Ⅱ−6	杉浦非水	がんぴ（雁緋）解説（『非水百花譜』第8輯より）	1930（昭和5）	印刷	長野県立美術館

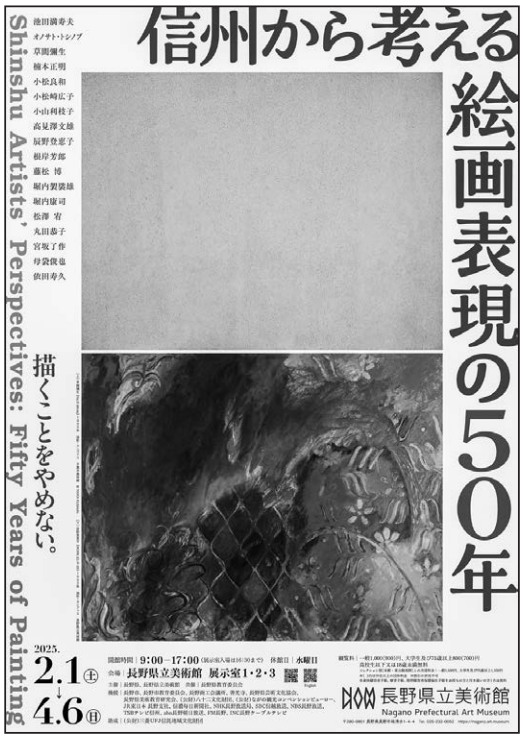
No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵先・コレクション名
Ⅱ−7	杉浦非水	ききやう（桔梗）（『非水百花譜』第12輯より）	1931（昭和6）	木版、紙	長野県立美術館
Ⅱ−8	杉浦非水	ききやう（桔梗）影絵（『非水百花譜』第12輯より）	1931（昭和6）	木版、紙	長野県立美術館
Ⅱ−9	杉浦非水	ききやう（桔梗）解説（『非水百花譜』第12輯より）	1931（昭和6）	印刷	長野県立美術館
Ⅱ−10	杉浦非水	『科學知識』第14巻第2号（表紙）	1934（昭和9）	印刷、紙	長野県立美術館
Ⅱ−11	杉浦非水	『橄欖』第5巻第11号（表紙）	1926（大正15）	印刷、紙	長野県立美術館
Ⅱ−12	杉浦非水	『菊葉』第2号（表紙）	1930（昭和5）	印刷、紙	長野県立美術館
Ⅱ−13	杉浦非水	『三越』第5巻第5号（表紙）	1915（大正4）	印刷、紙	長野県立美術館
Ⅱ−14	杉浦非水	『みつこしタイムス』第7巻第7号（表紙）	1909（明治42）	印刷、紙	長野県立美術館
Ⅱ−15	杉浦非水	『みつこしタイムス』第9巻第1号（表紙）	1911（明治44）	印刷、紙	長野県立美術館
Ⅱ−16	杉浦非水	『むれ星』第3巻第7号（表紙）	1930（昭和5）	印刷、紙	長野県立美術館
Ⅱ−17	杉浦非水	『むれ星』第9巻第5号（表紙）	1936（昭和11）	印刷、紙	長野県立美術館
Ⅱ−18	杉浦非水	三越呉服店慰勞會臨時汽車「乗車券　往復」　新橋−鎌倉間	不詳	印刷、紙	長野県立美術館
Ⅱ−19	杉浦非水	三越呉服店慰勞會臨時汽車「乗車券　往復」　二等　新橋−鎌倉間	不詳	印刷、紙	長野県立美術館
Ⅱ−20	杉浦非水	『電話御注文の栞』	不詳	印刷、紙	長野県立美術館
Ⅱ−21	杉浦非水	『寫眞定價表』	不詳	印刷、紙	長野県立美術館
Ⅱ−22	杉浦非水	『店内御案内』（銀座の三越）	1930（昭和5）	印刷、紙	長野県立美術館
Ⅱ−23	杉浦非水	『三越の帽子』	1909（明治42）頃	印刷、紙	長野県立美術館
Ⅱ−24	杉浦非水	『中元御贈答用品案内』	不詳	印刷、紙	長野県立美術館
Ⅱ−25	杉浦非水	「三越呉服店」	不詳	印刷、紙	長野県立美術館
Ⅱ−26	杉浦非水	菊葉会第一回公演筋書	不詳	印刷、紙	長野県立美術館
Ⅱ−27	杉浦非水	組合せ文房具　三越	不詳	印刷、紙	長野県立美術館
Ⅱ−28	杉浦非水（発行：金尾文淵堂）	『非水圖按集　第一集』	1915（大正4）		長野県立美術館
Ⅱ−29	杉浦非水（発行：文雅堂）	『非水創作圖案集』	1926（大正15）		長野県立美術館
Ⅱ−30	花王石鹸株式会社長瀬商会（AD：太田英茂、原画：原弘）	花王石鹸包装紙	1952（昭和27）頃	印刷、紙	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−31	花王石鹸株式会社長瀬商会	「長瀬商会の新陣営を覗く1」絵葉書セットより	1931（昭和6）頃	ハガキ	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−32	花王石鹸株式会社長瀬商会	「長瀬商会の新陣営を覗く2」絵葉書セット（6枚入り）より	1931（昭和7）頃	ハガキ	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−33	太田英茂	ノート「酒悦」	1953（昭和28）	紙、インク、鉛筆等	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−34	芹沢銈介	芹沢銈介葉書（太田英茂宛）	1953（昭和28）年10月28日	紙、墨、鉛筆、インク	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−35	酒悦（AD：太田英茂、沿革文字：芹沢銈介）	パンフレット「沿革」	1965（昭和40）	印刷、紙	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−36	芹沢銈介	「沿革」A	1965（昭和40）頃	印刷、紙	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−37	芹沢銈介	「沿革」B	1965（昭和40）頃	印刷、紙	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−38	酒悦（AD：太田英茂、酒悦マーク：芹沢銈介）	パンフレット「由来」各種	不詳	印刷、紙	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−39	酒悦（AD：太田英茂、デザイン：氏原忠夫、酒悦マーク：芹沢銈介）	パンフレット「みそづけ」小	1963（昭和38）頃	印刷、紙	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−40	酒悦（AD：太田英茂、酒悦マーク：芹沢銈介）	パンフレット「みそづけ」鳥	不詳	印刷、紙	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−41	酒悦（AD：太田英茂、酒悦マーク：芹沢銈介）	パンフレット「精醸梅酒」	不詳	印刷、紙	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−42	酒悦（AD：太田英茂、デザイン：氏原忠夫、酒悦マーク：芹沢銈介）	パンフレット「粕漬」各種	1963（昭和39）年頃	印刷、紙	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−43	酒悦（AD：太田英茂、酒悦マーク：芹沢銈介）	各種ラベル	不詳	印刷、紙	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−44	酒悦（AD：太田英茂、デザイン：氏原忠夫、酒悦マーク：芹沢銈介）	商品ラベル「のり佃煮」	不詳	印刷、紙	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−45	酒悦（AD：太田英茂、デザイン：氏原忠夫、酒悦マーク：芹沢銈介）	各種商品ラベル（なす辛子漬、のり佃煮、葉唐辛子、ねりうに、梅びしお）	不詳	印刷、紙	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−46	酒悦（AD：太田英茂、デザイン：氏原忠夫、酒悦マーク：芹沢銈介）	各種商品ラベル（きゃらぶき、あみ佃煮、鯛でんぶ、のり佃煮）	不詳	印刷、紙	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−47	酒悦（AD：太田英茂、「菜の花漬」デザイン：氏原忠夫、酒悦マーク：芹沢銈介）	商品ラベル（パパイヤ味噌漬、菜の花漬）	不詳	印刷、紙	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−48	酒悦（AD：太田英茂）	チラシ「福神漬ぽけっと缶」	不詳	印刷、紙	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−49	酒悦（AD：太田英茂、酒悦マーク：芹沢銈介）	各種商品ラベル（葉唐辛子佃煮、鯛でんぶ、鯛みそ）	不詳	印刷、紙	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−50	酒悦（AD：太田英茂、酒悦マーク：芹沢銈介）	商品パッケージ（のり佃煮、さわらび、でんぶ、梅酢らっきょう、福神漬、きうり）	不詳	印刷、ポリエチレン	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−51	酒悦（AD：太田英茂、酒悦マーク：芹沢銈介）	各種商品ラベル「福神漬」	不詳	印刷、紙	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−52	桜井甘精堂（AD：太田英茂、ロゴ・シンボルマーク：鳥居敬一、デザイン：広橋桂子）	桜井甘精堂各種パッケージ	1964−1968（昭和39−43）頃	印刷、紙	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−53	桜井甘精堂（AD：太田英茂、ロゴ・シンボルマーク：鳥居敬一）	パッケージ「純栗もなか6個入」	1964−1968（昭和39−43）頃	印刷、紙	個人蔵（長野県立美術館寄託）
Ⅱ−54	桜井甘精堂（AD：太田英茂、原型デザイン：宮桐子）	栗もなか　皮石膏模型	1964−1968（昭和39−43）頃	石膏	個人蔵（長野県立美術館寄託）
参考出品3	太田英茂	商品ラベルスクラップブック			
Ⅱ−55	江崎孝坪	松波巴文	不詳	紙本彩色	長野県立美術館
Ⅱ−56	江崎孝坪	光琳之水	不詳	紙本彩色	長野県立美術館

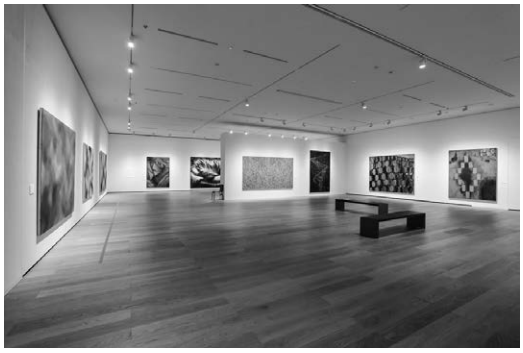
No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵先・コレクション名
Ⅱ−57	江崎孝坪	芒にうさぎ	不詳	紙本彩色	長野県立美術館
Ⅱ−58	江崎孝坪	山に小梅	不詳	紙本彩色	長野県立美術館
参考出品4		「江崎先生創案」	不詳	スクラップブック	
Ⅱ−59	ハリー・K.シゲタ	動	1930(昭和5)	モノクロームプリント	長野県立美術館
Ⅱ−60	ハリー・K.シゲタ	渦巻	1930(昭和5)	モノクロームプリント	長野県立美術館
Ⅱ−61	ハリー・K.シゲタ	凝視	1930(昭和5)	モノクロームプリント	長野県立美術館
Ⅱ−62	ハリー・K.シゲタ	時間 空間 形態	1940(昭和15)	モノクロームプリント	長野県立美術館
Ⅱ−63	ハリー・K.シゲタ	アブストラクト	1950(昭和25)	モノクロームプリント	長野県立美術館
Ⅱ−64	富岡永洗	捨小舟 中(『捨小舟 中』黒岩涙香著 扶桑堂、口絵)	1895(明治28)	木版、紙	長野県立美術館
Ⅱ−65	富岡永洗	女庭訓(『女庭訓』黒岩涙香著 扶桑堂、口絵)	1896(明治29)	木版、紙	長野県立美術館
Ⅱ−66	富岡永洗	心と心(『心と心』黒岩涙香著 扶桑堂、口絵)	1899(明治32)	木版、紙	長野県立美術館
Ⅱ−67	富岡永洗	幽霊塔 前(『幽霊塔 前』黒岩涙香著 扶桑堂、口絵)	1901(明治34)	木版、紙	長野県立美術館
Ⅱ−68	富岡永洗	幽霊塔 後(『幽霊塔 後』黒岩涙香著 扶桑堂、口絵)	1901(明治34)	木版、紙	長野県立美術館
Ⅱ−69	富岡永洗	幽霊塔 続(『幽霊塔 続』黒岩涙香著 扶桑堂、口絵)	1901(明治34)	木版、紙	長野県立美術館
Ⅱ−70	池田満寿夫	無題 美術手帖3	1965(昭和40)	コラージュ、紙	長野県立美術館
Ⅱ−71	池田満寿夫	無題 美術手帖4	1968(昭和43)	コラージュ、紙	長野県立美術館
Ⅱ−72	池田満寿夫	空の広告	1967(昭和42)	コラージュ、紙	長野県立美術館
Ⅱ−73	池田満寿夫	AIR MAIL コラージュ	1969(昭和44)	コラージュ・ボード紙	長野県立美術館
Ⅱ−74	池田満寿夫	画家とモデル No.1「コラージュNo.1」	1970(昭和45)	コラージュ、紙	長野県立美術館
Ⅱ−75	池田満寿夫	画家とモデル No.2「コラージュNo.2」	1970(昭和45)	コラージュ、紙	長野県立美術館
Ⅱ−76	池田満寿夫	画家とモデル No.3「コラージュNo.3」	1970(昭和45)	コラージュ、紙	長野県立美術館
Ⅱ−77	池田満寿夫	画家とモデル No.4「コラージュNo.4」	1970(昭和45)	コラージュ、紙	長野県立美術館
Ⅱ−78−1	池田満寿夫	オフィリア(扉)	1960(昭和35)	エッチング、紙	長野県立美術館
Ⅱ−78−10	池田満寿夫	オフィリア・番外	1960(昭和35)	エッチング、紙	長野県立美術館
Ⅱ−78−2	池田満寿夫	オフィリア 1,2,5,6,9,10	1960(昭和35)	エッチング、紙	長野県立美術館
Ⅱ−78−3	池田満寿夫	オフィリア 3,4,7,8,11	1960(昭和35)	エッチング、紙	長野県立美術館
Ⅱ−78−4	池田満寿夫	オフィリア12,15,16,19,20,23	1960(昭和35)	エッチング、紙	長野県立美術館
Ⅱ−78−5	池田満寿夫	オフィリア13,14,17,18,21,22	1960(昭和35)	エッチング、紙	長野県立美術館
Ⅱ−78−6	池田満寿夫	オフィリア24,27,28,31,32,35	1960(昭和35)	エッチング、紙	長野県立美術館
Ⅱ−78−7	池田満寿夫	オフィリア25,26,29,30,33,34	1960(昭和35)	エッチング、紙	長野県立美術館
Ⅱ−78−8	池田満寿夫	オフィリア 36,39	1960(昭和35)	エッチング、紙	長野県立美術館
Ⅱ−78−9	池田満寿夫	オフィリア 37,38	1960(昭和35)	エッチング、紙	長野県立美術館
Ⅱ−79	松澤宥	お告げ(水)	1969(昭和44)	印刷、紙	長野県立美術館
Ⅱ−80	松澤宥	宇宙が膨脹しはじめてから	1972(昭和47)	印刷、紙	長野県立美術館
Ⅱ−81	松澤宥	この一枚の白き和紙の中に	1976(昭和51)	シルクスクリーン、紙	個人蔵(長野県立美術館寄託)
Ⅱ−82	松澤宥	九想の室	1977(昭和52)	シルクスクリーン、紙	個人蔵(長野県立美術館寄託)
Ⅱ−83	発行:Benteli AG、ベルン	『グローバル・アート・フュージョン』	1986		長野県立美術館
Ⅱ−84	嶋本昭三	時の記録(2000年1月1日の記録)	2000(平成12)	水彩、アクリル、新聞紙	長野県立美術館
Ⅱ−85	発行:アート・アンド・プロジェクト	ビュルティン(bulletin) 10	1969年9月	オフセット印刷	個人蔵
Ⅱ−86	発行:アート・アンド・プロジェクト	ビュルティン(bulletin) 14	1969年11月	オフセット印刷	個人蔵
Ⅱ−87	発行:アート・アンド・プロジェクト	ビュルティン(bulletin) 18	1970年1月	オフセット印刷	個人蔵
Ⅱ−88	発行:アート・アンド・プロジェクト	ビュルティン(bulletin) 26	1970年6月	オフセット印刷	個人蔵
Ⅱ−89	発行:アート・アンド・プロジェクト	ビュルティン(bulletin) 27	1970年9月	オフセット印刷	個人蔵
Ⅱ−90	発行:アート・アンド・プロジェクト	ビュルティン(bulletin) 28	1970年10月	オフセット印刷	個人蔵
Ⅱ−91	発行:アート・アンド・プロジェクト	ビュルティン(bulletin) 29	1970年11月	オフセット印刷	個人蔵
Ⅱ−92	発行:アート・アンド・プロジェクト	ビュルティン(bulletin) 46	1971年11月	オフセット印刷	個人蔵
Ⅱ−93	発行:アート・アンド・プロジェクト	ビュルティン(bulletin) 47	1971年12月	オフセット印刷	個人蔵
Ⅱ−94	発行:アート・アンド・プロジェクト	ビュルティン(bulletin) 55	1972年5月	オフセット印刷	個人蔵
Ⅱ−95	発行:アート・アンド・プロジェクト	ビュルティン(bulletin) 63	1972年11月	オフセット印刷	個人蔵
Ⅱ−96	発行:アート・アンド・プロジェクト	ビュルティン(bulletin) 75	1974年3月	オフセット印刷	個人蔵
Ⅱ−97	発行:アート・アンド・プロジェクト	ビュルティン(bulletin) 21	1970年3月	オフセット印刷	長野県立美術館
Ⅱ−98	発行:アート・アンド・プロジェクト	ビュルティン(bulletin) 42	1972年8月	オフセット印刷	長野県立美術館
Ⅱ−99	発行:アート・アンド・プロジェクト	ビュルティン(bulletin)84	1975年1月	オフセット印刷	長野県立美術館
Ⅱ−100	松澤宥(発行:アート・アンド・プロジェクト)	『公案芸術』	1973	オフセット印刷	長野県立美術館
Ⅱ−101	発行:CAyC	cayc 664	1976年9月15日	オフセット印刷	個人蔵
Ⅱ−102	発行:CAyC	cayc 702	1976年11月15日	オフセット印刷	個人蔵
Ⅱ−103	発行:CAyC	cayc 761	1977年8月19日	オフセット印刷	個人蔵
Ⅱ−104	発行:CAyC	cayc 767	1977年8月29日	オフセット印刷	個人蔵
Ⅱ−105	発行:CAyC	cayc 802	1977年10月5日	オフセット印刷	個人蔵
Ⅱ−106	発行:シグナリズム	signal no. 6/7	1972年11月	オフセット印刷	個人蔵
Ⅱ−107	発行:シグナリズム	signal no. 8/9	1973年1月	オフセット印刷	個人蔵
参考出品5	差出人:マーティン・マロニー、ローレンス・ウィナー、ヤロスラウ・コズロウスキー 、ヴォルフ・フォステル、オラシオ・サバラ、トマシュ・カヴィアク、オパール・L・ネイションズ、ダグラス・ヒューブラー、クレメンテ・パディン、レイ・ジョンソン、エンドレ・トット	メールアート各種(虚空間状況探知センター、DCCA宛)	1970年代		個人蔵

信州から考える　絵画表現の50年

本展は、第二次世界大戦が終結した1945年、戦後の荒廃と混乱の中、国土の復興と産業の再編が目指された時代から、甚大な被害をもたらした阪神・淡路大震災が起き、新たな災害の時代の幕開けを印象付けた1995年までの50年間を対象に、草間彌生や辰野登恵子といった長野県ゆかりの作家の絵画作品に着目したものである。大戦という惨事の終わりと、新たな災害の時代の幕開けに挟まれた半世紀に、絵画というメディアが社会と共に歩む様子や、時代に影響されながらも描くことをやめない作家の姿を紹介し、戦後絵画史の一端を考察した。

■会期　令和7年2月1日（土）から4月6日（日）（56日間）
■会場　長野県立美術館（展示室1・2・3）
■主催等　［主催］長野県、長野県立美術館
［共催］長野県教育委員会
［後援］長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、（公財）八十二文化財団、（公財）ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、INC長野ケーブルテレビ
［助成］公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団
■観覧料　一般1,000（900）円、大学生及び75歳以上800（700）円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※コレクション展（本館・東山魁夷館）との共通料金　一般1,500円、大学生及び75歳以上1,100円
※（　）内は20名以上の団体料金
■入館者数　7,005人（有料：4,426人　無料：2,579人）
■図録（主要目次）
「信州から考える　絵画表現の50年」展について（霜田英子）
「信・衆」から考える――信州の絵画とアメリカ合衆国（樋木野衣）
絵を捲る（沢山遼）
読売アンデパンダン展と絵画の実験―藤松博、松澤宥の場合（池田淳史）
図版
第1章. 1945年～1970年代前半　日本の戦後社会
1−1　自由を求めて　既存団体から離れて
1−2　自由を求めて　アメリカへ
第2章. 1970年代後半～1995年　ポスト戦後社会
2−1　絵画の復権
2−2　地域に生きる
2−3　現実空間へ
■イベント　①アーティスト・トーク1／登壇者：小山利枝子、丸田恭子／日時：2月9日（日）13：30～15：00／場所：レセプションルーム／参加人数：36人
②アーティスト・トーク2／登壇者：根岸芳郎／日時：2月16日（日）13：30～14：30／場所：レセプションルーム／参加人数：29人
③アーティスト・トーク3／登壇者：髙見澤文雄、宮坂了作／日時：3月1日（土）13：30～15：00／場所：レセプションルーム／参加人数：30人
④アーティスト・トーク4／登壇者：母袋俊也／日時：3月9日（日）13：30～14：30／場所：レセプションルーム／参加人数：36人
⑤担当学芸員によるギャラリートーク／日時：2月23日（日）14：00～15：00／場所：展示室1・2・3／参加人数：40人
⑥「みる」を考える　つたえる・つながる筆談鑑賞／案内人：小笠原新也（耳の聞こえない鑑賞案内人）／日時：2月22日（土）14：00～16：00／場所：レセプションルーム、展示室1・2・3／参加人数：14人
■担当学芸員　霜田英子、池田淳史、佐々木裕貴子





No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵先
第１章　1945年～1970年代前半　日本の戦後社会						
1-1	自由を求めて　既存団体から離れて					
1	藤松博	まじない	1952	油彩・カンヴァス	145.0×97.0	東京都現代美術館
2	藤松博	花火と娘	1953	油彩・カンヴァス	65.1×90.9	東京都現代美術館
3	藤松博	旋回	1956	油彩・カンヴァス	65.5×90.0	松本市美術館
4	オノサト・トシノブ	二つの円	1957	油彩・カンヴァス	60.6×72.8	群馬県立近代美術館
5	オノサト・トシノブ	無題	1959	油彩・カンヴァス	116.8×90.8	群馬県立近代美術館
6	松澤宥	［無題］	1950年代前半	パステル、油性塗料・紙	110.0×77.0	個人蔵
7	草間彌生	机上	1950	油彩ほか・麻布（種袋）	80.4×65.5	作家蔵（松本市美術館寄託）
8	堀内康司	風景の中の静物	1954	グァッシュ、コンテ、砂・紙	147.0×115.0	松本市美術館
9	堀内康司	赤い煙突	1954	鉛筆、色鉛筆、コンテ、インク、パステル・紙	64.0×47.0	松本市美術館
10	堀内康司	冬の太陽	1955	鉛筆、色鉛筆、パステル、グァッシュ・紙	47.5×64.0	松本市美術館
11	池田満寿夫	真昼の人々	1955	油彩・カンヴァス	88.4×117.0	長野県立美術館
12	池田満寿夫	われらのマーチ A	1956	油彩・カンヴァス	88.0×130.0	東京都現代美術館
13	池田満寿夫	われらのマーチ B	1956	油彩・カンヴァス	88.0×130.0	東京都現代美術館
14	堀内袈裟雄	炎	1950年代後半	油彩・板	184.0×130.5	個人蔵
15	堀内袈裟雄	泉の極智象 B	1962	油彩ほか・カンヴァス	122.2×122.2	個人蔵
1-2	自由を求めて　アメリカへ					
16	松澤宥	No. 7 亀の夢	1958	パステル、クレヨン、蝋、かまどのスミ、灰・紙	76.9×106.2	個人蔵（長野県立美術館寄託）
17	松澤宥	［無題］	1950年代後半	パステルほか・紙	77.0×106.0	個人蔵
18	松澤宥	［無題］	1950年代後半−1960年代前半	パステルほか・紙	105.9×77.1	個人蔵
19	松澤宥	［無題］	1950年代後半−1960年代前半	パステル、コラージュほか・紙	77.3×106.3	個人蔵
20	松澤宥	ブサイの意味 ―ハイゼンベルクの宇宙方程式によせて	1960	パステルほか・紙	各84.0×84.0（9点組）	長野県立美術館
21	藤松博	（無題）	1960	油彩・カンヴァス	131.5×130.0	松本市美術館
22	藤松博	人	1962	油彩・カンヴァス	160.0×130.9	長野県立美術館
23	草間彌生	No.B White	1959	油彩・カンヴァス	226.5×298.0	千葉市美術館
24	草間彌生	No. PZ	1960	油彩・カンヴァス	269.2×177.8	長野県立美術館
25	草間彌生	No. H. Red	1961	油彩・カンヴァス	157.0×142.0	東京国立近代美術館
26	オノサト・トシノブ	作品	1962	油彩・カンヴァス	130.5×193.5	東京国立近代美術館
27	オノサト・トシノブ	作品100−B	1963	油彩・カンヴァス	130.8×162.3	東京国立近代美術館
28	楠本正明	Imagination of T Shape 75−I	1975	アクリル・カンヴァス	169.5×272.5	作家蔵
29	楠本正明	Requiem／L.T, K.T,	1985−87	アクリルほか・カンヴァス	200.0×472.0	作家蔵
30	堀内袈裟雄	［無題］	1974	アクリル・カンヴァス	74.0×243.0	個人蔵
31	堀内袈裟雄	作品277	1979	アクリル・カンヴァス	151.5×94.5	個人蔵
第２章　1970年代後半～1995年　ポスト戦後社会						
2-1	絵画の復権					
32	辰野登恵子	WORK 80−P−18	1980	油彩、カンヴァス	182.0×227.3	千葉市美術館
33	辰野登恵子	WORK 82−P−35	1982	油彩・カンヴァス	182.0×227.0	長野県立美術館
34	辰野登恵子	UNTITLED 91−20	1991	油彩・カンヴァス	227.0×182.0	長野県立美術館
35	辰野登恵子	UNTITLED 94−8	1994	油彩・カンヴァス	218.0×291.0	長野県立美術館
36	根岸芳郎	80−1	1980	アクリル・カンヴァス	170.0×210.0	作家蔵
37	根岸芳郎	85−10−19	1985	アクリル・カンヴァス	200.0×270.0	作家蔵
38	根岸芳郎	91−10−10	1991	アクリル・カンヴァス	180.0×232.0	長野県立美術館
39	根岸芳郎	99−11−7	1999	アクリル・カンヴァス	210.0×360.0	長野県立美術館
40	依田寿久	無題 No.3	1980	油彩・カンヴァス	153.0×367.0	静岡県立美術館
41	依田寿久	Untitled #17−87	1987	油彩・カンヴァス	270.0×173.0	東京国立近代美術館
42	依田寿久	Untitled #96−09	1996	油彩・カンヴァス	183.0×335.5	南天子画廊
2-2	地域に生きる					
43	小松良和	Landscape '84 眼線の速度	1984	アクリル・カンヴァス	162.1×112.1	長野県伊那北高等学校同窓会
44	小松良和	Landscape '84 気流の音	1984	アクリル、アルミ粉・カンヴァス	162.1×390.9	個人蔵（長野県立美術館寄託）
45	小松良和	作品	1985	ジェッソ、アクリル、インク・板	140.0×144.0	長野県伊那北高等学校同窓会
46	小山利枝子	花93−2	1993	アクリル・カンヴァス	228.0×162.0	作家蔵
47	小山利枝子	光・誕生	1993	アクリル・カンヴァス	248.0×396.0	長野県立美術館
48	小山利枝子	天の鼓手	1997	アクリル・カンヴァス	194.0×162.0	作家蔵
49	丸田恭子	Untitled Black & Yellow #0	1991	アクリル、エナメル・カンヴァス	227.0×162.0	作家蔵
50	丸田恭子	マイナスの質量	1995	アクリル、エナメル・カンヴァス	198.0×398.0	府中市美術館
51	丸田恭子	浸透 #1	1998	アクリル、エナメル・カンヴァス	227.0×162.5	作家蔵
52	小松崎広子	平面の中のジグザグ形 B−34	1993	油彩・カンヴァス	227.5×182.0	作家蔵
53	小松崎広子	平面の中のジグザグ形 C−35	1994	油彩・カンヴァス	227.5×182.0	作家蔵
54	小松崎広子	平面の中のジグザグ形 D−8	1995	油彩・カンヴァス	227.5×182.0	作家蔵

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ（cm）	所蔵先
2-3	現実空間へ					
55	宮坂了作	地図（始まり）	1975	アクリル・カンヴァス	45.5×53.0	作家蔵
56	宮坂了作	地図（島）	1992−93	アクリル・カンヴァス	162.0×390.0	作家蔵
57	宮坂了作	聖地 聖海	1996	アクリル・カンヴァス	162.0×130.0	茅野市美術館
58	高見澤文雄	記憶の衝立 ―オール・オーヴァー・ザ・レインボー	1987	アクリル、ボンド・合板	各172.5×180.0（2点組）	作家蔵
59	高見澤文雄	網の波、波の網 A	1996−97頃	アクリル、油彩・カンヴァス	160.0×260.0	作家蔵
60	高見澤文雄	網の波、波の網 B	1996−97頃	アクリル、油彩・カンヴァス	160.0×260.0	作家蔵
61	高見澤文雄	網の波、波の網 C	1996−97頃	アクリル、油彩・カンヴァス	160.0×260.0	作家蔵
62	母袋俊也	M151　TA to TA	1995	テンペラ、油彩・綿布	182.0×700.0（8枚組）	作家蔵
63	母袋俊也	M195　TAAT	1996	アクリル、油彩・綿布	160.0×750.0（12枚組）	作家蔵

山の画家 足立源一郎

当館のコレクションポリシーの1つ、「美しい山岳風景や精神文化に通じる作品および「自然」や「自然と人間」をテーマとした優れた近現代美術の作品」において、主要な作家である足立源一郎（1889～1973）は、「山岳県」を誇る長野県において数多くの山々を描き、日本の代表的な山岳画家として知られる。本展では「現場主義」を徹底し山頂で制作した際使用した登山用品や絵画道具、スケッチ等を近隣の安曇野山岳美術館、市立大町山岳博物館、県外では河口湖美術館より借用して展示した。山岳画家としての姿とともに本格的な「登山家」でもあった足立の姿を紹介しながら、当館所蔵作家周知の機会とした。

■会期　令和6年7月20日（土）から9月24日（火）（59日間）
■会場　長野県立美術館（オープンギャラリー）
■主催　長野県、長野県立美術館
■観覧料　無料
■入館者数　5,450人
■イベント　担当学芸員によるギャラリートーク
日時：8月10日（土）13:30～14:00／場所：オープンギャラリー／参加人数：14人
日時：9月15日（日）13:30～14:00／場所：オープンギャラリー／参加人数：20人
■担当学芸員　佐々木裕貴子

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵先
1. 登山家として―足立の登山道具たち					
1	山内東一郎	ピッケル		木、金属	市立大町山岳博物館
2		ステッキ		木、金属	市立大町山岳博物館
3		リュックサック		綿帆布	市立大町山岳博物館
4	ホソノ	リュックサック		綿、化繊	市立大町山岳博物館
5		スキー、ストック		スキー：木、ほか／ストック：トンキン竹、皮	市立大町山岳博物館
6	フジクラ	キャラバンシューズ		ナイロン、ゴム、ほか	市立大町山岳博物館
7		ミトン		化繊	市立大町山岳博物館
8		尻皮		カモシカ毛皮	市立大町山岳博物館
9	朋文堂	地形図　1/15万「南アルプスと中央アルプス登山地図」		地図	市立大町山岳博物館
10	朋文堂	地形図　「白馬・立山・鈩・黒部登山図」		地図	市立大町山岳博物館
11	地理調査所	地形図　1/ 5万「上高地」	1947（昭和22）	地図	市立大町山岳博物館
12		地形図　1/ 5万「白馬嶽」		地図	市立大町山岳博物館
13	地理調査所	地形図　1/　5万「槍ガ嶽」	1953（昭和28）	地図	市立大町山岳博物館
14	内務省地理調査所	地形図　1/ 5万「御嶽山」	1949（昭和24）	地図	市立大町山岳博物館
15		パンフレット「Fujikura's Caravan Sanseisha」		印刷、紙	市立大町山岳博物館
16	足立源一郎	ポスター「山へ」	1947（昭和22）	印刷、紙	個人蔵
17	足立源一郎	マッチ箱ラベル帳		印刷、紙	安曇野山岳美術館
18	共立社	『山岳講座』第1～8巻	1935、1936（昭和10、11）	書籍	市立大町山岳博物館
19	朋文堂	『山岳』第1巻・山の研究	1957（昭和32）	書籍	市立大町山岳博物館

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵先
20	朋文堂	『山岳』第2巻・山の科学	1957(昭和32)	書籍	市立大町山岳博物館
21	朋文堂	『山岳』第3巻・山の芸術	1958(昭和33)	書籍	市立大町山岳博物館
22	田中義広編、中日新聞社	『山と日本人』	1970(昭和45)	書籍	市立大町山岳博物館
23	文・深田久弥、写真・風見武秀、朋文堂	『氷河への旅』第12巻	1959(昭和34)	書籍	市立大町山岳博物館
24	畔地梅太郎、創文社	『山の足音』	1960(昭和35)	書籍	市立大町山岳博物館
25	藤島敏男、茗渓堂	『山に忘れたパイプ』	1970(昭和45)	書籍	市立大町山岳博物館
26	横井春野、博文堂	『山岳めぐり』	1937(昭和12)	書籍	市立大町山岳博物館
27	加藤数功・立石敏雄　筑紫山岳会	『九重風物志』	1953(昭和28)	書籍	市立大町山岳博物館
28	岡田喜秋、千代田書院	『こころの山こころの旅』	1953(昭和28)	書籍	市立大町山岳博物館
29	モーリス・エルゾーグ、　白水社	『處女峰アンナプルナ』	1953(昭和28)	書籍	市立大町山岳博物館
30	深田久彌、山と渓谷社発行	『をちこちの山』	1952(昭和27)	書籍	市立大町山岳博物館
31	串田孫一、創文社	『菫色の時間』	1960(昭和35)	書籍	市立大町山岳博物館
32	山川清、ぴーこっく書房発行	『ゆもりすと咄』	1948(昭和23)	書籍	市立大町山岳博物館
33	サー・エドマンド・ヒラリー、ジョージ・ロウ、ベースボールマガジン社	『エヴェレストの東』	1956(昭和34)	書籍	市立大町山岳博物館
34	藤木九三、朋文堂	『垂直の散歩』	1958(昭和33)	書籍	市立大町山岳博物館
35	茨木猪之吉、朋文堂	『山の画帖』コマクサ叢書第12巻	1959(昭和34)	書籍	市立大町山岳博物館
36	平石義親、アサヒ編集センター	『アルプス見物』	1972(昭和47)	書籍	市立大町山岳博物館
37	深田久彌、中央公論社	『ヒマラヤ　―山と人―』	1956(昭和31)	書籍	市立大町山岳博物館
38	川森佐智子、平凡社	『初恋の山』	1958(昭和33)	書籍	市立大町山岳博物館
39	串田孫一編、筑摩書房	『忘れえぬ山I』	1959(昭和34)	書籍	市立大町山岳博物館
40	串田孫一編、筑摩書房	『山河をちこち』	1959(昭和34)	書籍	市立大町山岳博物館
41	斉藤清太郎、蓑口治信、山岳巡礼クラブ	『折れたピッケル』	1968(昭和43)	書籍	市立大町山岳博物館
42	諏訪多栄蔵編、サンブライト出版	『回想－西岡一雄』(西岡一雄『泉を聴く』復刻(1979、サンブライト出版)付録	1979(昭和54)	書籍	市立大町山岳博物館
2. 山岳画家として―足立の愛用した絵画道具たち					
43	足立源一郎	神城ヒュッテ	1952(昭和27)	コンテ、水彩、紙	安曇野山岳美術館
44	足立源一郎	明神二の池	制作年不詳	コンテ、水彩、紙	安曇野山岳美術館
45	足立源一郎	穂高小舎にて ジャンダルム	1949(昭和24)	コンテ、水彩、紙	安曇野山岳美術館
46	足立源一郎	穂高小舎	1949(昭和24)	コンテ、水彩、紙	安曇野山岳美術館
47	足立源一郎	焼岳より穂高連峰	1951(昭和26)	コンテ、水彩、紙	安曇野山岳美術館
48	足立源一郎	槍ヶ岳 北穂高小舎にて	1949(昭和24)	コンテ、水彩、紙	安曇野山岳美術館
49	足立源一郎	白馬 天狗平にて	制作年不詳	コンテ、水彩、紙	安曇野山岳美術館
50	足立源一郎	徳本峠小舎	制作年不詳	コンテ、水彩、紙	安曇野山岳美術館
51	足立源一郎	穂高小舎	1949(昭和24)	コンテ、水彩、紙	河口湖美術館
52	足立源一郎	朋文堂小舎　涸沢にて	制作年不詳	コンテ、水彩、紙	河口湖美術館
53	足立源一郎	大喰残雪	1946(昭和21)	コンテ、水彩、紙	河口湖美術館
54	足立源一郎	殺生小舎　鎗肩より	制作年不詳	コンテ、水彩、紙	河口湖美術館
55	足立源一郎	横尾根と屏風の頭	制作年不詳	コンテ、水彩、紙	河口湖美術館
56	足立源一郎	殺生小舎	制作年不詳	コンテ、水彩、紙	河口湖美術館
57	足立源一郎	東鎌尾根にて	1960(昭和35)	コンテ、水彩、紙	河口湖美術館
58	足立源一郎	北穂高岳　滝谷側	1952(昭和27)	コンテ、水彩、紙	河口湖美術館
59	足立源一郎	大町周辺		コンテ、水彩、紙	市立大町山岳博物館
60		パレット(フランゼン型)		木、ほか	河口湖美術館
61		パレット(オブロング二つ折型)		木、ほか	河口湖美術館
62		絵具道具箱(パレット付)		木、ほか	河口湖美術館
63		油彩板収納箱		木、ほか	河口湖美術館
64		写真アルバム		写真	安曇野山岳美術館
65		写真アルバム		写真	安曇野山岳美術館

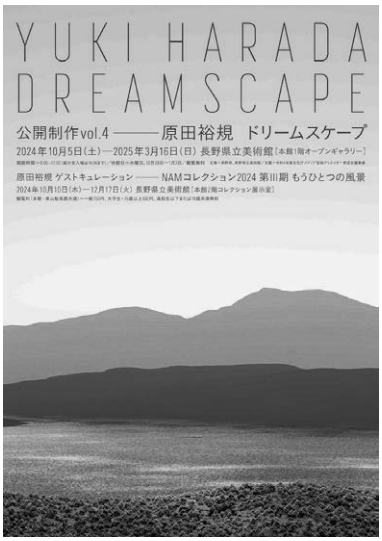
公開制作 vol.4　原田裕規　ドリームスケープ

公開制作は、現代美術作家が一定期間美術館に通い作品を制作する様子を公開し、完成した作品の展示を行う事業である。今年度はとるにたらない視覚文化をモチーフに、テクノロジー、リサーチ、パフォーマンスなどを駆使して作品を制作している原田裕規を招へいした。

原田は、公開制作のために長野をリサーチする中で、当館コレクションの多くを占める長野の風景表現と、長野の主要産業の一つである、光学や印刷の技術という2つの事柄に関心を示した。原田は近年「ドリームスケープ」という名称でインターネットを中心に流行しているデジタル風景表現について考察し制作に取り入れてきたが、今回の公開制作では、当館が収蔵する風景表現と、そのモデル地をリサーチした中で生まれた作品の展示や、当館のコレクション作家の中でも特に自身が強く興味・関心を抱いた作家にまつわる方々や、インクジェットプリンターの黎明期に関わった方へのインタビューなどを行ってきた。

また当館初の試みとして、NAMコレクション2024第Ⅲ期のゲストキュレーターを原田が担当した。このコレクション展では「もうひとつの風景」というタイトルの元、長野の特徴的な風景を描いた作品や、「荒野」をモチーフとした松澤宥の言葉の作品などを通じて、長野県の各地域と風景表現の関わりを示した。

■会期　令和6年10月5日（土）から令和7年3月16日（日）（135日間）
■会場　長野県立美術館（オープンギャラリー）
■主催　長野県、長野県立美術館
■観覧料　無料
■入館者数　8,948人
■記録集（主要目次）
・「公開制作vol.4 原田裕規 ドリームスケープ」をめぐって（山下樹里）
1章　NAMコレクション2024第Ⅲ期 もうひとつの風景
・もうひとつの風景を旅する（原田裕規）
・［コラム］長野県立美術館のコレクションと、「影」としての「もうひとつの風景」（鈴木幸野）
・［インタビュー］「アメリカに渡った日本画家・赤羽雪邦とは何者か?」（木下守）
2章　公開制作vol.4 原田裕規 ドリームスケープ
・長野と《残照》をめぐる旅（原田裕規）
・［コラム］「写真らしさ」の解体と再定義――PM-700Cの登場と写真をめぐる言説の変遷に関する小論（松井正）
・［インタビュー］「インクジェットプリンターが写真を印刷するようになるまで」（山口修一）
・［インタビュー］「松澤宥作品を「風景画」として見る」（松澤久美子）
NAMコレクション2024第Ⅲ期 もうひとつの風景　出品作品リスト
公開制作vol.4 原田裕規 ドリームスケープ　出品作品リスト
NAMコレクション2024第Ⅲ期 もうひとつの風景　主要作家解説
原田裕規　略歴
■イベント　①ラウンドトーク「ドリームスケープ／山について」／日時：10月19日（土）15：30～16：30／場所：オープンギャラリー／参加人数：15人
②クロージング「東山魁夷をめぐる」／日時：3月16日（日）14：30～16：30／場所：オープンギャラリー、館外／参加人数：12人
■担当学芸員　山下樹里



No.	作品名および展示物説明	制作年	材質	サイズ（cm）	特記事項
1	《残照》	2024	高透明塩化ビニールシートにインクジェットプリント	354.9×1134	CGI：SUNJUNJIE
2	《残照（習作）》	2024	インクジェットプリント	91.4×127.7	CGI：SUNJUNJIE
3	《残照（習作）》	2025	インクジェットプリント	91.4×127.7	CGI：SUNJUNJIE
4	「インタビュー映像」 新作を制作するために作家が行ったインタビュー映像を公開した。				
4−1	松井正（長野県立美術館）インタビュー映像	2024	映像	19分39秒	
4−2	松澤久美子（松澤宥ご息女）インタビュー映像	2025	映像	20分56秒	
5	「オンラインキャンバス」 新作を制作するために作家が普段から使っているワークスペースアプリの画面を同期。作家の作業風景がリアルタイムで反映された。				
6	「ワークスペース」 作家が滞在する際のワークスペース。机上のモニターでは、この展示空間を制作した際のメイキング映像を公開した。				
6−1	「公開制作vol.4 原田裕規 ドリームス ケープ」 メイキング映像	2024	映像	13分10秒	撮影・編集：渡辺真太郎、藤田恵実 音楽：Meat Bun

会場風景（撮影:村松桂）

会場風景

会場風景（撮影:村松桂）

10月19日　ラウンドトーク「ドリームスケープ／山について」

3月16日　クロージング「東山魁夷をめぐる」

アートラボ2024第I期
西村陽平 死者の書

今年度の第I期展覧会では、西村陽平を紹介した。

西村は「見えていても、触らなければわからないもの」を主題とし、身近にあったものに、焼成という陶芸のプロセスを加えることで、元の素材の形や手ざわりの違いを際立たせる作品を制作した。視覚ではわからなかった作品の音素や質感、身近な素材の新しい手ざわりを再発見する機会を提供した。

■会期　令和6年5月18日(土)から7月21日(日)(56日間)
■会場　長野県立美術館(アートラボ)
■主催　長野県、長野県立美術館
■観覧料　無料
■入館者数　2,516人
■イベント　「線とかたちであそぼう」／講師：西村陽平／日時：6月30日(日)10:00～12:00／場所：交流スペース／参加人数：21人
■担当学芸専門員　柄澤初音

No.	作品名	制作年	素材	サイズ(cm)
1	死者の書	2021	土、紙、鉄	110×40.5×45
2	缶コーヒー	2021	アルミ缶、アルミ板	32.4×30.5×1.5
3	缶ビール	2021	アルミ缶、アルミ板	32.5×30.5×1.8
4	ペットボトル1	2021	ペットボトル、鉛	40.3×32.5×3.1
5	ペットボトル2(タカラ本みりん)	2021	ペットボトル、鉛	53.2×45.4×4.1

※所蔵先　長野県立美術館

アートラボ2024第Ⅱ期
冨長敦也 石の見る夢

今年度の第Ⅱ期展覧会では、彫刻家の冨長敦也を紹介した。

石をつかって「人間」を表現する《Ninguen》シリーズや、水の流れで削られたかのように石の角を丸め球体にする《Sphere》シリーズの新作、過去作である版画作品も原版に触れられる形で展示した。アートラボでの展示だけでなく、16点の石からなる《Sphere》を館内各所に展示し、来館者が館内さまざまな場所で作品と出会う機会を設けた。また、関連イベントとして「世界の石を磨こう」、「アーティストトーク」、「映画上映」を開催した。

■会期　令和6年7月27日(土)から10月27日(日)(81日間)
■会場　長野県立美術館(アートラボ)
■主催　長野県、長野県立美術館
■観覧料　無料
■入館者数　8,335人
■イベント　①こどもアートラボ特別編「世界の石を磨こう」／講師：冨長敦也／日時：8月10日(土)、11日(日・祝)、12日(月・振休)各日10:00～15:00／場所：交流スペース／参加人数：305人
②アーティストトーク／登壇者：冨長敦也、木内真由美(長野県伊那文化会館学芸主幹)、青山由貴枝(当館学芸専門員)／日時：9月22日(日・祝)13:30～15:30／場所：交流スペース、アートラボ／参加人数：21人
③映画「手でふれてみる世界」上映&トーク／登壇者：岡野晃子(映画監督・キュレーター)、冨長敦也／日時：10月20日(日)13:30～16:00／場所：ホール／参加人数：31人
■担当学芸専門員　青山由貴枝

No.	作品名	制作年	材質	サイズ(cm)
1	House−ロンド	2024	南アフリカ産黒御影石	22.6×116.5×15.2
2	Ninguen−遊戯者	2024	能勢黒御影石	65.8×35.3×28.9
3	House−ファミリー	2024	南アフリカ産黒御影石	55×46.4×20.5
4	Ninguen−笛を吹く	2024	能勢黒御影石	90.7×33×32.5
5	House−鳥になる人	2024	南アフリカ産黒御影石	89×35×26.2
6	Ninguen−あやとり	2024	能勢黒御影石	69.8×31.3×33.5
7	人間−アニマル	2000	版画(コラプラフ)	23.6×29.5
8	人間−挨拶	2000	版画(コラプラフ)	26.8×19.3
9	人間−フェスタ	2000	版画(コラプラフ)	30×21.4
10	人間−カーニバル	2000	版画(コラプラフ)	30.6×23
11	Sphere	2024	トラバーチン(イタリア産、トルコ産)、16点	

※所蔵先　作家蔵

No.	作品名	制作年	編集者	技法・材質
1	冨長敦也　石の見る夢	2024	大倉英揮(黒目写真館)	5分8秒 ヴィデオ(カラー、サウンド)

こどもアートラボ特別編「世界の石を磨こう」

こどもアートラボ特別編「世界の石を磨こう」

アーティストトーク

映画「手でふれてみる世界」上映&トーク

アートラボ2024第Ⅲ期
ひらくツール ふれる はなす あるく
齋藤名穂×長野県立美術館

今年度の第Ⅲ期展覧会では、2021年の当館リニューアルの際に制作された「ひらくツール」と、そのデザインを担当した齋藤名穂を紹介した。

「建築空間を、五感や個人の空間をたよりにデザインする」をテーマに活動する齋藤は、「ふれる小さな長野県立美術館」や「たてものキューブ」、「ふれるアートカード」など、視覚以外のさまざまな感覚をつかって、楽しむためのツールを開発。

触れて、見て、感じて、自分の感覚を再発見し、だれかと共有する鑑賞の楽しさを来場者へ提供した。

■会期　令和6年11月2日(土)から令和7年1月19日(日)(63日間)
■会場　長野県立美術館(アートラボ)
■主催　長野県、長野県立美術館
■観覧料　無料
■入館者数　2,237人
■イベント　「名穂さんとひらくツール鑑賞会」／ゲスト：齋藤名穂／
日時：11月2日(土)10:00～11:30／場所：アートラボ／参加人数：26人
日時：令和7年1月12日(日)13:00～15:00／場所：アートラボ／参加人数：31人
■担当学芸専門員　青山由貴枝

No.	ツール名	制作年	材質	サイズ(cm)
1	ふれる小さな長野県立美術館	2021	ミクストメディア	90×300×78
2	ふれるアートカード	2021	ミクストメディア	20×20×1.2
3	ふれるコレクション	2021	紙、UV印刷	29.7×21(閉じた状態)
4	たてものキューブ	2021	ミクストメディア	6.5×6.5×6.5

※所蔵先　長野県立美術館

(撮影:大倉英揮)

(撮影:大倉英揮)

(撮影:大倉英揮)

(撮影:大倉英揮)

アートラボ2024第Ⅳ期
光島貴之 でこ・ぼこ・ながの

今年度の第Ⅳ期展覧会では、光島貴之を紹介した。

全盲の美術家である光島は、目だけではなく手でも鑑賞できる「さわる絵画」の制作を行っている。視覚に障がいのある人もそうでない人も、一緒に鑑賞することができるよう、光島が日常で感じた様々な感覚を素材の手触りや凹凸で表現する。視覚、触覚など様々な感覚をつかった鑑賞体験を来場者へ提供した。また、作家が再び長野を訪れ、館内を歩いた感覚を新たな作品としてアートラボのガラス面に制作する公開制作イベントを実施した。

■会期　令和7年1月25日(土)から4月13日(日)(68日間)
■会場　長野県立美術館(アートラボ)
■主催　長野県、長野県立美術館
■観覧料　無料
■入館者数　4,474人
■イベント　光島貴之公開制作／日時：令和7年2月17日(月)、18日(火)各日10:00～16:00／場所：アートラボ／協力：アトリエみつしま
■担当学芸専門員　柄澤初音

No.	作品名	制作年	素材	サイズ(cm)	制作協力
1	まち歩き―善光寺参道から信濃美術館へ	2021	木製パネル、ミクストメディア	200×1020×17(17点1組)	アトリエみつしま
2	触覚でめぐる360度	2021	木製パネル、ミクストメディア	40×40×160	アトリエみつしま
3	すきとおった くーきの なかで そらを かけて いく	2025	カッティングシート、ラインテープ	805×223	アトリエみつしま

※所蔵先　長野県立美術館

（撮影:大倉英揮）

（撮影:大倉英揮）

NAMコレクション2024 第I期

信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成された長野県立美術館のコレクションから、一年を通して、洋画、日本画、工芸等さまざまなジャンルの収蔵品を展示している。

第I期では、5月25日から始まる企画展「生誕150年池上秀畝　高精細画人」の連動企画として、「生誕150年池上秀畝×菱田春草　南信が生んだ日本画家たちを中心に」と題し、池上秀畝と同い年の菱田春草の作品を対比しつつ、同じく南信が生んだ画家たちを特集した。池上秀畝と菱田春草は同い年でほぼ同時期に絵を学ぶために上京するが、それぞれ旧派と新派という画壇の両極にある画派に進んだ。企画展では紹介しきれなかった二人の作品を紹介するとともに、東京出身で少年期を伊那で過ごした登内微笑や、諏訪出身で東京美術学校に進んだ矢沢弦月の作品など2人と同じ南信出身・ゆかりのある作家たちを紹介した。

■会期　令和6年4月25日（木）から7月16日（火）（72日間）
■会場　長野県立美術館（コレクション展示室）
■観覧料　コレクション展（本館・東山魁夷館共通）
一般700（600）円、大学生及び75歳以上500（400）円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※（　）内は20名以上の団体料金
■入館者数　20,638人（有料：16,505人　無料：4,133人）
■イベント　ギャラリートーク／日時：6月15日（土）14:00～14:30／参加人数：12人
■担当学芸員　松浦千栄子

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ（cm）
近代洋画の先駆者　川上冬崖					
1	川上冬崖	うずら	不詳	紙本彩色	27.0×37.5
2	川上冬崖	雉子雄雌	不詳	紙本彩色	29.4×27.3
3	川上冬崖	桃	不詳	紙本彩色	27.6×39.1
4	川上冬崖	菖蒲	不詳	紙本彩色	27.6×39.1
5	川上冬崖	藤	不詳	紙本彩色	27.0×37.5
6	川上冬崖	井戸草に蛙	不詳	紙本彩色	27.6×39.1
同い年の二人　池上秀畝×菱田春草とその周辺　企画展「生誕150年池上秀畝高精細画人」連動特集					
7	池上秀畝	黄柳白鷺	1918（大正7）	絹本彩色	各169.0×366.0
8	菱田春草	牧牛	1893（明治26）頃	紙本彩色	51.6×83.4
9	菱田春草	老子	1893（明治26）	紙本彩色	93.3×135.7
10	菱田春草／西郷孤月	春秋（春の野／湖畔の夕）	1901（明治34）頃	絹本彩色	各107.0×36.5
11	菱田春草／横山大観	乳糜供養・釈迦と魔女	1903（明治36）頃	絹本彩色	各132.5×55.8
12	荒木十畝	木曽鞍馬橋図	1904（明治37）	絹本彩色	139.0×66.0
南信が生んだ日本画家たち					
13	小坂芝田	深遠	1908（明治41）	絹本彩色	230.3×99.7
14	矢沢弦月	新秋　山・里・海	1920（大正9）	絹本彩色	（山）216.5×100.5 （里）215.0×100.5 （海）215.0×115.0
15	江崎孝坪	虎	不詳	紙本彩色	137.8×63.4
16	佐竹蓬平	荘周胡蝶夢	不詳	絹本彩色	126.2×45.3
17	藤森青芸	渓谷新緑	不詳	絹本彩色	119.0×84.8
18	登内微笑	多武之峰の春雪　＊	1927（昭和2）	紙本彩色	232.0×190.0
19	登内微笑	霜	1946（昭和21）	絹本彩色	208.8×118.5

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
20	登内微笑	蔓紫陽花	1961(昭和36)	紙本彩色	190.8×148.8
21	滝沢具幸	アラベスク	1988(昭和63)	紙本彩色	206.0×264.0
22	羽毛田陽吉	森の中	1984(昭和59)	紙本彩色	175.0×215.2
23	江崎孝坪	無題(けし)	不詳	絹本著色	65.5×48.3
24	江崎孝坪	無題(源頼朝)	不詳	絹本著色	43.6×53.8
25	江崎孝坪	無題(土師部)	不詳	紙本著色	72.0×60.6
26	江崎孝坪	無題(フラメンコ)	不詳	紙本著色	70.8×63.3
27	仲村進	山紫満水	1994(平成6)	紙本彩色	各169.5×374.0
28	横井弘三	妙正寺の花見(人生乃春)	1951(昭和26)	油彩、板	92.5×183.5

*=寄託作品

NAMコレクション2024 第Ⅱ期

第Ⅱ期では、企画展「ダリ版画展―奇想のイメージ」と連動し、1950年前後の日本において美術の表現が多様化するなかでキュビスムとシュルレアリスムの影響を受けた画家たちの作品を紹介した。また、オープンギャラリーで開催された「山の画家 足立源一郎」と併せて、山岳画家として知られる足立源一郎の油彩画を展示した。そして、NAM コレクション小特集では、生誕90年を迎えた池田満寿夫の画業を振り返り、画家を目指した青年期の作品から後年取り組んだ陶芸作品まで、多岐にわたる池田芸術の断片を収蔵品から辿った。

■会期　令和6年7月18日（木）から10月8日（火）（73日間）
■会場　長野県立美術館（コレクション展示室）
■観覧料　コレクション展（本館・東山魁夷館共通）
一般700（600）円、大学生及び75歳以上500（400）円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※（　）内は20名以上の団体料金
■入館者数　26,959人（有料：20,003人　無料：6,956人）
■イベント　ギャラリートーク／日時：8月17日（土）14：00～14：30／参加人数：7人
■担当学芸員　鈴木幸野

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ（cm）
足立源一郎の山岳画　オープンギャラリー「山の画家 足立源一郎」関連特集					
1	足立源一郎	滝谷の岩壁	1951（昭和 26）	油彩、カンヴァス	41.0×32.0
2	足立源一郎	北穂高南峰	1952（昭和 27）	油彩、カンヴァス	61.0×73.0
3	足立源一郎	雪の善光寺	1954（昭和 29）	油彩、カンヴァス	26.0×32.5
4	足立源一郎	春の穂高（長塀にて）	1960（昭和 35）頃	油彩、カンヴァス	50.0×60.7
5	足立源一郎	春の穂高（徳本峠にて）	1973（昭和 48）	油彩、カンヴァス	65.2×80.3
キュビスムとシュルレアリスム　企画展「ダリ版画展―奇想のイメージ」関連展示					
6	小山敬三	姨捨	1931（昭和6）	水彩、紙	47.0×31.0
7	小山敬三	きらら坂	1932（昭和7）	水彩、紙	47.5×31.0
8	鶴岡政男	馬	1948（昭和 23）	墨、紙	27.0×38.8
9	井手則雄	裸婦	不詳	コンテ、紙	35.5×22.5
10	井手則雄	裸婦	不詳	コンテ、紙	37.4×26.6
11	広幡憲	コンポジション	1935（昭和 10）頃	水彩、紙	32.0×23.0
12	広幡憲	風景のあるコンポジション	1935（昭和 10）頃	墨、紙	20.0×18.0
13	広幡憲	無題	不詳	墨、紙	27.3×19.6
14	瑛九	無題	1936（昭和 11）頃	鉛筆、紙	27.5×37.2
15	瑛九	五月のスフィンクス（詩画集『スフィンクス』より）	1955（昭和 30）	エッチング、紙	17.7×11.8
16	古茂田守介	コンポジション	1950（昭和 25）頃	インク・木炭・色鉛筆、紙	15.3×22.5
17	古茂田守介	静物	1956（昭和 31）頃	インク・水彩、紙	27.3×19.7
18	満谷国四郎	野尻湖	1919（大正8）	油彩、カンヴァス	60.6×72.8
19	須山計一	風景	1927（昭和2）	油彩、カンヴァス	50.0×60.5
20	藤本東一良	上昇気流	1965（昭和 40）	油彩、カンヴァス	17.7×11.8

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
描かれた山々―近世・近代の絵画から　オープンギャラリー「山の画家 足立源一郎」関連特集					
21	鈴木芙蓉	秋景山水図	1790(寛政2)	絹本墨画	128.5×27.7
22	西郷孤月	白雲紅葉	1897(明治 30)頃	絹本彩色	146.0×73.0
23	伊東深水	御代田の春	1948(昭和 23)	絹本彩色	60.0×72.0
24	伊東深水	信州浅間六里原風景	1959−61(昭和34−36)頃	紙本彩色	78.6×93.6
25	宮本青架	上高地新緑	不詳	紙本彩色	192.8×159.0
26	臼井剛夫	山村夏景	不詳	絹本彩色	148.9×101.3
27	長井雲坪	夏山雨意	1875(明治8)	紙本彩色	161.8×329.4
28	上地瑛一郎	盛夏	1969(昭和 44)	紙本彩色	90.9×65.2
生誕90年 池田満寿夫　NAM コレクション 2024 小特集					
29	池田満寿夫	洞くつの歌	1956(昭和 31)	エッチング・アクアチント、紙	12.0×18.0
30	池田満寿夫	無題	1957(昭和 32)	油彩、カンヴァス	45.5×38.0
31	池田満寿夫	太陽と女	1957(昭和 32)	アクアチント・ビュラン・エッチング、紙	18.0×23.8
32	池田満寿夫	移動する翼	1957(昭和 32)	エッチング・アクアチント、紙	27.0×26.2
33	池田満寿夫	女の肖像	1960(昭和 35)	ドライポイント・アクアチント、紙	23.7×18.0
34	池田満寿夫	金曜日は雨	1962(昭和 37)	ドライポイント・ルーレット、雁皮刷り	36.2×34.7
35	池田満寿夫	動物のいる庭	1962(昭和 37)	ドライポイント・ルーレット、紙	25.0×22.6
36	池田満寿夫	二人の天使	1962(昭和 37)	ドライポイント・エッチング・ルーレット、紙	18.3×16.3
37	池田満寿夫	天使の靴	1963(昭和 38)	ドライポイント・ルーレット、紙	36.5×33.8
38	池田満寿夫	イヴのサイズ	1963(昭和 38)	ドライポイント・ルーレット、紙	40.0×34.7
39	池田満寿夫	鏡の前の女	1964(昭和 39)	ドライポイント・エッチング・ルーレット、紙	36.5×34.0
40	池田満寿夫	シンデレラの広告	1966(昭和 41)	ドライポイント・ルーレット、紙	45.5×41.7
41	池田満寿夫	ベルリン個展のポスター	1967(昭和 42)	リトグラフ、紙	70.0×55.0
42	池田満寿夫	靴の裏側	1968(昭和 43)	リトグラフ、紙	57.5×46.0
43	池田満寿夫	彼女の会話	1970(昭和 45)	リトグラフ、紙	55.5×76.0
44	池田満寿夫	女だけの時間	1970(昭和 45)	リトグラフ、紙	55.5×75.0
45	池田満寿夫	座せるスフィンクス	1970(昭和 45)	ドライポイント・メゾチント・ルーレット・エッチング、紙	29.5×26.0
46	池田満寿夫	SAYOKO (1977／5／24−1)	1977(昭和 52)	木炭・アクリル、紙	75.6×55.6
47	池田満寿夫	宗達の森	1986(昭和 61)	リトグラフ、紙	60.5×50.5
48	池田満寿夫	光琳の庭	1986(昭和 61)	リトグラフ、紙	60.5×50.5
49	池田満寿夫	マチスの窓	1986(昭和 61)	リトグラフ、紙	60.5×50.5
50	池田満寿夫	アテネ	1983(昭和 58)	陶器	h32.0
51	池田満寿夫	伊勢	1989(平成元)	陶器	h38.5
52	池田満寿夫	柳塔	1990(平成2)	陶器	h15.0
53	池田満寿夫	磐俤	1990(平成2)	陶器	42.5×29.0× 4.5
54	池田満寿夫	富士	1993(平成5)	陶器	29.0×29.0×1.8
55	池田満寿夫	富士	1993(平成5)	陶器	28.8×28.7×2.2
56	池田満寿夫	バイオリニスト	1995(平成7)	リトグラフ、紙	54.1×44.0

NAMコレクション2024 第Ⅲ期 もうひとつの風景

第Ⅲ期では、「公開制作 vol.4 原田裕規 ドリームスケープ」の連動企画として「もうひとつの風景」（ゲストキュレーター：原田裕規）を開催した。

原田裕規は、人々にあまり注目されることのない、とるにたらないと思われるような視覚文化をモチーフに、テクノロジー、リサーチ、パフォーマンスなどを駆使して作品を制作している。 本展では、長野の風景表現作品を多く収蔵する当館のコレクションポリシーに関心を持った原田が、県内をリサーチし、作家や作品を知る中で得た知見から導き出された考察を元に「もうひとつの風景」と題して紹介した。

日本有数の名山に囲まれ、自然豊かな地として多くの風景画の舞台となった信州からは、菱田春草や西郷孤月ら、中央画壇にて活躍した画家が輩出されたが、彼らの描く風景には、信州の自然を感じさせる表現が多数散見される。しかしそれのみならず、西郷らの同級生でありながら、単身アメリカに渡ったことで「知られざる存在」となりつつある赤羽雪邦（松本出身）など、信州には傍流の系譜、いわば「もうひとつの風景」も存在する。さらに、日本を代表するコンセプチュアル・アーティストとして知られる松澤宥（諏訪出身）は、八島湿原を念頭に置いた「荒野」の作品や、諏訪湖を題材にした「湖」の作品などを発表してきた。これらの「言葉による作品」は、従来難解な「観念美術」として捉えられがちだが、題材となった現実の風景から捉え直すことで、松澤作品の風景画としての側面（=もうひとつの風景）が浮かび上がる。

そのほかにも、河野通勢、田村一男、吉田博、伊東深水などによる信州を描いた風景画や、松澤の《湖に見せる根本絵画展》（1967）に着想を得た原田のパフォーマンス作品《湖に見せる絵（海辺の僧侶）》（2022）など、絵画からパフォーマンスまで幅広い形態の作品を通して、信州の「もうひとつの風景」を紹介した。

■会期　令和6年10月10日（木）から12月17日（火）（61日間）
■会場　長野県立美術館（コレクション展示室）
■観覧料　コレクション展（本館・東山魁夷館共通）
一般700（600）円、大学生及び75歳以上500（400）円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※（　）内は20名以上の団体料金
■入館者数　22,153人（有料：17,202人　無料：4,951人）
■イベント　ギャラリートーク／講師：原田裕規（ゲストキュレーター）／日時：10月19日（土）14:00～14:45／参加人数：36人
■担当学芸員　山下樹里、鈴木幸野

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ（cm）
疎開作家が見つめていたもの					
1	石井柏亭	麦秋	1949（昭和24）	油彩、カンヴァス	72.7×116.7
2	石井鶴三	風 試作	1956（昭和31）	ブロンズ	h78.3
3	奥村土牛	白日（ひまわり）	1949（昭和24）	絹本彩色	110.5×140.3
4	伊東深水	キュウリとスイッチョ	1944（昭和19）	紙本彩色	27.5×39.5
5	伊東深水	みょうが	1944（昭和19）	紙本彩色	27.5×39.5
6	伊東深水	松茸 1	1944（昭和19）	紙本彩色	27.5×39.5
7	伊東深水	生姜	1944（昭和19）	紙本彩色	27.5×39.5
8	伊東深水	とうもろこしと南瓜	1945（昭和20）	紙本彩色	55.0×37.5
9	伊東深水	枝豆と初茸	1945（昭和20）	紙本彩色	55.0×37.5

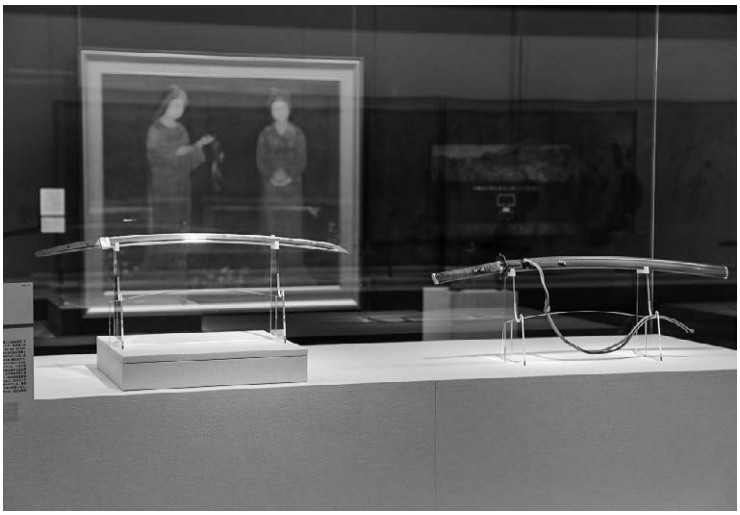
No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
10	伊東深水	雨後の強風千曲川	1945(昭和20)	紙本彩色	75.0×55.0
11	伊東深水	浅間山麓の春	1948(昭和23)	紙本彩色	35.0×52.0
北アルプス、長野、浅間山					
12	吉田博	白馬鎗岳	1929(昭和4)	木版、紙	12.6×17.6
13	不破章	志賀	1974(昭和49)	水彩、紙	38.2×56.6
14	田村一男	白馬大雪	1981(昭和56)	油彩、カンヴァス	89.4×145.5
15	松木重雄	白馬連峯	1980(昭和55)	油彩、カンヴァス	65.1×80.6
16	河野通勢	裾花川風景	1915(大正4)	コンテ、紙	29.1×38.5
17	河野通勢	裾花川風景	1915(大正4)	インク、紙	29.1×38.3
18	河野通勢	長野の近郊(長野風景)	1915(大正4)	油彩、カンヴァス	130.3×193.9
19	横井弘三	浅間山風景 *	1949(昭和24)頃	油彩、カンヴァス	72.8×91.0
20	石井鶴三	村山槐多デスマスク *	1919(大正8)	ブロンズ	27.5×21.0×13.0
21	村山槐多	浅間風景	1915(大正4)	鉛筆、紙	14.3×23.0
八ヶ岳、御嶽山、荒野					
22	松澤宥	「荒野におけるアンデパンダン'64」広告(『美術ジャーナル』No.51) **	1964(昭和39)		
23	撮影:原田裕規	資料写真「八島湿原」	2024		
24	田村一男	初秋(霧ヶ峰高原七島八島)	1967(昭和42)	油彩、カンヴァス	89.5×145.5
25	中村研一	八ヶ岳	1959(昭和34)	油彩、カンヴァス	45.5×53.0
26	小堀進	山	1961(昭和36)	水彩、紙	65.0×104.0
27	田村一男	暁色	1977(昭和52)	油彩、カンヴァス	89.6×145.5
28	荻原孝一	天狗岳	制作年不明	油彩、カンヴァス	112.4×144.7
台湾へ、米国へ					
29	菱田春草	月下群鶩	1901(明治34)	絹本彩色	113.1×50.0
30	西郷孤月	月下飛鶩	1901(明治34)頃	絹本彩色	123.7×48.2
31	西郷孤月/横山大観	春曙・春の朝	1901(明治34)頃	絹本彩色	各82.7×35.3
32	菱田春草/横山大観	春曙・秋夜	1907(明治40)	絹本彩色	各114.6×49.0
33	西郷孤月/菱田春草/横山大観	月夜山水	1901(明治34)頃	絹本彩色	129.5×53.0
34	赤羽雪邦	米国風景	1914(大正3)	絹本彩色	140.8×60.3
諏訪湖が見る絵とは?					
35	松澤宥	すべての生物および無生物のための白紙絵画	1967(昭和42)	印刷、紙	14.8×10.0
36	松澤宥	湖に見せる根本絵画展	1967(昭和42)	印刷、紙	14.8×10.0
37	松澤宥	霧と霊に見せる絵画展	1967(昭和42)	印刷、紙	14.8×10.0
38	松澤宥	絵に見られる松沢宥展	1967(昭和42)	印刷、紙	14.8×10.0
39	松澤宥	死に見せ乳房を見る根本絵画展	1967(昭和42)	印刷、紙	14.8×10.0
40	松澤宥	見ない絵画と見えない絵画展−EXPO'70の反存在のための啓示−	1967(昭和42)	印刷、紙	14.8×10.0
41	松澤宥	眠れるエネルギーに見せる絵(世界最后の絵画展)	1968(昭和43)	印刷、紙	14.8×10.0
42	金山平三	結氷	1931(昭和6)	油彩、カンヴァス	60.8×91.0
43	大久保作次郎	諏訪湖雪景	1921(大正10)	油彩、カンヴァス	72.8×91.0
44	原田裕規	湖に見せる絵(海辺の僧侶) ***	2022(令和4)	ヴィデオ(カラー、サウンド) パフォーマンス:原田裕規 シネマトグラフィー:渡辺真太郎 撮影アシスタント:田中茜 協力:青木英侃、富井玲子、松澤久美子 ロケーション:諏訪湖	7分57秒
郷愁とリフレクション					
45	原田裕規	Home Port ***	2023(令和5)/2024(令和6)	インクジェットプリント CGI:SUNJUNJIE	103×60.6
46	川瀬巴水	信州松原湖	1941(昭和16)	木版、紙	24.3×36.5
47	川瀬巴水	信州木崎湖	1941(昭和16)	木版、紙	24.3×36.5
48	川瀬巴水	安庭の雨	1946(昭和21)	木版、紙	24.3×33.4
49	川瀬巴水	木曽の須原	1925(大正14)	木版、紙	20.8×28.5
50	川瀬巴水	長野県稲荷山	1947(昭和22)	木版、紙	24.4×36.4

*=信濃デッサン館コレクション　**=特別出品/個人蔵　***=特別出品/作家蔵

NAMコレクション2024 第Ⅳ期

第Ⅳ期では、「長野ゆかりの刀剣」を特集展示した。幕末に山浦真雄・清磨をはじめとする山浦一門が全国的に名を轟かせた長野では、戦後に坂城町の宮入行平が人間国宝に認定されるなど多くの一門刀工が世に輩出され、現代もなお活躍している。本特集では、当館の収蔵品のほか、県内で所蔵されている重要文化財《刀（無銘　長谷部）》を特別出品し、日本刀の美の世界を紹介した。また、洋画コレクションからは、没後80年を迎えた島崎鶏二（1907～44）を特集した。島崎藤村の次男として生まれた鶏二は、1928年の第15回二科展に初入選して以来、「二科の精鋭」として当時の画壇を賑わせた夭折の画家である。今回は当館が所蔵する鶏二作品のほか、同じく二科会で活動した洋画家たちの作品も併せて展示した。加えて、菊池契月、菊池一雄の関連資料や、近年当館が取り組んでいる収蔵品の高精細デジタル撮影の成果を、モニターを用いて体験展示した。

■会期　令和6年12月19日（木）～令和7年2月25日（火）（54日間）
■会場　長野県立美術館（コレクション展示室）
■観覧料　コレクション展（本館・東山魁夷館共通）
一般700（600）円、大学生及び75歳以上500（400）円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※（　）内は20名以上の団体料金
■入館者数　9,093人（有料：7,299人　無料：1,794人）
■イベント　ギャラリートーク／日時：12月21日（土）14：00～14：30／参加人数：4人
■担当学芸員　古家満葉



No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ（cm）
没後80年　島崎鶏二					
1	島崎鶏二	黒衣の婦人	1931（昭和6）	油彩、カンヴァス	116.0×89.0
2	島崎鶏二	紅衣の婦人	1931（昭和6）	油彩、カンヴァス	128.5×96.5
3	島崎鶏二	無題（女の横顔）	制作年不詳	油彩、カンヴァス	46.0×38.5
4	島崎鶏二	無題（花飾りをした女の横顔）	制作年不詳	油彩、カンヴァス	46.0×38.0
5	島崎鶏二	麻衣（猫を抱いた女）	1934（昭和9）	油彩、カンヴァス	128.5×97.0
6	島崎鶏二	夏（浴衣の女）	1934（昭和9）	油彩、カンヴァス	144.0×97.5
7	島崎鶏二	水　**	1936（昭和11）	油彩、カンヴァス	193.0×129.0
8	島崎鶏二	川辺　**	1937（昭和12）	油彩、カンヴァス	194.0×252.0
9	有島生馬	某氏像	1936（昭和11）	油彩、カンヴァス	60.6×45.5
10	中川紀元	猫と女　**	1921（大正10）	油彩、カンヴァス	147.0×61.5
11	林倭衛	出獄の日のO氏	1919（大正8）	油彩、カンヴァス	45.5×38.0
12	島崎鶏二	林倭衛の肖像	1943（昭和18）	墨、紙	36.5×27.5
13	有島生馬	林倭衛の肖像	1943（昭和18）	墨、紙	36.5×27.5
14	島崎鶏二	夕景（北京）	1940（昭和15）	油彩、カンヴァス	60.5×50.0
15	島崎鶏二	無題（和装の女の横顔）	1941（昭和16）	油彩、カンヴァス	46.0×38.0
菊池契月　作品と資料					
16	菊池契月	寂光院	1902（明治35）	絹本彩色	219.5×145.0
17	菊池契月	花野	1916（大正5）	絹本彩色	各157.6×356.3
18	菊池契月	光明皇后	1944（昭和19）	絹本彩色	142.0×57.5
19	菊池契月	滞欧期関連資料			

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
特集展示　長野の刀剣					
20	山浦真雄(長野県宝)	短刀　(銘　正雄／嘉永三年八月日)	1850(嘉永3)	刀	刃長 25.0／ 反り0.3
21	宮入行平	太刀　(銘　以伊勢神宮御神宝太刀余鉄 宮入昭平作／昭和二二十五年八月吉日)	1970(昭和45)	刀	刃長 75.8／ 反り2.3
22	長谷部(重要文化財)	刀 (無銘長谷部 附：朱漆打刀拵)　***	南北朝時代　14世紀	刀	刃長 70.3／ 反り 2.4
23	源清磨	短刀 (銘　源清磨／嘉永三年八月日附：千鳥蒔絵合口拵)　***	1850(嘉永3)	刀	刃長29.1／ 反り0.1
24	江崎孝坪	手向け	1946(昭和21)	紙本彩色	225.0×160.5
彫刻とデッサン					
25	菊池一雄	ギリシャの男	1937(昭和12)	ブロンズ	h32.0
26	菊池一雄	裸婦デッサン	制作年不詳	鉛筆、紙	54.6×39.4
27	菊池一雄	裸立像	1939(昭和14)	ブロンズ	h94.0
28	菊池一雄	猫	1946(昭和21)	テラコッタ	h24.0×w14.5×d12.8
29	菊池一雄	デッサン一式　(菊池一雄資料)　**			
30	菊池一雄	滞欧期アルバム　(菊池一雄資料)　**			
31	保田龍門	婦人像　*	制作年不詳	コンテ(赤)、紙	29.8×20.4
32	保田龍門	女の顔　*	制作年不詳	ブロンズ	32.0×15.0×19.5
33	山本豊市	裸婦　*	制作年不詳	木炭、紙	38.5×56.5
34	山本豊市	裸婦　*	1975(昭和50)頃	ブロンズ	49.0×13.0×13.5
作品のデジタル化					
35	高田誠	湖畔秋色	1938(昭和13)	油彩、カンヴァス	112.1×145.5
36	菊池契月	立女	1924(大正13)	絹本彩色	154.5×170.5

*=信濃デッサン館コレクション　　**=寄託作品　　***=特別出品／個人蔵

NAMコレクション2024 第V期

第 V 期では、前衛芸術が生まれた時代を、信州にスポットを当てて総観した。洋画コレクションでは、昭和前期（昭和20年以前）に、二科会とともに在野の有力な洋画団体であった独立美術協会と国画会において、信州にゆかりのある作家たちの作品を紹介した。戦後の信州では国画会（昭和3年創立）で洋画界の重鎮となる宮坂勝らが活躍する一方、フォーヴィスムの傾向を示した独立美術協会（昭和5年創立）も根づいた。また、農民美術や民藝といった民衆的な工芸が展開する場となった信州からは、工芸を純粋美術として確立しようとする潮流も生まれた。その立役者のひとりである杉田禾堂は、美術工芸家から出発しながら、量産品を視野に入れた工芸の実用性をも唱え、戦後開花する日本工業デザインの先駆者となった。同様に終戦後まもなく、前衛芸術の影響を受けて変貌を遂げたのが陶芸である。日本におけるオブジェとしての前衛陶芸の端緒を開き、海外に進出した現代陶芸の第一人者であり続ける林康夫についても、新たに製作した収蔵作家インタビュー動画や、1960年代に撮影された制作風景の映像、および関連資料も交えて特集した。

■会期　令和7年2月27日（木）から5月6日（火・休）（60日間）
■会場　長野県立美術館（コレクション展示室）
■観覧料　コレクション展（本館・東山魁夷館共通）
一般700（600）円、大学生及び75歳以上500（400）円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※（　）内は20名以上の団体料金
■入館者数　13,087人（有料：10,533人　無料：2,554人）
■イベント　①ギャラリートーク／日時：4月19日（土）14：00～14：30／参加人数：15人
②収蔵作家インタビュー動画Vol.1公開関連イベント「林康夫レクチャートーク」／日時：4月27日（土）15：00～16：00／会場：レセプションルーム／参加人数：20人
■担当学芸員　鈴木幸野

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ（cm）
信州ゆかりの前衛洋画家たち―国画会と独立美術協会をめぐって					
1	河野通勢	二人花魁	1935（昭和 10）	油彩、カンヴァス	91.0×72.8
2	梅原龍三郎	浅間山	1957（昭和 32）	油彩・グワッシュ、紙	72.2×90.9
3	宮坂勝	湖畔の並樹（信州木崎湖）	1943（昭和 18）	油彩、カンヴァス	91.1×116.6
4	小林邦	水車	1940（昭和 15）	油彩、カンヴァス	91.0×116.7
5	水上民平	裏の沢の春	1967（昭和 42）	油彩、カンヴァス	97.0×130.3
6	曾宮一念	焼岳山頂	1963（昭和 38）	油彩、カンヴァス	60.6×90.9
7	日向裕	春寒	1967（昭和 42）	油彩、カンヴァス	112.5×112.5
8	藤井令太郎	室内	1970（昭和 45）	油彩、カンヴァス	130.3×162.1
9	高畠達四郎	浅間遠望	1975（昭和 50）	油彩、カンヴァス	45.5×60.6
10	小島善太郎	志賀高原笠嶽	1978（昭和 53）	油彩、カンヴァス	60.6×72.7
11	矢崎重信	まりつき	1937（昭和 12）	油彩、カンヴァス	130.3×162.1
12	矢崎牧廣	戸隠山	1964（昭和 39）	油彩、カンヴァス	73.0×91.0
13	桜井寛	黒い牛	1963（昭和 38）	油彩、カンヴァス	130.3×162.1
前衛書道の系譜―「書は芸術である」					
14	比田井天来	徳不孤必有隣	1931（昭和6）	紙本墨書	47.9×181.7
15	比田井天来	清風明月皆我意	1931（昭和6）	紙本墨書	47.9×181.7
16	比田井天来	唐詩六首屏風	1931（昭和6）	紙本墨書	各137.7×48.0
前衛「工芸」の系譜					
17	小口正二	華ひらく	1983（昭和 58）	彫漆	100.0×80.2
18	小口正二	夜明けの譜	1992（平成4）	彫漆	80.2×65.3

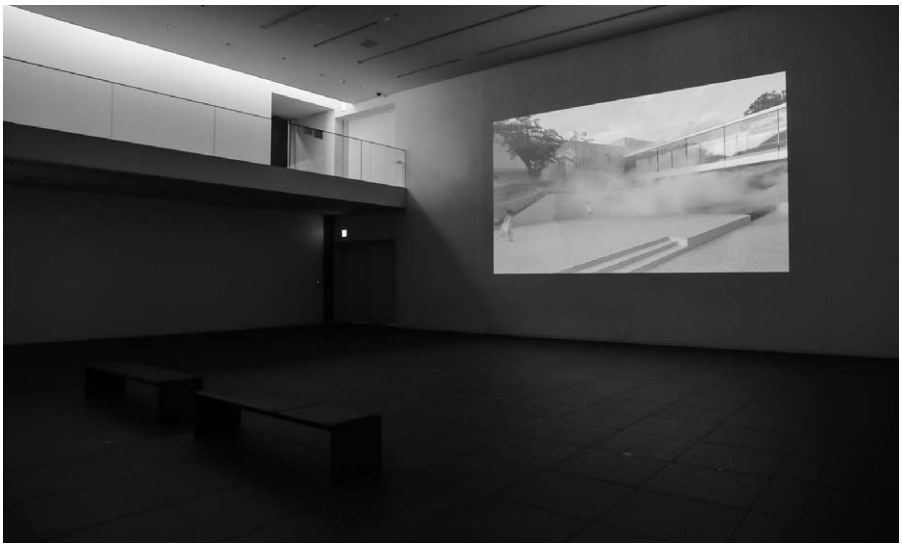
No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
19	髙橋節郎	赤いカーテン	不詳	漆絵	71.4×59.2
20	神津港人	いんこ鳥	1929(昭和4)	油彩、カンヴァス	77.8×81.0
21	杉田禾堂	青銅花器	1955(昭和 30)	鋳金	h22.0
22	杉田禾堂	青銅花瓶	1955(昭和 30)	鋳金	h25.0
23	杉田禾堂	青銅三足香炉	1955(昭和 30)	鋳金	h14.0
24	土谷武	指 I− a	1972(昭和 47)	鉛	15.5×17.5×2.2
25	土谷武	昆虫 a	1972(昭和 47)	鋳鉄にクロムメッキ	6.5×31.0×20.5
26	土谷武	Portail I(エスキース)	1983(昭和 58)	コルテン鋼	61.0×69.0×32.0
27	荻原碌山	女の胴	1907(明治 40)	ブロンズ	44.6×16.3×26.4
28	中原悌二郎	若きカフカス人	1919(大正 8)	ブロンズ	42.0×18.5×20.0
29	林康夫	Reflection	1991(平成3)	陶器	28.0×28.8×29.0
30	矢崎虎夫	オシップ・ザッキン先生胸像	1964(昭和 39)	ブロンズ	h66.5
31	保田龍門	裸婦　＊	不明	ブロンズ	19.5×12.0×3.5

＊=信濃デッサン館コレクション

中谷芙二子《Dynamic Earth Series Ⅰ》霧の彫刻 #47610　記録映像上映

中谷芙二子による「《Dynamic Earth Series Ⅰ》霧の彫刻 #47610」は、2021年の本館リニューアルオープンを機に、本館と東山魁夷館をつなぐ「水辺テラス」に設置された常設作品である。屋外で無料公開しており、設置以来当館のコンセプト「ランドスケープ・ミュージアム」を象徴する作品として多くの来館者に親しまれているが、水を用いるという作品の性質上気温が低くなる冬季期間（11～3月）は公開することができない。そこで、この間の来館者が少しでも作品に触れることができる機会となるよう、今年度新たに制作した作品の「記録映像」を上映した。

■会期　令和6年12月19日（木）から令和7年1月5日（日）（10日間）
■会場　長野県立美術館（展示室1）
■観覧料　無料
■入館者数　328人
■担当学芸員　茂原奈保子



題名	制作年	技法・材質	サイズ	クレジット
中谷芙二子《Dynamic Earth Series Ⅰ》霧の彫刻 #47610　記録映像	2024（令和6）	シングルチャンネルビデオ、サウンド	10分49秒	撮影：平林岳志（grasshopper）、丸山泰弘（Sygly）、河谷俊輔 編集：丸山泰弘（Sygly） 製作：長野県立美術館 ©Fujiko Nakaya ©Nagano Prefectural Art Museum

東山魁夷館コレクション展2024 第I期

連作「白い馬の見える風景」の起点となった代表作《緑響く》を中心に、オーストリアに取材した《沼の静寂》などを展示した。また、5月6日は東山の命日であることから、絶筆となった《夕星》を展示した。

■会期　令和6年4月11日（木）から6月18日（火）（60日間）
■会場　東山魁夷館
■観覧料　コレクション展（本館・東山魁夷館共通）
一般700（600）円、大学生及び75歳以上500（400）円、
高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※（　）内は20名以上の団体料金
■入館者数　16,141人（有料：13,116人　無料：3,025人）
■イベント　ギャラリートーク／日時：5月18日（土）14：00～14：45／
参加人数：45人
■担当学芸員　北泉剛史

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	サイズ（cm）
京洛四季							
1	京の民家	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府　伏見	28.4×51.0
2	街道の家	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府　鳥羽街道	31.0×44.0
3	伏見の酒倉	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府　伏見	27.0×46.0
4	寺の塀	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府　大徳寺	27.0×41.0
5	花明り	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府　円山公園	58.0×47.6
6	曙	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府　比叡山	33.0×46.0
7	春静	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府　鷹ヶ峯	33.0×46.0
8	行く春	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府　祇王寺	33.0×37.5
9	夏に入る	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府　大山崎町	36.5×51.5
10	年経る樹	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府　青蓮院	36.0×50.9
11	青い峡	1964-66	56-58	連作「京洛四季」習作	紙本・彩色	京都府　周山街道	30.0×31.0
12	東福寺庭	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府　東福寺	33.0×41.0
13	龍安寺塀	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府　龍安寺	40.8×51.5
14	砂紋	1964-66	56-58	連作「京洛四季」スケッチ	紙本・彩色	京都府　大徳寺大仙院	27.0×41.0
皇室の仕事　＊は除く							
15	光昏　小下図　＊	1954	46	第11回日展のための準備作	紙本・彩色	長野県　信濃町 野尻湖畔より望む黒姫山	52.2×40.2
16	光昏　大下図　＊	1955	47	第11回日展のための準備作	紙本・コンテ	長野県　信濃町 野尻湖畔より望む黒姫山 神奈川県　箱根町　姥子	179.0×136.0
17	萬緑新　小下図	1961	53	吹上御所御用命画のための準備作	紙本・彩色	福島県　猪苗代町　翁島	28.5×25.3
18	緑岡　小下図　＊	1962	54	ローマ日本文化会館のための準備作	紙本・彩色	静岡県　南伊豆　石廊崎	28.5×40.2
19	緑岡　大下図　＊	1962	54	ローマ日本文化会館のための準備作	紙本・コンテ	静岡県　南伊豆　石廊崎	27.5×36.5

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	サイズ(cm)
20	朝明けの潮(下図)A	1967	59	皇居宮殿壁画色分け下図	紙本・彩色		39.0×144.0
21	朝明けの潮(下図)B	1967	59	皇居宮殿壁画色分け下図	紙本・彩色		39.0×144.0
22	山霊　小下図　＊	1987	79	改組第19回日展のための準備作	紙本・彩色	中国　黄山 長野県-岐阜県　安房峠	28.0×41.6
23	山霊(下図)　＊	1987	79	改組第19回日展のための準備作	紙本・鉛筆	中国　黄山 長野県-岐阜県　安房峠	126.0×183.5
24	悠紀地方屏風絵 試作 春夏図	1990	82	大嘗祭大饗の儀に用いられた屏風のための準備作	紙本・彩色	秋田県	42.0×76.5
25	悠紀地方屏風絵 試作 秋冬図	1990	82	大嘗祭大饗の儀に用いられた屏風のための準備作	紙本・彩色	秋田県	42.0×76.5
26	山霊　＊	1987	79	改組第19回日展	紙本・彩色	中国　黄山 長野県-岐阜県　安房峠	124.4×184.0
27	緑響く　＊	1982	74	「白い馬の見える風景」展	紙本・彩色	長野県　茅野市 蓼科高原　御射鹿池	84.0×116.0
28	静映　＊	1982	74	長野県県民文化会館　緞帳原画	紙本・彩色	長野県　飯山市　希望湖	42.7×85.7
北欧風景　＊は除く							
29	白夜	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	スウェーデン ノルディングロー	36.5×49.0
30	白夜光	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	フィンランド クオピオ	35.0×51.0
31	白夜光　大下図	1965	57	第8回新日展のための準備作	紙本・彩色	フィンランド クオピオ	151.0×223.0
32	早春のディアハーヴェン	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	デンマーク ディアハーヴェン	36.4×49.3
33	ノルウェーの春	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	ノルウェー ヴルヴィック	36.9×49.5
34	森のささやき	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	デンマーク フレーデンスボー	27.5×37.4
35	さざなみ	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	フィンランド プンカハルユ	34.0×46.0
36	青い沼	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	デンマーク	36.2×49.0
37	白樺の丘	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	スウェーデン レトヴィック	24.5×33.5
38	フィヨルドの滝	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	ノルウェー フィヨルド	30.0×44.5
39	海に入る滝	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	ノルウェー	36.1×48.4
40	ヴィラットの運河	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	フィンランド ヴィラット	26.3×36.8
41	フレデリク城を望む	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	デンマーク ヒレロード	36.0×50.5
42	二つの月	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	フィンランド ヘルシンキ	45.5×37.6
43	夏の道	1962	54	北欧風景スケッチ	紙本・彩色	フィンランド ヴィラット	26.7×45.7
44	沼　＊	1993	85	改組第25回日展	麻布・彩色	長野県　戸隠	92.0×120.0
45	夕星　＊	1999	90		麻布・彩色	長野県　長野市 花岡平霊園	66.0×100.0
46	沼の静寂　＊	1983	75	東山魁夷「樹々は語る」展	紙本・彩色	オーストリア インスブルック	81.0×116.0

東山魁夷館コレクション展2024 第Ⅱ期

ドイツの町に取材した《窓》、《石の窓》、《静かな町》、連作「白い馬の見える風景」から夏の景色を思わせる《水辺の朝》、《草青む》など、ヨーロッパの風景に取材した作品を中心に展示した。

■会期　令和6年6月20日（木）から9月3日（火）（67日間）
■会場　東山魁夷館
■観覧料　コレクション展（本館・東山魁夷館共通）
一般700（600）円、大学生及び75歳以上500（400）円、
高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※（　）内は20名以上の団体料金
■入館者数　22,103人（有料：16,378人　無料：5,725人）
■イベント　ギャラリートーク／日時：7月20日（土）14：00～14：45／
参加人数：40人
■担当学芸員　北泉剛史

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	サイズ（cm）
ヨーロッパ風景　＊は除く							
1	ゲーテのガルテンハウス	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本・彩色	ドイツ　ワイマール	33.5×43.2
2	ワイマールにて	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本・彩色	ドイツ　ワイマール	39.4×33.6
3	ベルリンの街	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本・彩色	ドイツ　ベルリン	33.0×44.0
4	レーダー門	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本・彩色	ドイツ　ローテンブルク	30.7×21.9
5	ゲオルクの泉	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本・彩色	ドイツ　ローテンブルク	30.3×21.8
6	夕影（バイエルン地方南ドイツ）	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本・彩色	ドイツ南部	44.5×33.1
7	モンブラン遠望	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本・彩色	フランス　シャモニー	25.0×35.2
8	ジュネーヴにて	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本・彩色	スイス　ジュネーヴ	25.5×34.5
9	ジュネーブの街角	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本・彩色	スイス　ジュネーヴ	43.8×30.5
10	キューザの町	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本・彩色	イタリア　キューザ	17.9×23.4
11	モンマルトルにて	1933-35	25-27	ヨーロッパ風景スケッチ	紙本・彩色	フランス　パリ	30.7×41.0
12	柿生の里　＊	1928	20		紙本・彩色	神奈川県　川崎市	36.5×56.5
13	山谿秋色　＊	1932	24	第13回帝展	紙本・彩色	長野県　志賀高原	232.2×151.2
ドイツ・オーストリアの旅　＊は除く							
14	木組みの家	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ	33.6×46.6
15	古道具屋の窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ　リューベック	27.5×33.5
16	居酒屋	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	オーストリア　デュルンシュタイン	24.2×33.0
17	鐘のある窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ	27.5×38.0

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	サイズ(cm)
18	ティロルの窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	オーストリア ザンクト・アントン	24.6×33.5
19	憩いの窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ　ローテンブルク	27.6×41.0
20	鐘楼の窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	オーストリア	42.0×28.0
21	花のある窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ	19.5×28.0
22	青い窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ	24.6×35.6
23	ホテル ドイチェス・ハウス	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ ディンケルスビュール	31.3×44.8
24	裏窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	オーストリア	41.6×27.6
25	優雅な窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色		41.5×27.6
26	並ぶ窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	オーストリア	36.0×42.5
27	絵のある窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ　ベルヒテスガーデン	42.0×28.0
28	人形芝居の小屋	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ	24.5×33.5
29	ホルシュテン門の窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ　リューベック	31.0×44.5
30	明るい壁	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	オーストリア　ルスト	24.4×35.5
31	午後の窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	オーストリア オーベンドルフ	27.5×41.5
32	緑の園	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色		21.5×41.0
33	描かれた壁	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	オーストリア　ロイテ	28.0×42.0
34	揺れる窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本・彩色	ドイツ　リューベック	31.0×44.5
35	窓　＊	1971	63	改組第3回日展	紙本・彩色	ドイツ　ローテンブルク	130.0×195.0
36	石の窓　＊	1971	63	東山魁夷新作展	紙本・彩色	ドイツ　ネルトリンゲン	114.0×166.0
37	倉庫　＊	1963	55	東山魁夷風景画展	紙本・彩色	デンマーク　コペンハーゲン	53.4×72.5
38	静かな町　＊	1971	63	東山魁夷新作展	紙本・彩色	ドイツ　ヴィムプヘン	92.0×75.0
39	水辺の朝　＊	1972	64	第10回銀二会展	紙本・彩色	ドイツ　オイティン	33.2×46.2
40	草青む　＊	1972	64	第4回無窮会展	紙本・彩色	デンマーク　ヒレレズ	43.0×65.0
コンコルド広場の椅子							
41	コンコルド広場の椅子　表紙	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』　原画	紙本・彩色	フランス　パリ	43.0×36.5
42	コンコルド広場の椅子1	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』　原画	紙本・彩色	フランス　パリ	43.0×36.5
43	コンコルド広場の椅子2	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』　原画	紙本・彩色	フランス　パリ	43.0×36.5
44	コンコルド広場の椅子4	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』　原画	紙本・彩色	フランス　パリ	43.0×36.5
45	コンコルド広場の椅子6	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』　原画	紙本・彩色	フランス　パリ	43.0×36.5
46	コンコルド広場の椅子8	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』　原画	紙本・彩色	フランス　パリ	43.0×36.5
47	コンコルド広場の椅子9	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』　原画	紙本・彩色	フランス　パリ	43.0×36.5
48	コンコルド広場の椅子12	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』　原画	紙本・彩色	フランス　パリ	43.0×36.5
49	コンコルド広場の椅子13	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』　原画	紙本・彩色	フランス　パリ	43.0×36.5
50	コンコルド広場の椅子15	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』　原画	紙本・彩色	フランス　パリ	43.0×36.5
51	コンコルド広場の椅子17	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』　原画	紙本・彩色	フランス　パリ	43.0×36.5
52	コンコルド広場の椅子18	1976	68	詩画集『コンコルド広場の椅子』　原画	紙本・彩色	フランス　パリ	43.0×36.5

東山魁夷館コレクション展2024 第Ⅲ期

東山が10年をかけて取り組んだ唐招提寺御影堂障壁画に関連した中国への取材から生まれた《瀧江暮色》、《桂林月夜》、《黄山雨過》を展示した。また、《秋思》、《木枯らし舞う》、《夕紅》など、世界各地の秋の風景を描き出した作品を紹介した。

■会期　令和6年9月5日（木）から11月12日（火）（61日間）
■会場　東山魁夷館
■観覧料　コレクション展（本館・東山魁夷館共通）
一般700（600）円、大学生及び75歳以上500（400）円、
高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※（　）内は20名以上の団体料金
■入館者数　25,996人（有料：19,926人　無料：6,070人）
■イベント　ギャラリートーク／日時：9月21日（土）14：00～14：45／
参加人数：35人
■担当学芸員　北泉剛史

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	サイズ（cm）
唐招提寺御影堂障壁画第一期							
1	岩礁	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 海スケッチ	紙本・彩色		38.0×55.0
2	松と岩	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 海スケッチ	紙本・彩色		33.2×46.1
3	松濤	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 海スケッチ	紙本・彩色		55.0×55.0
4	潮騒	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 海スケッチ	紙本・彩色		36.0×51.5
5	満ち来る潮	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 海スケッチ	紙本・彩色		32.3×54.4
6	海風	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 海スケッチ	紙本・彩色		38.0×55.0
7	渚にて	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 海スケッチ	紙本・彩色		32.8×55.0
8	渚の波紋	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 海スケッチ	紙本・彩色		36.4×51.1
9	緑峡	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 山スケッチ	紙本・彩色		33.0×46.3
10	緑の渓	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 山スケッチ	紙本・彩色		33.1×46.0
11	雲湧く嶺	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 山スケッチ	紙本・彩色		46.0×68.8
12	朝雲	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 山スケッチ	紙本・彩色		33.1×46.1
13	流れる霧	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 山スケッチ	紙本・彩色		31.3×44.4
唐招提寺御影堂障壁画第二期　＊は除く							
14	水光	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作 「大地悠々」スケッチ	紙本・墨画	中国	25.5×36.0

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	サイズ(cm)
15	桂林の月	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本・墨画	中国　桂林	24.3×35.4
16	桂林奇峰	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「大地悠々」スケッチ	紙本・墨画	中国　桂林	26.0×36.7
17	桂林月夜　小下図	1976	68	改組第8回日展のための準備作	紙本・彩色	中国　桂林	27.5×33.7
18	桂林月夜	1976	68	改組第8回日展	紙本・彩色	中国　桂林	129.0×162.0
19	雲中層嶂	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「黄山白雲」スケッチ	紙本・墨画	中国　黄山	27.0×41.0
20	暮靄	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「黄山白雲」スケッチ	紙本・墨画	中国　黄山	30.8×45.8
21	灘江暮色	1978	70	日本東山魁夷絵画展覧(中国　北京)	紙本・彩色	中国　桂林	177.5×363.0
22	黄山絶峰	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「黄山白雲」スケッチ	紙本・墨画	中国　黄山	42.8×31.0
23	上昇峰を望む	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「黄山白雲」スケッチ	紙本・墨画	中国　黄山	27.0×39.5
24	黄山雨過　小下図	1978	70	改組第10回日展のための準備作	紙本・彩色	中国　黄山	22.0×32.0
25	黄山雨過	1978	70	改組第10回日展	紙本・彩色	中国　黄山	139.0×196.0
26	黄山雨過　大下図	1978	70	改組第10回日展のための準備作	紙本・コンテ	中国　黄山	139.5×197.5
27	火焔山	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遥か」スケッチ	紙本・彩色	中国　西域	25.0×39.8
28	高昌城址	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遥か」スケッチ	紙本・彩色	中国　西域	29.7×40.4
29	交河城址	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遥か」スケッチ	紙本・彩色	中国　西域	32.0×43.5
30	黄昏	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遥か」スケッチ	紙本・彩色	中国　西域	33.5×46.6
31	廃墟の晝	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遥か」スケッチ	紙本・彩色	中国　西域	29.2×41.8
32	廃墟の夕	1977	69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作「天山遥か」スケッチ	紙本・彩色	中国　西域	28.6×41.3
33	秋思　＊	1988	80	改組第20回日展	紙本・彩色	奈良県　天理市	146.0×120.0
34	木枯らし舞う　＊	1997	89	改組第29回日展	麻布・彩色	ドイツ北部	81.0×116.0
35	夕紅　＊	1996	88	改組第28回日展	麻布・彩色	デンマーク	81.0×116.0
36	深秋　＊	1942頃	34		絹本・彩色		122.0×26.6
中国風景							
37	承徳所見A	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	中国　承徳	23.5×32.5
38	承徳所見B	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	中国　承徳	23.5×33.0
39	承徳所見C	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	中国　承徳	33.0×23.5
40	承徳所見D	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	中国　承徳	19.4×31.5
41	承徳所見E	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	中国　承徳	23.8×33.0
42	承徳の春	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	中国　承徳	25.0×35.2
43	頤和園にて	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	中国　北京	37.0×28.0
44	町角	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	中国	36.3×29.5
45	喇嘛塔	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	中国　承徳	43.1×31.2
46	古北口にて	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	中国　承徳	37.0×28.5
47	長城を望む	1943	35	中国風景スケッチ	紙本・彩色	中国　承徳	28.0×36.8

東山魁夷館コレクション展2024 第Ⅳ期

連作「白い馬の見える風景」のうち最大の作品《白馬の森》を中心に、同連作の習作を一挙に展示した。また、冬の厳しい自然を描いた《霧氷の譜》、厳しい冬に耐える樅の若木を描いた《聖夜》などを紹介した。また、近年遺族より寄贈された東山魁夷の旧蔵レコードを展示し、音楽を創作源とする作品のエピソードに合わせ、作品を鑑賞しながら東山が愛したクラシック音楽を楽しむイベントを開催した。

■会期　令和6年11月14日(木)から令和7年2月4日(火)(66日間)
■会場　東山魁夷館
■観覧料　コレクション展(本館・東山魁夷館共通)
一般700(600)円、大学生及び75歳以上500(400)円、
高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※(　)内は20名以上の団体料金
■入館者数　13,925人(有料：11,307人　無料：2,618人)
■イベント　①ギャラリートーク／日時：11月16日(土)14：00～14：45
／参加人数：35人
②「東山作品の新たな楽しみ－東山魁夷 愛蔵レコードを聴きながら－」／日時：11月30日(土)、12月1日(日)各日10：00～、14：00～各回1時間程度／場所：東山魁夷館 展示室／参加人数：11月30日80人、12月1日80人
■担当学芸員　北泉剛史

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	サイズ(cm)
1	紅翳	1958	50	第6回青羊会展	紙本・彩色	群馬県　伊香保町	63.3×87.3
2	秋翳　スケッチA	1957	49	第1回新日展のための準備作	紙本・鉛筆	群馬県　新治村 法師温泉	47.5×78.6
3	秋翳　スケッチB	1957	49	第1回新日展のための準備作	紙本・彩色	群馬県　新治村 法師温泉	77.0×109.5
4	秋翳　小下図A	1957	49	第1回新日展のための準備作	紙本・彩色	群馬県　新治村 法師温泉	48.0×54.0
5	紅葉の谷	1952	44	第3回六窓会展	紙本・彩色		57.5×51.5
6	秋翳　大下図	1957	49	第1回新日展のための準備作	紙本・彩色	群馬県　新治村 法師温泉	93.7×168.0
7	行く秋	1990	82	改組第22回日展	紙本・彩色	ドイツ北部	114.0×162.0
白い馬の見える風景　*は除く							
8	水辺の朝	1972	64	連作"白い馬の見える風景"習作	紙本・彩色	ドイツ北部　オイティーン	31.0×44.0
9	早春の丘	1972	64	連作"白い馬の見える風景"習作	紙本・彩色	山梨県　御坂町 河口湖町　御坂峠	24.0×33.5
10	春を呼ぶ丘	1972	64	連作"白い馬の見える風景"習作	紙本・彩色	北海道	33.0×46.0
11	草青む	1972	64	連作"白い馬の見える風景"習作	紙本・彩色	デンマーク　ヒレレズ	22.5×33.5
12	夕明り	1972	64	連作"白い馬の見える風景"習作	紙本・彩色	長野県　下諏訪町 八島湿原	27.0×41.0
13	湖澄む	1972	64	連作"白い馬の見える風景"習作	紙本・彩色	ドイツ　オーバー・ゼー	24.5×36.5
14	白馬の森	1972	64	改組第4回日展、「白い馬の見える風景」	紙本・彩色	山梨県 富士五合目のブナ原生林	152.0×223.0
15	緑響く	1972	64	連作"白い馬の見える風景"習作	紙本・彩色	長野県　茅野市 蓼科高原	24.5×35.5
16	渚の白馬	1972	64	連作"白い馬の見える風景"習作	紙本・彩色	石川県　千里浜海岸	25.5×36.5
17	森装う	1972	64	連作"白い馬の見える風景"習作	紙本・彩色	長野県　長野市	31.0×44.0
18	芒野	1972	64	連作"白い馬の見える風景"習作	紙本・彩色	ヨーロッパ	25.0×36.0

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	サイズ(cm)
19	樹霊	1972	64	連作"白い馬の見える風景"習作	紙本・彩色	山梨県	31.0×43.5
20	曠野	1972	64	連作"白い馬の見える風景"習作	紙本・彩色	山梨県	24.5×35.5
21	荒寥	1972	64	連作"白い馬の見える風景"習作	紙本・彩色	山梨県　御坂町 河口湖町　御坂峠	31.0×44.0
22	綿雲	1972	64	連作"白い馬の見える風景"習作	紙本・彩色	山梨県	31.0×45.0
23	聖夜　＊	1994	86	改組第26回日展	紙本・彩色	ドイツ南部	89.0×130.0
24	霧氷の譜　下図　＊	1985	77	改組第17回日展のための準備作	紙本・鉛筆	ドイツ北部および乗鞍山頂	129.7×183.8
25	霧氷の譜　＊	1985	77	改組第17回日展	紙本・彩色	ドイツ北部および乗鞍山頂	130.0×185.0
初期の作品							
26	自画像	1923	15		油彩・カンヴァス		33.0×23.0
27	六甲裏山にて	1923	15		紙本・彩色	兵庫県　神戸市	43.0×61.0
28	夕映(十国峠富士)	1935-45	27-37		紙本・彩色	神奈川県　箱根	25.6×35.4
29	湖畔の冬(河口湖)	1941	33		紙本・彩色	山梨県　河口湖	21.0×16.5
30	訪春(甲州にて)	1935-45	27-37		紙本・彩色	山梨県	27.7×36.0
31	祭りの夜	1929	21		絹本・彩色	東京都　靖国神社	54.8×72.0
大和春秋							
32	春日野朝霧	1973-85	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	奈良県　春日野	30.5×43.5
33	朝の塔	1973-85	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	奈良県　興福寺	28.0×41.5
34	夕べの塔	1973-85	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	奈良県　興福寺	27.0×41.0
35	唐招提寺月明	1973-85	65-77	大和春秋習作	紙本・彩色	奈良県　唐招提寺	41.0×33.0
36	松と月	1973-85	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	奈良県	33.5×46.5
37	布留の森	1973-85	65-77	大和春秋スケッチ	紙本・彩色	奈良県　天理市　布留	37.0×31.0
38	酒造りの家	1973-85	65-77	大和春秋習作	紙本・彩色	奈良県　三輪山	25.0×35.0
39	赤目晩秋	1973-85	65-77	大和春秋習作	紙本・彩色	三重県　名張市	41.0×27.5
40	柿の木と白壁の家	1973-85	65-77	大和春秋習作	紙本・彩色	奈良県	27.0×35.5
41	雪の春日野	1973-85	65-77	大和春秋習作	紙本・彩色	奈良県　春日野	31.0×44.0
42	室生暮雪	1973-85	65-77	大和春秋習作	紙本・彩色	奈良県　室生寺	44.0×31.0

東山魁夷館コレクション展2024 第V期

唐招提寺御影堂障壁画第一期で日本の自然を取材する中で生まれた《夕静寂》、長野県の厳しい冬の様相を描き出す《冬の旅》などを紹介した。冬から暖かな春を迎える自然を描いた《春兆》などを展示した。

■会期　令和7年2月6日（木）から4月29日（火・祝）（72日間）
■会場　東山魁夷館
■観覧料　コレクション展（本館・東山魁夷館共通）
一般700（600）円、大学生及び75歳以上500（400）円、
高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※（　）内は20名以上の団体料金
■入館者数　14,212人（有料：11,203人　無料：3,009人）
■イベント　ギャラリートーク／日時：3月15日（土）14：00～14：30／
参加人数：25人
■担当学芸員　北泉剛史

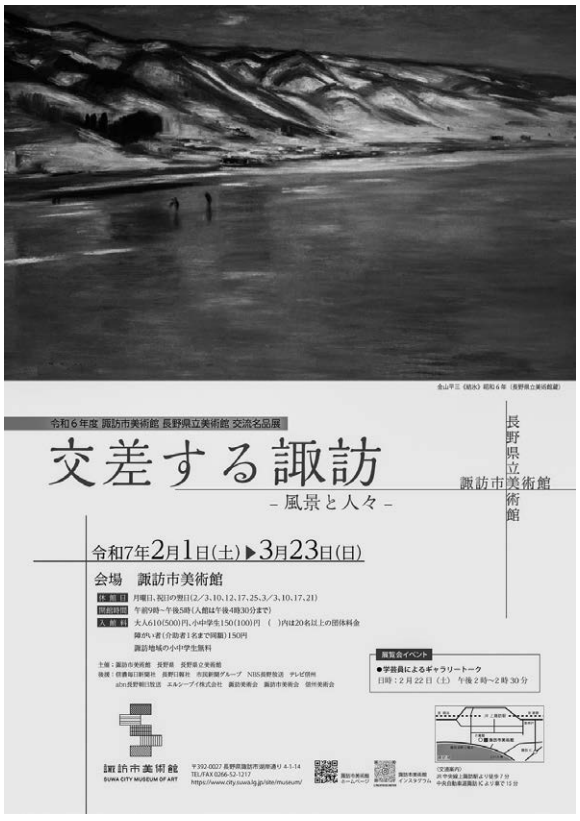
No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	サイズ（cm）
古都を描く　＊は除く							
1	霧の町	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ　リューベック	33.0×46.0
2	朝の聖堂	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ　リンブルク	46.4×32.5
3	夕べの聖堂	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ　リンブルク	34.5×47.0
4	ツェレの家	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ　ツェレ	33.4×41.5
5	ニュールンベルクの窓	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ　ニュールンベルク	33.0×46.0
6	静唱（下図）　＊	1981	73	改組第13回日展のための準備作	紙本・鉛筆	フランス　パリ　ソー公園	140.0×203.0
7	静唱　＊	1981	73	改組第13回日展	紙本・彩色	フランス　パリ　ソー公園	140.0×203.0
8	晩鐘	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ　フライブルク	38.0×55.0
9	静かな町	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ　ヴィムプヘン	44.0×36.3
10	狭い空	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ　バンベルク	44.5×31.7
11	古都遠望	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ　ヴィムプヘン	31.7×47.7
12	緑のハイデルベルク	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ　ハイデルベルク	33.5×46.5
13	赤い屋根	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ　ローテンブルク	34.5×49.5
14	緑の窓　＊	1983	75	東山魁夷「樹々は語る」展	紙本・彩色	ドイツ　ラムサウ	73.0×92.0
15	ローテンブルクの門	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ　ローテンブルク	44.5×31.4
16	泉	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ　ローテンブルク	44.6×32.0
17	みづうみ	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	ドイツ　オーバー・ゼー	39.3×49.4
18	ホーエン・ザルツブルク城	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	オーストリア　ザルツブルク	27.0×46.7

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	サイズ(cm)
19	雪の城	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	オーストリア　ザルツブルク	32.0×42.4
20	青きドナウ	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	オーストリア　メルク	33.1×46.2
21	坂道の家	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	オーストリア　クレームス	33.5×46.0
22	マリアの壁	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	オーストリア　エッツ	33.5×46.4
23	森の幻想	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本・彩色	オーストリア	31.0×44.0
24	春兆　＊	1982	74	改組第14回日展	紙本・彩色	デンマーク　コペンハーゲン	130.0×180.0
25	春兆 小下図 A　＊	1982	74	改組第14回日展のための準備作	紙本・彩色	デンマーク　コペンハーゲン	12.0×16.0
26	春兆 小下図 B　＊	1982	74	改組第14回日展のための準備作	紙本・彩色	デンマーク　コペンハーゲン	25.2×34.9
27	冬の旅 小下図　＊	1989	81	改組第21回日展のための準備作	紙本・彩色	秋田県鹿角市　湯瀬	23.5×35.0
28	冬の旅(下図)　＊	1989	81	改組第21回日展のための準備作	紙本・鉛筆	秋田県鹿角市　湯瀬	109.4×162.0
29	冬の旅　＊	1989	81	改組第21回日展	紙本・彩色	秋田県鹿角市　湯瀬	110.0×162.0
30	静晨　＊	1994	86	「東山魁夷　信州を描く」展	麻布・彩色	長野県長野市　芋井	65.0×92.0
31	夕静寂　＊	1974	66	改組第6回日展	紙本・彩色	長野県-岐阜県　奥穂高	227.0×158.0
32	牡丹図　＊	1927	19		絹本・彩色	東京都　下落合	82.5×113.8
東北・信州の旅スケッチ							
33	雪国	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色		27.1×35.8
34	雪国の家	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色		27.2×35.7
35	横手にて	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色	秋田県横手市	30.5×38.7
36	雪の山村	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色		28.8×34.7
37	寒風	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色		27.5×36.5
38	冬の海辺	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色		26.7×35.7
39	長野の家	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色	長野県長野市	27.5×37.0
40	雨の日	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色	長野県長野市	32.2×24.5
41	塩名田の家	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色	長野県佐久市	27.0×36.5
42	小諸の家	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色	長野県小諸市	27.5×37.0
43	夏の日	1940-45	32-37	東北・信州の旅スケッチ	紙本・彩色	長野県	26.0×37.2

令和6年度 諏訪市美術館 長野県立美術館 交流名品展
交差する諏訪－風景と人々－

交流名品展は、県内各地域の美術館と共に、双方のコレクションを活用し、協働で企画・立案・実施する展覧会である。地縁ある作家たちの作品を中心に展示し、各館の特色を打ち出すことで、地域の魅力を改めて感じてもらうことを目指す。また、学芸員の交流を通じて、県内美術館との連携を深めることがねらいである。諏訪市美術館との共同開催となる本展では、両館のコレクションから諏訪湖や製糸業などの諏訪地域を描いた作品や、諏訪地域にゆかりのある作家の作品を中心に紹介した。

■会期　令和7年2月1日(土)から3月23日(日)(42日間)
休館日：毎週月曜日、祝日の翌日(2月3日、10日、12日、17日、25日、3月3日、10日、17日、21日)
■会場　諏訪市美術館
■主催等　[主催]諏訪市美術館、長野県、長野県立美術館
[後援]信濃毎日新聞社、長野日報社、市民新聞グループ、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、エルシーブイ株式会社、諏訪美術会、諏訪市美術会、信州美術会
■観覧料　大人610(500)円、小中学生150(100)円　※(　)内は20名以上の団体料金
障がい者(介助者1名までは同額)150円、諏訪地域の小中学生無料
■入館者数　876人(有料：585人　無料：291人)
■イベント　①出張講座「鑑賞についての講義と実践(長野版アートゲーム、対話型鑑賞の手法など)」／講師：青山由貴枝、柄澤初音(当館学芸専門員)／日時：2月2日(日)13:30～16:00／場所：諏訪市公民館2階講義室、諏訪市美術館展示室／参加人数：20人
②アートカードゲーム／日時：2月19日(水)9:45～10:30／場所：諏訪市立上諏訪小学校2年2組教室／参加人数：35人(児童29人、教員1人、諏訪市美術館ボランティアスタッフ5人)
③ギャラリートーク／講師：北原あかね(諏訪市美術館学芸員)、堀千晶(当館学芸員)／日時：2月22日(土)14:00～14:30／場所：諏訪市美術館展示室／参加人数：8人
④対話型鑑賞／日時：2月26日(水)9:00～10:00／場所：諏訪市美術館展示室／参加人数：35人(児童28人、教員3人、諏訪市美術館ボランティアスタッフ4人)
■担当学芸員　堀千晶



No.	作者	作品名	制作年	材料・技法	所蔵先
1階					
1	原輝美	製糸工女	1913(大正2)	油彩、キャンバス	諏訪市美術館
2	中川紀元	ムードンの風景	1919(大正8)頃	油彩、キャンバス	諏訪市美術館
3	藤森青芸	子守り	1919(大正8)頃	絹本着色	諏訪市美術館
4	野村千春	石膏のある静物	1931(昭和6)	油彩、キャンバス	諏訪市美術館
5	西岡瑞穂	だりや	1939(昭和14)	水彩、紙	諏訪市美術館
6	武井直也	青年腰掛像	1934(昭和9)	ブロンズ	諏訪市美術館
7	三村昌弘	黄銅彫金花瓶「野ばら」	1949(昭和24)	鍛金	諏訪市美術館
8	東原徹	化石『樹』	1997(平成9)	紙本着色	諏訪市美術館
9	小口正二	早春譜	1962(昭和37)	彫漆	諏訪市美術館
10	アンリ・マティス	腕を上げ坐る裸婦	1924(大正13)	リトグラフ	諏訪市美術館
11	矢崎博信	高原の幻影	1938(昭和13)	油彩、キャンバス	諏訪市美術館
12	東郷青児	女	1968(昭和43)	油彩、キャンバス	諏訪市美術館
13	志村一男	陽ざしの道	1930(昭和5)	油彩、キャンバス	諏訪市美術館
14	武井武雄	白と黒	1956(昭和31)	木版、紙	諏訪市美術館
15	西郷弧月	波濤月雁	制作年不詳	絹本着色	諏訪市美術館
16	高木こずえ	mizuumi02	2011(平成23)	タイプCプリント	諏訪市美術館
2階					
17	清水多嘉示	ビラ・ファルギェール	1923-27(大正12-昭和2)頃	油彩、キャンバス	長野県立美術館
18	吉田博	穂高山	1926(大正15)	木版、紙	長野県立美術館
19	矢崎重信	『信濃の子供』原画2　諏訪神社	1943(昭和18)	水彩、紙	長野県立美術館
20	須山計一	諏訪大社田植え祭り	1964(昭和39)	油彩、キャンバス	長野県立美術館
21	大久保作次郎	諏訪湖雪景	1921(大正10)	油彩、キャンバス	長野県立美術館
22	金山平三	結氷	1931(昭和6)	油彩、キャンバス	長野県立美術館
23	矢崎重信	雷雲の八ヶ岳	1954(昭和29)	油彩、キャンバス	長野県立美術館
24	島崎鶏二	弓	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	長野県立美術館
25	荻原碌山(守衛)	女	1910(明治43)	ブロンズ	長野県立美術館
26	大和作内	裸婦立像	1970(昭和45)	ブロンズ	長野県立美術館
27	北原三佳	鋳銅花瓶	1964(昭和39)	鋳金	長野県立美術館
28	浜達也	淡水の幻	1974(昭和49)	鍛金	長野県立美術館
29	宮坂房衛	古代の祈り・はにわうたう	1984(昭和59)	彫金	長野県立美術館
30	中村善策	山湖新雪	1975(昭和50)	油彩、キャンバス	長野県立美術館
31	早出守雄	河畔麗日	1968(昭和43)	水彩、紙	長野県立美術館
32	不破章	八ヶ岳残雪	1978(昭和53)	水彩、紙	長野県立美術館
33	関四郎五郎	春寒	1965(昭和40)	油彩、キャンバス	長野県立美術館
34	宮坂勝	湖畔(山湖)	1946(昭和21)	油彩、キャンバス	長野県立美術館
35	有島生馬	春の浅間山	1946(昭和21)	油彩、キャンバス	長野県立美術館
36	小山敬三	冬之浅間山	1967(昭和42)	油彩、キャンバス	長野県立美術館
37	鈴木信太郎	白樺湖	1962(昭和37)	油彩、キャンバス	長野県立美術館
38	矢崎牧廣	鎌ヶ池(奥霧ヶ峯)	1971(昭和46)	油彩、キャンバス	長野県立美術館
39	田村一男	八ヶ岳初冬	1978(昭和53)	油彩、キャンバス	長野県立美術館
40	石井柏亭	画室小集	1949(昭和24)	油彩、キャンバス	長野県立美術館
41	辰野登恵子	UNTITLED 95-11	1995(平成7)	油彩、キャンバス	個人（長野県立美術館寄託）
42	辰野登恵子	望まれる領域 Ⅱ Desired Domain Ⅱ	2012(平成24)	油彩、キャンバス	長野県立美術館
43	松澤宥	プサイの座敷	1963(昭和38)	印刷、紙	長野県立美術館
44	松澤宥	虚空間状況探知センターにて	1969(昭和44)	シルクスクリーン、紙	個人（長野県立美術館寄託）

2024年度長野県立美術館移動展in飯山
丘にそって、河にそって

長野県立美術館は、1966（昭和41）年の開館以来、郷土にゆかりのある美術家たちの作品と、美しい信州の自然を描いた風景画を中心に収集・公開してきた。これらコレクションをより多くの方にご鑑賞いただくため、1979（昭和54）年から県内各地で「移動展」を開催している。5年ぶりに飯山市美術館を会場に開催した本展では、武田雲室、長谷川青澄、浦野吉人ら飯山ゆかりの作家から池田満寿夫や草間彌生といった信州を代表する作家、更には新築オープン以降、新たにコレクションに加わった小山利枝子《胎動》（2008）、根岸芳郎《16-5-14》（2016）、小松美羽《灯し続け、歩き続け》（2016）、榊原澄人《飯縄縁日》（2021）まで、油彩、水彩、日本画、漆絵、ブロンズ、版画、写真、アニメーションと幅広いジャンルを横断する構成となった。加えて、飯山市美術館コレクションから佐藤武造《アイラ・サンダム》（1920）と《秋果》（1967頃）を特別出品した。

■会期　令和6年9月28日（土）から10月13日（日）（14日間）
　　休館日：毎週月曜日
■会場　飯山市美術館
■主催等　［主催］長野県、長野県立美術館、飯山市教育委員会
■観覧料　無料
■入館者数　928人
■担当学芸員　松井正

No.	作者	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
1. 飯山ゆかりの作家たち					
1	武田雲室	瀑布山水図	不詳	絹本彩色	123.5×57.5
2	佐藤武造	洋犬プードル	1959(昭和34)	漆絵、板	25.0×19.5
3	荻原碌山	女	1910(明治43)	ブロンズ	98
4	丸山晩霞	初夏の志賀高原	1909(明治42)年頃	水彩、紙	67.0×101.0
5	長谷川青澄	阿弥陀堂	1989(平成元)	紙本彩色	185.0×138.0
6	浦野吉人	案山子	1963(昭和38)	油彩、カンヴァス	146.5×98.0
2. 飯山の生活と妙高戸隠連山国立公園					
7	石井柏亭	野尻湖	1954(昭和29)	油彩、カンヴァス	60.6×72.7
8	矢崎重信	『信濃の子供』原画 4 三九郎焼き	1943(昭和18)	水彩、紙	38.5×28.5
9	矢崎重信	『信濃の子供』原画 11 小菅神社	1943(昭和18)	水彩、紙	38.5×28.5
10	矢崎重信	『信濃の子供』原画 14 盆々	1943(昭和18)	水彩、紙	28.5×38.5
11	桜庭彦治	戸隠雪景	1967(昭和42)	油彩、カンヴァス	91.5×116.4
12	藤本東一良	妙高	1968(昭和43)	油彩、カンヴァス	114.5×147.5
13	小寺健吉	ゲレンデ	1970(昭和45)	油彩、カンヴァス	91.0×116.7
14	江藤純平	妙高高原	1973(昭和48)	油彩、カンヴァス	112.1×145.5
15	倉島重友	春の牧場	2015(平成27)	紙本彩色	116.7×90.9
16	榊原澄人	黒姫と竜	2016(平成28)	ヴィデオ	-
17	榊原澄人	飯縄縁日	2021(令和3)	ヴィデオ	-
3. 海を渡った作家たち					
18	佐藤武造	アイラ・サンダム　＊	1920(大正9)	絹本彩色	39.8×34
19	佐藤武造	秋果　＊	1967(昭和42)	漆絵、板	21.3×45.5
20	臼井文平	屋上のパーテイ	1926(大正15)	油彩、カンヴァス	117.3×147.5
21	臼井文平	ウッドストックの国吉家	1934(昭和9)	油彩、カンヴァス	56.0×76.8
22	野田英夫	ウッドストックの森　＊＊	1936(昭和11)	鉛筆、紙	12.4×16.9
23	吉岡憲	漁船　＊＊	不詳	油彩、カンヴァス	33.3×45.5
特集展示：…そして戦後から今日まで					
24	オノサト・トシノブ	61-A	1961(昭和36)	リトグラフ、紙	31.0×49.0
25	オノサト・トシノブ	63-A	1963(昭和38)	リトグラフ、紙	24.2×34.2
26	池田満寿夫	化粧する女	1964(昭和39)	ドライポイント・エッチング・ルーレット、紙	36.2×33.5
27	池田満寿夫	天使のいる風景	1965(昭和40)	ドライポイント・エッチング・ルーレット、紙	36.5×34.3
28	靆嘔	Rainbow	1976(昭和51)	シルクスクリーン、紙	50.0×69.5
29	草間彌生	南瓜	1986(昭和61)	セリグラフ、紙	90.5×72.2
30	小山利枝子	胎動	2008(平成20)	アクリル、カンヴァス	228×437
31-1	高木こずえ	hoshi01(「SUZU」より)	2011(平成23)	タイプCプリント	88.4×88.4(額寸)
31-2	高木こずえ	ho1(「SUZU」より)	2011(平成23)	タイプCプリント	66.0×66.0(額寸)
31-3	高木こずえ	tsuki(「SUZU」より)	2011(平成23)	タイプCプリント	35.2×35.2(額寸)
31-4	高木こずえ	sajiki(「SUZU」より)	2011(平成23)	タイプCプリント	27.0×99.0(額寸)
32	根岸芳朗	16-5-14	2016(平成28)	アクリル、カンヴァス	220×370
33	野見山暁治	もっと遠くへ行こう　＊＊	2016(平成28)	油彩、カンヴァス	163.2×360.6
34	小松美羽	灯し続け、歩き続け	2016(平成28)	墨・箔・アクリル、和紙	100.5×190.0

＊=飯山市美術館蔵　　＊＊=信濃デッサン館コレクション

2024年度長野県立美術館移動展in伊那文

生誕150年池上秀畝×菱田春草　コレクションに見る南信が生んだ日本画家たち

長野県立美術館のコレクションをより多くの方にご覧いただくために1979（昭和54）年から県内各地で開催している「移動展」。長野県立美術館として新たに出発した2021（令和3）年からは、公募会場に加えて長野県伊那文化会館にて毎年開催することとなった。

今年度は、生誕150年を迎えた池上秀畝と菱田春草を中心に、南信出身の日本画家の作品を紹介した。近代日本画の旧派、新派の代表画家として活躍した二人に続き、長野県内から多くの画家たちが誕生した。今回は秀畝と春草の作品のほか、現在の伊那市出身の江崎孝坪、伊那市で少年時代を過ごした登内微笑や、飯田市出身の滝澤具幸などを取り上げた。

■会期　令和6年10月19日（土）から11月17日（日）（26日間）
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）
■会場　長野県伊那文化会館　美術展示ホール
■主催等　［主催］長野県、長野県立美術館、長野県伊那文化会館
［共催］長野県教育委員会、伊那市、伊那市教育委員会
■観覧料　一般500（400）円、大学生及び75歳以上300（200）円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
※（　）内は20名以上の団体料金
■入館者数　1,204名（有料：730名　無料：474名）
■イベント　ギャラリートーク
日時：10月19日（土）14：00～14：30／講師：松浦千栄子（当館学芸員）／
場所：長野県伊那文化会館 美術展示ホール／参加人数：8人
日時：11月2日（土）14：00～14：30／講師：木内真由美（長野県伊那文化会館学芸主幹）／
場所：長野県伊那文化会館 美術展示ホール／参加人数：30人
■担当学芸員　鈴木幸野、松浦千栄子

No.	作者	作品名	制作年	技法・材質・形状	サイズ(cm)
1	川上冬崖	雉子雄雌	制作年不詳	紙本彩色	29.4×27.3
2	川上冬崖	桃	制作年不詳	紙本彩色	27.6×39.1
3	川上冬崖	菖蒲	制作年不詳	紙本彩色	27.6×39.1
4	川上冬崖	うずら	制作年不詳	紙本彩色	27.0×37.5
5	川上冬崖	藤	制作年不詳	紙本彩色	27.0×37.5
6	川上冬崖	井戸草に蛙	制作年不詳	紙本彩色	27.6×39.1
7	佐竹蓬平	荘周胡蝶夢	制作年不詳	絹本彩色	126.2×45.3
8	小坂芝田	深遠	1908(明治41)	絹本彩色	230.3×99.7
9	矢沢弦月	新秋　山・里・海	1920(大正9)	絹本彩色	(山)216.5×100.5 (里)215.0×100.5 (海)215.0×115.0
10	藤森青芸	渓谷新緑	制作年不詳	絹本彩色	119.0×84.8
11	江崎孝坪	虎	制作年不詳	紙本彩色	137.8×63.4
12	登内微笑	蔓紫陽花	1961(昭和36)	紙本彩色	190.8×148.8
13	登内微笑	霜	1946(昭和21)	絹本彩色	208.8×118.5
14	滝沢具幸	アラベスク	1988(昭和63)	紙本彩色	206.0×264.0
15	江崎孝坪	無題(源頼朝)	制作年不詳	絹本著色	43.6×53.8
16	江崎孝坪	無題(土師部)	制作年不詳	紙本著色	72.0×60.6
17	江崎孝坪	無題(フラメンコ)	制作年不詳	紙本著色	70.8×63.3
18	江崎孝坪	無題(矢車菊)	制作年不詳	絹本著色	65.5×48.3
19	池上秀畝	怒濤猛鷲 大下図	1930(昭和5)	紙本墨画	164.0×242.0
20	菱田春草	牧牛	1893(明治26)頃	紙本彩色	51.6×83.4
21	菱田春草	老子	1893(明治26)	紙本彩色	93.3×135.7
22	池上秀畝	秋雨	1932(昭和7)	絹本彩色	161.0×177.5
23	池上秀畝	秋日和　*	1934(昭和9)	絹本着色	293.3×147.8
24	池上秀畝	秋日和 大下図	1934(昭和9)	紙本墨画	267.0×120.0
25	登内微笑	多武之峰の春雪　**	1927(昭和2)	紙本彩色	232.0×190.0
26	池上秀畝	画巻	制作年不詳	紙本彩色、墨画	45.0×2322.0
27	池上秀畝	黄柳白鷺	1918(大正7)	絹本彩色	各169.0×366.0
28	池上秀畝	深山鳴鹿図	制作年不詳	絹本彩色	249.5×116.3
29	池上秀畝	四季花鳥(春・夏・秋・冬)	1918(大正7)	紙本彩色	各239.4×103.5
30	菱田春草／西郷孤月	春秋(春の野／湖畔の夕)	1901(明治34)頃	絹本彩色	各107.0×36.5
31	菱田春草／横山大観	乳糜供養・釈迦と魔女	1903(明治36)頃	絹本彩色	各132.5×55.8
32	荒木十畝	木曽鞍馬橋図	1904(明治37)	絹本彩色	139.0×66.0
33	池上秀畝	霊峯高千穂霧島神社 下図	1943(昭和18)	紙本彩色	74.0× 86.0
34	池上秀畝	豊太閤 下図	1942(昭和17)	紙本彩色	54.0×130.0
35	池上秀畝	西山公 下図	1942(昭和17)	紙本墨画	74.0× 86.0

*=京都大学人文科学研究所蔵(長野県立美術館寄託)　**=個人蔵(長野県立美術館寄託)

交流事業

1　善光寺平アートライン推進協議会

善光寺平アートライン推進協議会は、善光寺平の美術館及び芸術文化施設により2009年1月に発足し、相互交流・情報交換・研究などを通して、施設の活性化・充実化や質の向上を図り、このゾーンへの誘客を引き出し、善光寺平全体の芸術文化の長期的な発展を目的としている。2016年度より長野県立美術館に事務局が置かれている。

加盟館（順不同）

【長野市】　北野美術館／北野カルチュラルセンター／北野美術館 戸隠館／水野美術館／長野県立美術館
【須坂市】　豪商の館 田中本家博物館／須坂版画美術館 平塚運一版画美術館／世界の民俗人形博物館／須坂クラシック美術館／旧小田切家住宅
【小布施町】　おぶせミュージアム・中島千波館／髙井鴻山記念館／北斎館／日本のあかり博物館
【高山村】　一茶ゆかりの里 一茶館

（1）　善光寺平アートライン推進協議会 研修会

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	2/8	令和6年度 善光寺平アートライン推進協議会 研修会 テーマ：「額縁の裏側―展示と収蔵のあいだ―」 講師：工藤正明氏（工藤額装工房） 会場：長野県立美術館（レセプションルーム） 担当：堀内昭英、霜田英子、上沢修、佐々木裕貴子	協議会加盟館職員	都合により中止

2　地域との連携事業

長野市立城山小学校クラブ活動のうち、美術館を会場として実施する「アートクラブ」への講師協力を行った。展示室内での鑑賞やワークショップを通して、美術館をより身近に感じながら、館内で楽しく過ごす機会を創出した。また、近隣施設である善光寺事務局主催で開催した夏休み企画「ぜんこうじさんで灯ろうをつくろう！！」に協力団体として参加した。北アルプス国際芸術祭実行委員会や諏訪市美術館と連携し、鑑賞への理解を深めるための対話型鑑賞についての講演及び実践スタッフやボランティア向けに実施した。

城山小学校アートクラブ

城山小学校アートクラブ

城山小学校アートクラブ

（1）　長野市立城山小学校 アートクラブ　　参加者：105

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	6/17	アートクラブ①　オリエンテーション 長野県立美術館について、「長野版アートゲーム」 会場：長野県立美術館（レセプションルーム） 担当：柄澤初音	城山小学校アートクラブ参加児童、教員	21
2	6/24	アートクラブ②　展覧会を見に行こう！ ワークシートをつかった企画展の鑑賞 会場：長野県立美術館（レセプションルーム、展示室1・2・3） 担当：柄澤初音	城山小学校アートクラブ参加児童、教員	21
3	7/1	アートクラブ③　ワークショップ「アートなマスクをつくろう！」 フェイスシールドを使った造形体験 会場：長野県立美術館（レセプションルーム） 担当：柄澤初音	城山小学校アートクラブ参加児童、教員	21
4	9/9	アートクラブ④　ワークショップ「さんかくであそぼう」 三角形の段ボールを使った造形あそび 会場：長野県立美術館（レセプションルーム） 担当：柄澤初音	城山小学校アートクラブ参加児童、教員	21
5	9/30	アートクラブ⑤　展覧会を見に行こう！ アートラボ企画展の鑑賞 会場：長野県立美術館（レセプションルーム、アートラボ） 担当：柄澤初音	城山小学校アートクラブ参加児童、教員	21

（2） 北アルプス国際芸術祭実行委員会　連携事業　　参加者：13

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	5/21	鑑賞についての講演、実践 会場：長野県立美術館（レセプションルーム） 担当：青山由貴枝	北アルプス国際芸術祭実行委員会事務局スタッフ	13

北アルプス国際芸術祭との連携事業

（3） 諏訪市美術館　連携事業　　参加者：20

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	2/2	鑑賞についての講演と実践（長野版アートゲーム、対話型鑑賞の手法など） 会場：諏訪市公民館2階講義室、諏訪市美術館展示室 担当：青山由貴枝	諏訪市美術館職員・ボランティア、諏訪郡内美術館職員	20

諏訪市美術館との連携事業

3　県内大学等との連携事業

信州大学（教育学部）との連携事業として、鑑賞プログラムの運営をテーマとした出張授業及び館内プログラムを実施。来館者にとって美術館を身近なものとし、美術館での体験をより豊かなものにするための方法について学ぶ機会とした。

（1） 信州大学との連携事業　　参加者：172

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	5/29	「鑑賞プログラム／こどもアートラボについて」 対話型鑑賞の概要説明と体験、こどもアートラボの意義と事例紹介 会場：信州大学教育学部 担当：山下樹里	信州大学2〜4年生教員	16
2	7/1	「こどもアートラボに向けた企画プレゼンテーションと講評」 学生による企画プレゼンおよび講評 会場：長野県立美術館（レセプションルーム） 担当：山下樹里	信州大学2〜4年生教員	14
3	7/20	「長野県立美術館について、ミュージアムエデュケーションとは？」 美術館紹介、ミュージアムエデュケーションについて、館内見学 会場：長野県立美術館（レセプションルーム） 担当：山下樹里	信州大学1年生、教員	12
4	10/2	「こどもアートラボ運営」 10月こどもアートラボ「びょうぶであそびょうぶ！」の準備、運営 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：山下樹里	信州大学2〜4年生教員	130

信州大学との連携事業

信州大学との連携事業

4　インクルーシブ・プロジェクト

美術館がだれでも安心してアートと出会える場所になることを目指すプロジェクト。障がいのある方がより安心して美術館に訪れることができるよう、休館日に開館し、展覧会を鑑賞することができる「障がいのある方のための特別鑑賞日」（2回）の開催や、館内スタッフのインクルーシブスキル向上を図るため事前研修等を実施した。また、視覚障がいや筆談鑑賞をテーマとしたインクルーシブイベントを実施し、障がいの有無を超えて、アートを体験できる機会を提供した。

インクルーシブ研修会の様子

（1）　館職員を対象としたインクルーシブ研修会の実施　　参加者：50

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	8/8 8/19	職員研修 車いすユーザーの生活について、 車いすの取り扱いおよび体験など 講師：長野県社会福祉協議会職員1名、車いすユーザー 成竹氏 会場：長野県立美術館（レセプションルーム）、館内 担当：青山由貴枝	職員、アート・ コミュニケータ	50

障がいのある方のための特別鑑賞日

（2）　障がいのある方のための特別鑑賞日　　参加者：235

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	8/21	障がいのある方のための特別鑑賞日 ひらくツール体験コーナーや、企画展モチーフに触れるスペースを設置 会場：長野県立美術館 （展示室1・2・3、館内無料スペース） 担当：青山由貴枝	障がいのある 方と付添	97
2	11/6	障がいのある方のための特別鑑賞日 手話通訳付きのギャラリートークの開催や、造形体験スペースを設置 会場：長野県立美術館 （展示室1・2・3、館内無料スペース） 担当：柄澤初音	障がいのある 方と付添	138

障がいのある方のための特別鑑賞日

（3）　インクルーシブイベントの開催　　参加者：43

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	12/1	「みる」を考える 見えない人と見える人が一緒にみるために 県内視覚障がい者とともに、展示室にて対話型鑑賞を実践 講師：日野陽子（京都教育大学准教授） 会場：長野県立美術館（レセプションルーム、展示室2・3） 担当：青山由貴枝	障がいのある 方と付添、 一般参加者	29
2	2/22	「みる」を考える つたえる・つながる・筆談鑑賞 聴覚障がい者とともに、展示室にて筆談による鑑賞を実践 講師：小笠原新也（耳の聞こえない鑑賞案内人） 会場：長野県立美術館 （レセプションルーム、展示室1・2・3） 担当：柄澤初音	障がいのある 方と付添、 一般参加者	14

「みる」を考える

（4）　トークフリーデー

声の大きさを気にせずに作品をみて感じたことを話しながら作品鑑賞を楽しむ「トークフリーデー」を毎月1回（第4土曜日）設定し、来館者のより深い作品鑑賞を促す機会とした。
※開催時間は開館時間に準ずる
※参加者は展覧会来場者数に準ずる

「みる」を考える

学習事業

1　スクールプログラム

学校団体鑑賞の受入では、県内の小・中・高等学校を対象とした「自由鑑賞」、特別支援学校・学級を対象とした「オリジナルプログラム」を行い、計 89 校（児童・生徒・引率教員 3,621 名）が来館した。また、特別支援学校・学級への出張講座を 7 回、信州大学附属病院院内学級へ 5 回の出張講座を実施。加えて県内の教員へ向けた教員研修会を 4 回実施した。

貸出教材「長野版アートゲーム」は昨年度から引き続き、学校教育施設へ 36 件貸出した。

（1）　学校団体鑑賞の受入

自由鑑賞

受け入れ人数：3,327

No.	来館日	学校名／学年	児童生徒	引率教員	合計
1	4/18	グリーン・ヒルズ中学校1～3年	11	3	14
2	5/23	長野県長野商業高等学校定時制1年	23	2	25
3	5/23	長野県上田千曲高等学校 建築家2年	39	2	41
4	5/24	安曇野市立穂高東中学校2年	30	1	31
5	6/6	長野県更級農業高等学校3年	17	1	18
6	6/7	長野県長野高等学校定時制1～3年	27	7	34
7	6/11	中野市立豊田小学校4年	27	3	30
8	6/13	長野市立大岡中学校1､2年	11	6	17
9		東御市立祢津小学校4年	50	3	53
10	6/14	諏訪市立上諏訪小学校4年	57	6	63
11		信学会 栗田こども園年長	18	4	22
12		第一学院高等学校長野キャンパス1～3年	40	3	43
13	6/25	東筑摩郡生坂村立生坂小学校4年	14	3	17
14	7/4	須坂市立東中学校3年	44	5	49
15	7/5	長野市立城山小学校5年	29	1	30
16	7/11	上田市立武石小学校4年	31	2	33
17	7/14	長野県長野西高等学校通信制	70	11	81
18	7/20	中野市立南宮中学校1～3年	28	2	30
19	7/23	辰野町立辰野南小学校4年	15	3	18
20	7/25	東御市立和小学校5年	59	3	62
21	8/1	信州大学教育学部附属長野中学校美術部	47	1	48
22	8/5	長野県長野ろう学校文化部	3	2	5
23	8/8	長水高等学校図書館協議会	25	14	39
24	8/30	信学会 栗田こども園年長	18	7	25
25	8/31	学校法人豊野学園 さくら国際高等学校 長野キャンパス1～3年	17	3	20
26	9/2	上田市立神科小学校6年	122	5	127
27	9/3	野沢温泉村立野沢温泉小学校4年	28	2	30
28	9/6	松本市立清水小学校4年	107	6	113
29	9/10	高山村立高山小学校4年	38	7	45
30	9/10	木曽町立福島小学校4年	39	6	45
31	9/13	岡谷市立小井川小学校4年	42	5	47
32	9/13	木曽町立日義小学校4年	16	4	20
33	9/17	中野市立中野小学校5年①	68	4	72
34	9/17	長野市立豊栄小学校5年	14	4	18
35	9/19	佐久市立東小学校4年	41	4	45
36	9/20	中野市立中野小学校5年②	68	4	72
37	9/20	岡谷市立岡谷田中小学校4年	59	4	63
38	9/20	長野市立山王小学校2年	30	4	34
39	9/24	長野市立共和小学校5年	48	5	53
40	9/26	長野市立共和小学校2年	52	4	56
41	9/30	上田市立塩川小学校4年	30	2	32
42	10/1	中野市立高丘小学校特別支援学級	13	2	15
43	10/1	長野市立古里小学校2年	105	7	112
44	10/4	上田市立清明小学校4年	50	5	55
45	10/7	長野市立三本柳小学校2年	113	7	120
46	10/11	山形村立山形小学校4年	84	5	89
47	10/15	飯山市立東小学校4年	7	2	9
48	10/15	飯山市立城北中学校特別支援学級1～3年	5	2	7
49	10/17	伊那市立西春近南小学校4年	21	3	24
50	10/18	飯山市立木島小学校4年	26	2	28
51	10/21	千曲市立治田小学校4年	55	4	59
52	10/24	佐久市立岸野小学校6年	20	2	22
53	10/25	上田市立中塩田小学校4年	75	4	79
54	11/5	長和町立長門小学校4年	30	2	32
55	11/5	上田市立浦里小学校4年	9	2	11
56	11/7	長野県中野立志舘高等学校①	35	2	37
57	11/7	長野市立裾花小学校5年	80	4	84
58	11/7	長野県中野立志舘高等学校②	34	2	36
59	11/8	長野市立松代小学校5年	53	3	56
60	11/8	長野市立清野小学校5年	2	1	3
61	11/8	松本市立旭町小学校5年	58	5	63
62	11/11	長野市立三本柳小学校4年	29	2	31
63	11/11	上田市立丸子北小学校4年	62	4	66
64	11/14	東御市立滋野小学校4年	40	3	43
65	11/22	長野県長野工業高等学校建築学科1年	41	2	43
66	11/25	千曲市立屋代小学校5年	59	2	61
67	11/26	小布施町立栗ガ丘小学校4年	105	6	111
68	12/3	長野県軽井沢高等学校1年	49	4	53
69	1/10	学校法人長野日本大学小学校1年	14	3	17
70	1/28	軽井沢風越学園	22	4	26
71	2/3	信州大学教育学部附属長野中学校2学年①	41	2	43
72	2/10	信州大学教育学部附属長野中学校2学年②	41	2	43
73	2/14	信州大学教育学部附属長野中学校2学年③	41	2	43
74	2/17	信州大学教育学部附属長野中学校2学年④	41	2	43
75	2/21	信州大学教育学部附属長野中学校2学年⑤	41	2	43

特別支援学校オリジナルプログラム

受け入れ人数：294

No.	来館日	学校名／学年	児童生徒	引率教員	合計
1	6/6	長野県稲荷山養護学校中学部2年	25	17	42
2	7/4	長野県稲荷山養護学校中学部1年	30	16	46
3	7/12	千曲市立戸倉上山田中学校特別支援学級	8	2	10
4	10/17	長野県上田養護学校中学部3年	1	3	4
5	10/25	長野県長野養護学校小学部1年	13	7	20
6	10/31	長野県小諸市養護学校中学部2年	13	12	25
7	11/1	長野県長野養護学校小学部2年～高等部3年	7	11	18
8	11/15	長野県長野ろう学校小学部～高等部	5	5	10
9	11/18	長野市立柳町中学校特別支援学級	25	7	32
10	11/22	長野県稲荷山養護学校高等部3年	32	14	46
11	1/31	須坂市立森上小学校特別支援学級	14	5	19
12	2/3	須坂市立高甫小学校特別支援学級	8	2	10
13	2/21	長野県長野ろう学校高等部3年	4	3	7
14	3/7	佐久市立中佐都小学校特別支援学校	4	1	5

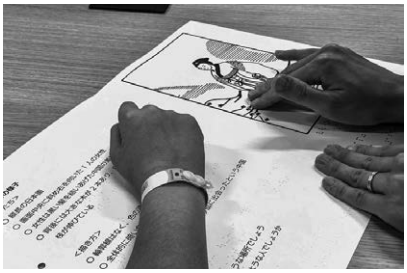
中谷芙二子《Dynamic Earth Series I》
霧の彫刻 #47610、2021年、長野県立美術館

（2） 盲・ろう・特別支援学校等への出張講座　　参加者：267

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	4/26	信州大学附属病院 院内学級 「ひらくツールの体験」（鑑賞） 担当：柄澤初音	中学生、教員	10
2	6/21	信州大学附属病院 院内学級 「パフェを作ろう！」（造形体験） 担当：柄澤初音	小中高生、教員	12
3	7/20	長野県小諸養護学校わかば学級小学部 「ひらくツールの体験」（鑑賞） 担当：柄澤初音	児童、教員	12
4	9/13	信州大学附属病院 院内学級 「木端でつくろうみんなのまち」（造形体験） 担当：柄澤初音	小中高生、教員	12
5	11/21	長野県稲荷山養護学校高等部 「長野県立美術館に行こう！」（来館前の事前学習） 担当：柄澤初音	生徒、教員	46
6	11/28	長野県小諸養護学校わかば学級 「パフェをつくろう！」（造形体験） 担当：柄澤初音、青山由貴枝	児童生徒、教員、保護者	45
7	12/11	信濃町立信濃小中学校特別支援学級 「まねっこ魁夷！スタンプバッグをつくろう」（造形体験） 担当：柄澤初音、青山由貴枝	児童生徒、教員	27
8	12/13	信州大学附属病院 院内学級 「コラージュ缶バッジをつくろう」（造形体験） 担当：柄澤初音、山下樹里	児童生徒、教員、学生	10
9	12/17	須坂市立高甫小学校特別支援学級 「マスキングテープで馬をつくろう」（造形体験） 担当：柄澤初音、青山由貴枝	児童、教員	10
10	1/19	稲荷山養護学校 「おやこで楽しもう！カラフルねんど」（造形体験） 担当：柄澤初音、青山由貴枝	児童生徒、教員、保護者	44
11	1/27	長野県若槻養護学校中学部 「長野版アートゲームで遊ぼう」（鑑賞） 担当：柄澤初音	生徒、教員	21
12	2/13	信州大学附属病院 院内学級 「○△□であそぼう！」（造形体験） 担当：柄澤初音	生徒、教員	7
13	2/19	長野県長野ろう学校高等部 「長野版アートゲーム・筆談鑑賞」（来館前の事前学習） 担当：柄澤初音	生徒、教員	11

（3） 学校教職員の研修会等の開催および協力　　参加者：186

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	7/26 8/5	長野県立美術館令和6年度スクールプログラム一斉説明会 長野県立美術館での鑑賞教育について、スクールプログラムの利用方法、館内自由見学 会場：長野県立美術館（レセプションルーム） 担当：柄澤初音、青山由貴枝	教員	28
2	8/1	上水内教育会令和6年度夏季大学 臨地講習 長野版アートゲーム、スライドによる対話型鑑賞についての講演と実践 会場：長野県立美術館（ホール） 担当：青山由貴枝、柄澤初音	教員	58
3	8/6	長野県諏訪養護学校芸術研修 特別支援学校のためのスクールプログラム紹介、長野版アートゲーム、鑑賞教育についての講演 会場：長野県諏訪養護学校 担当：青山由貴枝、柄澤初音	教員	76
4	1/7	飯綱町立飯綱中学校教員研修 長野版アートゲーム、スライドによる対話型鑑賞についての講演と実践 会場：飯綱町立飯綱中学校 担当：青山由貴枝、柄澤初音	教員	24


出張講座

出張講座

教員研修会の様子

スクールプログラム一斉説明会

スクールプログラム一斉説明会

（4） 鑑賞教材「長野版アートゲーム」の貸出　　貸出件数：36

No.	貸出先	教師用	生徒用
1	千曲市立屋代中学校	1	6
2	長野県岩村田高等学校	1	2
3	諏訪市立諏訪西中学校	1	7
4	長野市立松ヶ丘小学校	1	1
5	長野市立南部小学校	2	2
6	長野市立川中島小学校	1	8
7	千曲市立戸倉上山田中学校	1	2
8	須坂市立相森中学校	1	6
9	信濃町立信濃小中学校	1	1
10	長野市立鍋屋田小学校	0	1
11	飯綱町立飯綱中学校	1	6
12	長野市立保科小学校	0	1
13	いいづな学園グリーン・ヒルズ小学校・中学校	1	1
14	長野市立清野小学校	1	2
15	長野市立通明小学校	1	1
16	長野市立西部中学校	0	0
17	木曽町立福島小学校	2	10
18	飯島町立飯島中学校	1	6
19	上田市立塩川小学校	0	7
20	長野市立川中島中学校	0	0
21	野沢温泉村立野沢温泉小学校	1	6
22	飯山市立東小学校	0	1
23	長野市立柳原小学校	1	8
24	佐久市立臼田小学校	1	7
25	長野市立青木島小学校	1	6
26	上田市立菅平小中学校	1	1
27	佐久市立東小学校	0	8
28	飯山市立木島小学校	1	6
29	千曲市立屋代小学校	1	12
30	長野市立豊野東小学校	1	6
31	松本市梓川中学校	1	1
32	長野県白馬高等学校	1	5
33	筑北村立聖南中学校	1	15
34	長野県若槻養護学校	0	1
35	諏訪市美術館	1	6
36	飯綱中学校	1	5

2　鑑賞プログラムの開催

子どもから大人までを対象に、コレクションや展覧会をテーマにした毎月1 回の鑑賞プログラム「こどもアートラボ」や、展示室で対話による鑑賞を行う「おやこでトーク」、「おとなもトーク」を開催。また、3 つの巨石を来館者とともに磨く「Love Stone Project − Nagano 石磨きワークショップ」を開催し、美術館に訪れる方が、アートに親しむための機会とした。

こどもアートラボ

こどもアートラボ

（1）　こどもアートラボ　　参加者：1,852

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	4/13	こどもアートラボ　「カラフルストローであそぼう！」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	228
2	5/11	こどもアートラボ　「いろいろくろいろ」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	188
3	6/8	こどもアートラボ　「たじけん監修 布引牛をつくろう」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	38
4	7/13	こどもアートラボ　「まんまるうちわをつくろう」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	170
5	8/10 8/11 8/12	こどもアートラボ　「夏休み特別編！世界の石を磨こう」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 講師：冨長敦也（彫刻家） 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	305
6	9/14	こどもアートラボ　「にじいろスティックであそぼう！」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	133
7	10/12	こどもアートラボ×信州大学 「パタパタペタペタ えのぐであそびょうぶ！」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音 ※信州大学教育学部との連携事業として企画運営を学生が担当	子どもから大人まで	130
8	11/9	こどもアートラボ　「すみからすみまで！墨実験室」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	118
9	12/14	こどもアートラボ　「みんなでチャレンジ！キャップでアート」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	107
10	1/11	こどもアートラボ　「へんてこいきものを作ろう！」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	164
11	2/8	こどもアートラボ　「いろいろつみきをつくってあそぼう！」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	136
12	3/9	こどもアートラボ　「みんなでチャレンジ！紙コップアート」 会場：長野県立美術館（交流スペース） 担当：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音	子どもから大人まで	135

（2） おやこでトーク　　参加者：11

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	5/25	おやこでトーク①「東山魁夷館コレクション展2024第I期」 会場：東山魁夷館 ファシリテータ：青山由貴枝、柄澤初音	小学生以下の子どもとその保護者	2
2	7/27	おやこでトーク②「アートラボ第II期冨長敦也 石の見る夢」 会場：アートラボほか ファシリテータ：柄澤初音、青山由貴枝	小学生以下の子どもとその保護者	5
3	3/23	おやこでトーク④「アートラボ第IV期光島貴之 でこ・ぼこ・ながの」 会場：アートラボ ファシリテータ：柄澤初音	小学生以下の子どもとその保護者	4

おやこでトーク

（3） おとなもトーク　　参加者：28

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	5/25	おとなもトーク①「東山魁夷館コレクション展2024第I期」 会場：東山魁夷館 ファシリテータ：柄澤初音	一般参加者（中学生以上）	3
2	7/27	おとなもトーク②「NAMコレクション2024第II期」 会場：コレクション展示室 ファシリテータ：山下樹里	一般参加者（中学生以上）	3
3	9/28	おとなもトーク③「東山魁夷館コレクション展2024第III期」 会場：東山魁夷館 ファシリテータ：青山由貴枝	一般参加者（中学生以上）	8
4	11/23	おとなもトーク④「NAMコレクション2024第III期 もうひとつの風景」 会場：コレクション展示室 ファシリテータ：柄澤初音	一般参加者（中学生以上）	6
5	1/25	おとなもトーク⑤「東山魁夷館コレクション展2024第IV期」 会場：東山魁夷館 ファシリテータ：青山由貴枝	一般参加者（中学生以上）	4
6	3/22	おとなもトーク⑥「信州から考える 絵画表現の50年」展 会場：展示室1・2・3 ファシリテータ：青山由貴枝	一般参加者（中学生以上）	4

おやこでトーク

（4） Love Stone Project-Nagano 石磨きワークショップ　　参加者：626

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	5/3 5/4 5/5	石磨きワークショップ（ヤスリ/6,000番） 講師：冨長敦也（彫刻家） 会場：交流スペース外ウッドデッキ 担当：柄澤初音	一般参加者	626

おとなもトーク

3　アート・コミュニケータ

アートを介してさまざまなコミュニケーション活動を行う人々「アート・コミュニケータ（AC）」とともに、美術館を「出会いと学びの場」とする事業。今年度は、アート・コミュニケータ56名が美術館に通いながら、館主催プログラムへの参加や、日々の活動の中から生まれたAC自主企画（ACラボ）、ACを対象とした勉強会（ACゼミ）などを積極的に行った。館内活動の拠点として、アート・コミュニケータルーム（本館2階）やレセプションルーム（本館3階）を使用した。また4期生の募集を行い、全6回の基礎講座を修了した26名が4期生として正式に加わった。

（1）　館主催プログラムへの参加

No.	開催日	事業内容	回数	AC
1	通年	鑑賞プログラム「こどもアートラボ」 子どもから大人までを対象とし、コレクションや展覧会をテーマに造形体験を実施。美術館スタッフとして活動。	12回	70
2	4/21	オリエンテーション 年度始めとして、ACの活動方法の確認や更新された「活動の約束」の確認、レクリエーションなどを行った。	1回	36
3	5/3 5/4 5/5	Love Stone Project−Nagano 石磨きワークショップ 彫刻家・冨長敦也による、3つの巨石を来館者とともに磨く「石磨きワークショップ」に参加。	3回	11
4	5/18 5/26	鑑賞プログラム「こどもアートラボ」事前準備 子どもから大人までを対象とした造形体験の事前準備（素材作り等）に参加。	2回	18
5	6/29 6/30	アートラボ2024第1期西村陽平　関連ワークショップ アートラボの作家、西村陽平氏のワークショップの準備から当日のアシスタントまでをスタッフとして活動。	2回	14
6	8/8 8/19	障がいのある方のための特別鑑賞日スキルアップ研修 講義を通して障がいの種別やその特性を知り、車いすの扱いや実際に乗って館内外をめぐる体験を行った。	2回	16
7	8/21 11/6	障がいのある方のための特別鑑賞日 駐車場の整理から、館外から館内へ案内、館内での各種ガイド、見回り、体験コーナーの運営など美術館スタッフとして活動。	2回	24
8	12/19〜24	アートライブラリー蔵書点検、清掃 ライブラリー活動に興味のあるACが多数参加し、バックヤードでの蔵書点検や清掃を行った。	6回	9
			合計 30回	198

（2）　AC自主企画プログラムの開催（一般に参加者を募る「ACラボ」など）

No.	開催日	事業内容	回数	AC	参加者数
1	11/10	ACラボ「声を聞き　歩く　−東山魁夷の言葉とともに−」 会場：東山魁夷館 東山魁夷の作品理解を深めるイベントを開催。一般来館者を対象として、東山魁夷の著書から選んだ言葉を読んだあと、個人で展示を鑑賞。再集合した後、自分の感じたことを書き、語り合った。	2回	6	7
2	11/17 11/18	ACラボ「いろ・いろ・あきいろ！〜みんなで美術館を彩ろう〜」 会場：交流スペース 一般来館者や学校団体を対象として、葉っぱ型の台紙にスタンプで模様をつけ、交流スペースの天井から飾り付けるイベントを開催。	2回	19	410
3	11/30 12/1	ACラボ「この時、この場所から言葉を送ろう」 会場：東山魁夷館ラウンジ 東山魁夷館のレコード鑑賞企画に合わせ、レコードを聴きながら作品を鑑賞し、その時に感じたその瞬間の言葉をハガキに書いて送るプログラムを開催。	4回	10	86
4	3/20	ACラボ「ライトなシェアタイム」 会場：企画展出口付近 「信州から考える絵画表現の50年」展を鑑賞した方を対象に、感じたことや気になったことをACと話したり、シールシートに書いてボードに貼り付け共有した。	1回	4	20
			合計 9回	39	523

オリエンテーション

こどもアートラボ事前準備

こどもアートラボ

障がいのある方のための特別鑑賞日

ACラボ「いろ·いろ·あきいろ! ～みんなで美術館を彩ろう～」の様子

ACラボ「この時、この場所から言葉を送ろう」の様子

（3） AC自主企画プログラムの開催（ACを対象とした「ACゼミ」など）

No.	開催日	事業内容	回数	AC
1	5/27	AC2期生でおしゃべり会 会場：ACルーム AC2期生が主体となって定期開催している交流会を開催。	1回	9
2	6/19	AC気軽におでかけクラブ「飯山市へ行ってみよう！」 会場：飯山市寺まち交流館、高橋まゆみ人形館 ACが企画した館外活動。飯山の工芸品である彫金の体験や高橋まゆみ人形館の見学、高橋氏とスタッフとの交流会などを行った。	1回	12
3	6/29 8/8	AC2期生&3期生ごちゃまぜおしゃべり会 会場：レセプションルーム AC2期生、3期生が交流し、今考えていること、やりたいことなどを自由に話す交流会を開催。	2回	21
4	7/20	「浴衣を着てみよう」 会場：レセプションルーム 秋に開催する細見美術館展に合わせて着物のイベントを考えていたメンバーが、プレ企画として開催。浴衣を着て展示を鑑賞するなど、館内でのイベントの参考とした。	1回	5
5	9/1	【ACゼミ】「中谷芙ニ子《霧の彫刻》を学ぶ」 会場：レセプションルーム 講師：松本直樹（美術家・長野美術専門学校副校長）、茂原奈保子（当館学芸員） 常設作品である中谷芙ニ子《霧の彫刻》について、アーティスト集団「ミルク倉庫+ココナッツ」に所属し、中谷氏とも親交のある松本直樹氏（長野美術専門学校副学長）を外部講師に招き、担当学芸員とともに中谷芙二子作品について多方面から解説いただき、学びの機会とした。	1回	15
6	9/15 11/23	「ライブラリーのポップつくろう」 会場：アートライブラリー アートライブラリーとの共同企画。昨年度、蔵書点検の手伝いの際にライブラリー図書の紹介ポップをACが書いたことをきっかけに企画。ポップづくりをしてみたいメンバーが集まり新着図書を中心に紹介するポップを制作した。	2回	13
7	12/15	【ACゼミ】「絵本のおはなし部屋」練習会 会場：アートライブラリー 絵本の読み聞かせイベント開催に向け、実際にアートライブラリーの利用者を対象に読み聞かせの練習を行った。	1回	9
8	1/13	AC気軽におでかけクラブ「日本各地の郷土玩具を学び、創ろう」 会場：日本土人形資料館 ACが企画した館外活動。中野市にある日本土人形資料館を見学した後に、土人形に絵付けをする体験をした。	1回	4
9	3/2	【ACゼミ】アートコンパッション 「がん疾患について学ぼう/こころに響くアートケア：がん患者さんとの心温まる対話」 会場：レセプションルーム がん患者×美術館を考えるパーティが、癌や癌患者について学び、現在がん患者やその家族をケアする活動にどのようなものがあるのか学ぶ勉強会を開催。	1回	15
10	3/8	AC交流会 会場：レセプションルーム ACデビュー生（1期生）や4期生にも声をかけて行った大交流会。今年度の活動報告や企画を準備しているパーティの現状報告、デビュー後の活動の報告などを行った。	1回	28
			合計 12回	131

※ No.2、5、10 は希望するデビュー生（1 期生）も参加した。

ACゼミ「中谷芙ニ子《霧の彫刻》を学ぶ」の様子

「ライブラリーのポップつくろう」の様子

ACゼミ「絵本のおはなし部屋」練習会

ACゼミ アートコンパッション
「がん疾患について学ぼう/こころに響くアートケア:がん患者さんとの心温まる対話」の様子

（4） AC4期生 基礎講座（全6回）

No.	開催日	事業内容	AC
1	11/16	第1回基礎講座　オリエンテーション 講師：当館学芸員、学芸専門員 会場：レセプションルーム 担当：山下樹里	25
2	12/7	第2回基礎講座　ACってどんな存在？ 講師：伊藤達矢（東京藝術大学教授） 会場：ホール 担当：山下樹里	27
3	12/16	第3回基礎講座　「きく」力 講師：西村佳哲（プランニング・ディレクター） 会場：レセプションルーム 担当：山下樹里	28
4	1/20	第4回基礎講座　「鑑賞/見る」を考える 講師：青山由貴枝（当館学芸専門員） 会場：レセプションルーム 担当：山下樹里	30
5	2/17	第5回基礎講座　グッド・ミーティング/プログラムづくり 講師：青木将幸（ミーティングファシリテーター） 会場：レセプションルーム 担当：山下樹里	25
6	3/2	第6回基礎講座　プログラム発表/具体的な活動について 講師：青木将幸（ミーティングファシリテーター） 会場：レセプションルーム 担当：山下樹里	25
			合計　160

※No.2～6には希望するAC現役生も参加した。

（5） AC年間活動回数

	2期生	3期生	4期生	合計
4月	21	28	—	49
5月	26	27	—	53
6月	22	19	—	41
7月	19	10	—	29
8月	25	31	—	56
9月	26	16	—	42
10月	15	20	—	35
11月	36	30	24	90
12月	22	21	46	89
1月	10	17	24	51
2月	12	22	22	56
3月	31	33	24	88
合計	265	274	140	679

第1回基礎講座

第2回基礎講座

第4回基礎講座

第5回基礎講座

第6回基礎講座

アートライブラリー

1　統計

(1)図書資料の受入統計

	展覧会カタログ	図書	雑誌(年報・紀要等含む)
購入	17	147	239
寄贈	448	52	292
計	465	199	531

※総受入数は1,195冊

(2)アートライブラリー利用統計

	入室者数	図書出納利用者数	出納図書数	レファレンス数	複写
4月	758	3	7	4	2
5月	646	4	9	4	4
6月	892	9	19	7	3
7月	723	5	41	4	1
8月	1,056	2	3	6	1
9月	825	12	47	3	1
10月	1,031	1	1	7	2
11月	1,112	4	17	8	2
12月	264	3	8	3	2
1月	475	5	19	4	2
2月	575	2	13	4	3
3月	762	2	3	4	0
計	9,119	52	187	58	23

※12月19日から27日まで蔵書点検・整理のため休室

2　アートライブラリーサービス

(1)蔵書検索

インターネットによる蔵書検索システム(OPAC)の専用端末を設置し、一般の利用者が展覧会図録や図書を検索できるよう対応した。

(2)所蔵作品検索

所蔵作品検索用端末を設置し、一般の利用者が当館の所蔵作品を検索できるよう対応した。

(3)閲覧

閲覧室で収集保存している美術図書や展覧会図録、美術雑誌等を公開し、一般の利用者が自由に資料を閲覧できるよう対応した。

(4)レファレンス・サービス

美術関連資料や所蔵状況の問合せなどに対応し、他の図書館等の所蔵確認も行った。
また、その内容を国立国会図書館のレファレンス共同データベースへ掲載したり、他へ記録として残したりすることで、データを蓄積し、活用できるように努めた。

(5)複写サービス

閲覧室内で所蔵する図書資料について、資料の状態や著作権の範囲内で複写サービスを実施した。

(6)当館ウェブサイトへの利用案内掲載

当館ホームページにアートライブラリーの利用案内を掲載するとともに、同ページから蔵書検索や所蔵作品検索ができるよう対応した。

収蔵品貸出

主催者等		展覧会名称	展覧会会期		
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	備考
横須賀美術館		驚異の細密表現展―江戸・明治の工芸から現代アートまで―	令和６年４月20日～６月23日		
1	河野通勢	長野の近郊（長野風景）	1915（大正4）年	油彩、カンヴァス	
福井県立美術館		生誕150年記念　菱田春草展　不朽の名作《落葉》誕生秘話	令和６年９月15日～11月４日		
2	菱田春草	伏姫（常磐津）	1900（明治33）年	絹本彩色	
3	菱田春草	羅浮仙	1901（明治34）年頃	絹本彩色	
4	菱田春草	寂静	1910（明治43）年頃	絹本彩色	
5	菱田春草	羊図	1902（明治35）年	絹本彩色	個人蔵（長野県立美術館寄託）
6	菱田春草、横山大観、西郷孤月、下村観山、木村武山	初期日本美術院同人扇面画帳	不詳	紙本墨画	個人蔵（長野県立美術館寄託）
飯田市美術博物館		菱田春草　生誕150年記念特別展　創造の道筋―画巻《四季山水》への歩み―	令和６年10月５日～11月４日		
7	菱田春草	四季山水図下図	1909（明治42）年	絹本彩色	個人蔵（長野県立美術館寄託）
静岡県立美術館		無言館と、かつてありし信濃デッサン館―窪島誠一郎の眼	令和６年10月12日～12月15日		
8	靉光	少年	1937（昭和12）年	鉛筆、紙	信濃デッサン館コレクション
9	靉光	鰐	1940（昭和15）年	鉛筆、紙	信濃デッサン館コレクション
10	靉光	男の顔	1941（昭和16）年	インク、紙	信濃デッサン館コレクション
11	靉光	鳥	1942（昭和17）年	墨、紙	信濃デッサン館コレクション
12	古茂田守介	少年	1955（昭和30）年	インク、紙	信濃デッサン館コレクション
13	古茂田守介	裸婦	1957（昭和32）年	コロタイプ、紙	信濃デッサン館コレクション
14	古茂田守介	カレイ	1958（昭和33）年	油彩、カンヴァス	信濃デッサン館コレクション
15	関根正二	三人裸像	1915（大正4）年	インク、紙	信濃デッサン館コレクション
16	関根正二	自画像	1916（大正5）年	インク、紙	信濃デッサン館コレクション
17	関根正二	砂町風景	1916（大正5）年	インク、紙	信濃デッサン館コレクション
18	戸張孤雁	玉のり	不詳	鉛筆、紙	信濃デッサン館コレクション
19	戸張孤雁	足芸	不詳	鉛筆、紙	信濃デッサン館コレクション
20	戸張孤雁	芸人	不詳	鉛筆、紙	信濃デッサン館コレクション
21	野田英夫	初冬	1932（昭和7）年	油彩、カンヴァス	信濃デッサン館コレクション
22	野田英夫	手紙を書く女	1933（昭和8）年	インク・鉛筆・色鉛筆、紙	信濃デッサン館コレクション
23	野田英夫	野尻の花	1938（昭和13）年	油彩、ボード	信濃デッサン館コレクション
24	広幡憲	無題	1935（昭和10）年頃	水彩、紙	信濃デッサン館コレクション
25	広幡憲	案内せざる案内人	1935（昭和10）年頃	墨、紙	信濃デッサン館コレクション
26	広幡憲	演説する人	不詳	水彩、紙	信濃デッサン館コレクション
27	松本竣介	ニコライ堂	1941（昭和16）年頃	鉛筆・木炭、紙	信濃デッサン館コレクション
28	松本竣介	少女	1941（昭和16）年	墨、紙	信濃デッサン館コレクション
29	松本竣介	婦人像	1942（昭和17）年頃	墨、紙	信濃デッサン館コレクション

主催者等		展覧会名称	展覧会会期		
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	備考
30	村山槐多	強盗	1911(明治44年)	水彩・鉛筆、紙	信濃デッサン館コレクション
31	村山槐多	信州風景(子守の少年)	1913(大正2)年	木炭・水彩、紙	信濃デッサン館コレクション
32	村山槐多	千曲川風景	1913(大正2)年	木炭、紙	信濃デッサン館コレクション
33	村山槐多	稲生像	1913(大正2)年頃	水彩、紙	信濃デッサン館コレクション
34	村山槐多	尿する裸僧	1915(大正4)年	油彩、カンヴァス	信濃デッサン館コレクション
35	村山槐多	猫を抱ける裸婦	1916(大正5)年	木炭、紙	信濃デッサン館コレクション
36	村山槐多	裸婦	1917(大正6)年	木炭、紙	信濃デッサン館コレクション
37	吉岡憲	笛吹き	1943(昭和18)年	油彩、カンヴァス	信濃デッサン館コレクション
38	吉岡憲	裸婦二態	1947(昭和22)年	水彩、紙	信濃デッサン館コレクション
39	吉岡憲	人物	不詳	油彩、カンヴァス	信濃デッサン館コレクション
国立新美術館		荒川ナッシュ医　ペインティングス・アー・ポップスターズ	令和６年10月30日～12月16日		
40	ルイス・ニシザワ	我が母の夢	1950(昭和25)年	混合技法、布・ファイバーボード	個人蔵(長野県立美術館寄託)
MIDORI長野			令和６年４月25日～９月30日		
41	池田満寿夫	レリーフ「詩人」	1989(平成元)年	ブロンズ	
42	松井康成	晴白練上壺	1990(平成2)年	陶器	
43	松井康成	萃瓷練上壺	1994(平成6)年	陶器	
44	松井康成	萃瓷練上陶筥	1993(平成5)年	陶器	
MIDORI長野			令和６年10月１日～長期展示		
45	池田満寿夫	レリーフ「詩人」	1989(平成元)年	ブロンズ	

新収蔵作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	備考
1	堀内袈裟雄	泉の極智象 A	1962	油彩ほか・カンヴァス	122.2×122.2	購入
2	堀内袈裟雄	泉の極智象 B	1962	油彩ほか・カンヴァス	122.2×122.2	購入
3	堀内袈裟雄	泉の極智象 C	1962	油彩ほか・カンヴァス	122.2×122.2	購入
4	楠本正明	Requiem／L.T,K.T,	1985-1987	アクリルほか・カンヴァス	200.0×472.0	購入
5	冨長敦也	Sphere	2024	彫刻・石、トラバーチン(イタリア産、トルコ産)	直径16.5～57.0(計16点)	購入
6	藤井光	日本の戦争美術1946	2022	ビデオ・インスタレーション	[映像] 1A：14分、1B：23分 2A：26分、2B：26分 3A：23分、3B：25分 4A：23分、4B：27分 [音声] A：5分、C：6分	購入
7	池田満寿夫	白い鳥	不明	油彩・カンヴァス	83.0×68.0	寄贈
8	池田満寿夫	人間のすべてより	1996	油彩・カンヴァス	83.5×66.0	寄贈
9	池田満寿夫	昼	1989	油彩・カンヴァス	75.0×58.0	寄贈
10	池田満寿夫	私は何も聞こえない	不明	油彩・カンヴァス	63.0×54.3	寄贈
11	池田満寿夫	赤い帽子の女	不明	油彩・カンヴァス	57.5×50.0	寄贈
12	池田満寿夫	宗達の森	1986	アクリル・カンヴァス	84.0×71.3	寄贈
13	池田満寿夫	人間のすべて	不明	水彩・紙	46.0×57.0	寄贈
14	池田満寿夫	人間のすべて①	1997	鉛筆・彩色・紙	49.0×61.0	寄贈
15	池田満寿夫	人間のすべて②	1996	水彩・紙	48.5×61.0	寄贈
16	池田満寿夫	人間のすべて③	1997	鉛筆・彩色・紙	49.0×61.0	寄贈
17	池田満寿夫	人間のすべて④	1996	水彩・紙	49.0×61.0	寄贈
18	池田満寿夫	人間のすべて⑤	1996	水彩・紙	57.5×72.5	寄贈
19	池田満寿夫	人間のすべて⑥	1996	水彩・紙	48.5×60.8	寄贈
20	池田満寿夫	人間のすべて⑦	1996	水彩・紙	48.5×61.0	寄贈
21	池田満寿夫	豊	不明	ペン・紙	70.0×66.0	寄贈
22	池田満寿夫	豊	不明	ペン・紙	70.0×66.0	寄贈
23	池田満寿夫	豊	不明	ペン・紙	70.0×66.0	寄贈
24	池田満寿夫	自画像MASUO	不明	ペン・紙	36.0×28.0	寄贈
25	池田満寿夫	バルバラ吉田 BARUBARA	不明	ペン・紙	36.0×28.0	寄贈
26	池田満寿夫	渋沢 SHIBUSAWA	不明	ペン・紙	36.0×28.0	寄贈
27	池田満寿夫	陽子SATO	不明	ペン・紙	36.0×28.0	寄贈
28	池田満寿夫	奈良原NARAHARA	不明	ペン・紙	36.0×28.0	寄贈
29	池田満寿夫	吉田YOSHIDA	不明	ペン・紙	36.0×28.0	寄贈
30	池田満寿夫	野田NODA	不明	ペン・紙	36.0×28.0	寄贈
31	池田満寿夫	川島KAWASHIMA	不明	ペン・紙	36.0×28.0	寄贈
32	池田満寿夫	東野TONO	不明	ペン・紙	36.0×28.0	寄贈
33	池田満寿夫	西脇NISHIWAKI	不明	ペン・紙	36.0×28.0	寄贈
34	池田満寿夫	勝井KATSUI	不明	ペン・紙	36.0×28.0	寄贈
35	池田満寿夫	澁沢SHIBUSAWA	不明	ペン・紙	36.0×28.0	寄贈
36	池田満寿夫	堀田HOTTA	不明	ペン・紙	36.0×28.0	寄贈
37	池田満寿夫	青木AOKI	不明	ペン・紙	36.0×28.0	寄贈
38	池田満寿夫	X	不明	ペン・紙	36.0×28.0	寄贈
39	池田満寿夫	加藤KATO	不明	ペン・紙	36.0×28.0	寄贈
40	池田満寿夫	加藤KATO	不明	ペン・紙	36.0×28.0	寄贈

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	備考
41	池田満寿夫	飯田IIDA	不明	ペン・紙	36.0×28.0	寄贈
42	池田満寿夫	YOKO	不明	ペン・紙	36.0×28.0	寄贈
43	池田満寿夫	海上UMIGAMI	不明	ペン・紙	36.0×28.0	寄贈
44	池田満寿夫	西脇NISHIWAKI	不明	ペン・紙	36.0×28.0	寄贈
45	池田満寿夫	朝倉ASAKURA	不明	ペン・紙	36.0×28.0	寄贈
46	池田満寿夫	スタジオ風景	不明	水彩・紙	58.5×51.0	寄贈
47	池田満寿夫	宗達讃歌(天)	1985	リトグラフ・紙	95.0×231.0	寄贈
48	池田満寿夫	上の方へ	1957	ドライポイント・紙	26.8×10.4	寄贈
49	池田満寿夫	形体	1958	レリーフエッチング・紙	19.0×15.2	寄贈
50	池田満寿夫	案内状のためのデザイン	1958	レリーフエッチング・紙	12.5×10.5	寄贈
51	池田満寿夫	エクス・リブリス 見本	1958	レリーフエッチング・紙	8.3×9.5	寄贈
52	池田満寿夫	みつめる天使	1965	ドライポイント、エッチング、ルーレット・紙	31.0×30.0	寄贈
53	池田満寿夫	おどろき	1959	エッチング・紙	9.0×11.8	寄贈
54	東山魁夷	春の土		紙本墨画	28.0×34.0	寄贈
55	児玉果亭	秋子之図	1906	絹本彩色	126.5×60.5	寄贈
56	児玉果亭	夏景山水図	1906	紙本墨画	135.9×67.0	寄贈
57	児玉果亭	八千代之松・弥生之竹	1906	絹本彩色	120.5×50.6 120.7×50.6	寄贈
58	池上秀畝	海鶴蟠桃	1935	絹本彩色	125.0×42.2	寄贈
59	堀内袈裟雄	炎	1950年代後半	油彩・板	184.0×130.5	寄贈
60	堀内袈裟雄	無題	1974	アクリル・カンヴァス	74.0×243.0	寄贈
61	堀内袈裟雄	作品277	1979	アクリル・カンヴァス	151.5×94.5	寄贈
62	楠本正明	Imagination of T shape 75-1	1975	アクリル・カンヴァス	169.5×272.5	寄贈
63	宮坂了作	地図(島)	1992-93	アクリル・カンヴァス	162.0×390.0	寄贈
64	東山魁夷	緑渓	1956	紙本彩色	86×108	寄贈
65	笠木實	ニコライ堂	1938	紙・エッチング	18.4×26.2	寄贈
66	笠木實	信	1940	紙・エッチング	47.4×36.3	寄贈
67	笠木實	ユリ座像	1940	紙・エッチング	47.4×36.3	寄贈
68	笠木實	ピエタ	1937	紙・エッチング	23.0×16.0	寄贈
69	笠木實	深川さんの像	1940	紙・エッチング	48.5×36.5 イメージ 53.2×42.1 シート	寄贈
70	笠木實	川の畔のレストラン	1963年以後	紙・エッチング	34.8×50.2	寄贈
71	山崎豊三	葦　no.1	1984	ブロンズ	h250.0×w70.0× d23.0	寄贈
72	山崎豊三	葦　no.2	1984	ブロンズ	h250.0×w75.0× d40.0	寄贈
73	山崎豊三	手箱　no.4	1987	ブロンズ・鉛	h4.8×w20.0×d46.0	寄贈
74	山崎豊三	山について　no.1	1990	ブロンズ	h10.0×w12.0×d8.0	寄贈
75	山崎豊三	草叢の小径　no.2	2023	紙粘土・蜜蝋	h9.0×w15.0×d44.0	寄贈
76	山崎豊三	草叢の小径　no.7	2023	紙粘土・蜜蝋	h10.0×w17.0×d15.0	寄贈
77	山崎豊三	草叢の小径　no.8	2023	紙粘土・蜜蝋	h10.0×w18.0×d9.0	寄贈
78	沓掛利通	妙高山 暮雪	不詳	油彩・キャンヴァス	116.7×91.0	寄贈
79	沓掛利通	冬の独鈷山	1996	油彩・キャンヴァス	72.7×100.0	寄贈
80	松林桂月	萬年報喜	1920	紙本墨画	122.8×184.0	寄贈
計	13作家	80点				

長野県立美術館収蔵作品数	本館　4,828点	東山魁夷館　981点	総計　5,809点

広報・マーケティング室事業

ホームページや各種ウェブサイト、SNS、新聞・雑誌、テレビ等の様々な媒体を活用した情報発信に努め、マスメディア等への取材・撮影、画像貸出等の対応を行うとともに、企画展ごとに報道内覧会を行う等、積極的な事業の情報発信を行った。

1　ホームページ、各種ウェブサービスの運用

(1)ホームページ　https://nagano.art.museum/

年間アクセス数：1,590,389件

(2)各種ウェブサービス

・Facebook　https://www.facebook.com/npsam.kaii/
・Instagram　https://www.instagram.com/naganoartmuseum/
・X　https://x.com/naganoartmuseum
・YouTube　https://www.youtube.com/@naganoartmuseum

SNSフォロワー数（※YouTubeはチャンネル登録者数）

	Facebook	Instagram	X	YouTube※
令和5年度	2,121	4,501	3,090	793
令和6年度	2,189	5,782	3,615	933

SNS投稿件数：631件
［内訳］Facebook：207件、X：208件、Instagram：209件、YouTube：7件

2　プレスリリース配信、取材対応

各種報道機関や美術雑誌、情報誌等に向けて展覧会情報等のプレスリリースを配信し取材依頼を行った。また電話やメール等での取材対応を行うとともに、美術館内での撮影や収録の立ち合いなども行った。

(1)プレスリリース配信件数：47件

［内訳］企画展：17件、コレクション展（本館・東山魁夷館）：11件、アートラボ：5件、オープンギャラリー：2件、交流・学習：10件、その他2件

(2)取材対応件数：277件

［内訳］新聞：99件、テレビ・ラジオ：34件、雑誌・会報誌等：71件、ウェブ・SNS等：73件

(3)展評

掲載日	掲載媒体(執筆者)	内容
2024年4月2日付	信濃毎日新聞社(編集委員 植草学)	池上秀畝　進む再評価(生誕150年池上秀畝　高精細画人)
2024年5月29日付	読売新聞社(編集委員 高野清見)	日本画家・池上秀畝回顧展(生誕150年池上秀畝　高精細画人)
2024年7月2日付	信濃毎日新聞社(編集委員 植草学)	ダリ奇想の源泉(ダリ版画展―奇想のイメージ)
2025年3月18日付	朝日新聞社デジタル(編集委員 大西若人)	(美の履歴書：889)「WORK 82―P―35」辰野登恵子　探った可能性、具象?抽象?(信州から考える絵画表現の50年)

3　各種サインボード、広告掲出

長野市内へのアクセス案内看板の掲出や、展覧会の周知を図るため善光寺表参道に企画展の看板を掲出した。また新聞や雑誌、SNS等にも広告を出稿し、展覧会や美術館の情報を広く周知するよう努めた。

善光寺表参道看板

4　企画展と連動したオリジナル商品等の企画・制作

館内レストランとの共同企画により、企画展にちなんだ「コラボメニュー」を企画、制作した。

・ダリ版画展 ― 奇想のイメージ：コラボランチ

・京都 細見美術館の名品 ― 琳派、若冲、ときめきの日本美術―：コラボスイーツ

コラボメニュー

5　来館者アンケート

美術館運営の参考とするため来館者に対してアンケート（ウェブ、紙面）を実施し、展覧会や施設利用時の満足度や意見等を徴取した。

7　刊行物の制作

・令和5年度　長野県立美術館　館報25号

・令和5年度　展覧会年間パンフレット

8　連携・協力事業

(1)「生誕150年池上秀畝　高精細画人」鑑賞バスツアー

企画展「生誕150年池上秀畝　高精細画人」の開催に合わせ、同展を鑑賞するバスツアーへの協力を実施。作家の出身地・長野県伊那市を発着する本ツアーでは、同展に関わった学芸員がバスに同乗し、移動中も解説を行いながらツアーに参加。また美術館到着後は当館学芸員が解説を行い、参加者がより深く作家や作品について学び、鑑賞できる機会を提供した。

①日時:令和6年5月28日（火）／場所:展示室1・2・3、レセプションルーム／解説:木内真由美（長野県伊那文化会館学芸主幹）、松浦千栄子（当館学芸員）／参加人数:31人

②日時:令和6年6月9日（日）／場所:展示室1・2・3、レセプションルーム／解説:福澤浩之（伊那市立高遠町歴史博物館学芸員）、松浦千栄子（当館学芸員）／参加人数:31人

主催：信毎ふれあいネット

鑑賞バスツアーの様子

(2)お届け芸術館　ギター・デュオコンサート

長野市芸術館の企画事業に協力し、同館が行っているお出かけコンサート「お届け芸術館」を当館で開催。企画展「ダリ版画展－奇想のイメージ」の開催に合わせて、作家の出身地・スペインにちなんだギター・デュオのプログラムの演奏を行い、同展を音楽でも楽しめる機会とした。

日時:令和6年9月14日（土）／場所:交流スペース外／出演:岡本和也（ギター）、杉田文（ギター）／参加人数:約200人

主催:長野市芸術館（一般財団法人長野市文化芸術振興財団）

(3)第22回長野灯明まつり

美術館周辺で開催される「長野灯明まつり」に合わせて、美術館の屋上広場「風テラス」の夜間開放やオープンギャラリー・ガラス面に展示した作品の夜間ライトアップなどを行い、イベントへの協力を行った。

夜間開放／日時:令和7年2月7日（金）から2月11日（火・祝）18:00～21:00／場所:屋上広場「風テラス」

主催:長野灯明まつり実行委員会

その他事業

オリジナルワイン「NAM」の企画制作と、関連イベントの開催

信州たかやまワイナリーとの共同企画により当館オリジナル白ワイン「NAM」を制作。当館のコンセプトのひとつである「ランドスケープ・ミュージアム」にちなみ、善光寺平を望む高山村のぶどう畑の風景を重ねながら、同ワイナリーにて醸造・制作した。

またこのワインをお披露目するイベントとして「ランドスケープ・ミュージアム×風テラスワイン」を開催。屋上広場「風テラス」を会場に、特別にライトアップされた善光寺を望みながら、2021 年の当館リニューアルオープン後初となる夜間イベントとして実施。館内レストランの協力も得ながら、ワインの試飲やワインに合わせたこだわりの料理を提供し、ボサノバコンサートや本ワインの企画制作に携わった関係者のトークショーも行う等、美術館を楽しむ試みのひとつとして新たな可能性の場を創出した。

ランドスケープ・ミュージアム×風テラスワイン

ランドスケープ・ミュージアム×風テラスワイン

日時：令和6年9月7日（土）　17：30～19：30
場所：屋上広場「風テラス」
出演：笠原美智子（当館館長）、坂井レイラ知美（ヴォーカル）、平岡遊一郎（ギター）、宮崎桂（株式会社KMD代表取締役クリエイティブディレクター）、田口いづみ（信州たかやまワイナリー 醸造統括）
参加人数：約400名
協力：長野県ワイン協会、信州たかやまワイナリー、（株）マイブックサービス、（株）KMD、長野市芸術館（一般財団法人長野市文化芸術振興財団）、善光寺、ミュゼレストラン善、（有）サンライズ、（株）ながのアド・ビューロ
助成：令和6年度長野県地域発元気づくり支援金活用事業、令和6年度インセンティブ事業（一般財団法人長野県文化振興事業団）

利用案内

施設名称　長野県立美術館
所 在 地　〒380－0801 長野県長野市箱清水 1－4－4（善光寺東隣 城山公園内）
お問合せ　TEL.026－232－0052　FAX.026－232－0050
開館時間　9：00－17：00（展示室入場は 16：30 まで）
休 館 日　毎週水曜日（原則、水曜日が祝日の場合は翌平日）、年末年始（12/28 ～ 1/3）
※展示替え、メンテナンスなどにより臨時休館する場合があります。

観 覧 料

	一般	大学生及び75歳以上	高校生以下又は18歳未満
企画展	展覧会により異なります。		
コレクション展 （本館・東山魁夷館共通）	700（600）円	500（400）円	無料

*割引の併用はできません。
*（　）内は、20名以上の団体割引及び各種割引料金です。
*身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料です。
*大学生及び75歳以上の方は、身分が確認できるものをご提示ください。

長野県立美術館

◉ 2024年度（令和6年度）

館報 No.27

編集・発行　令和7（2025）年6月30日
長野県立美術館
〒380−0801　長野市箱清水1−4−4
電話 026−232−0052
PRINT ISSN 2436-8547
ONLINE ISSN 2436-8563

©2025 Nagano Prefectural Art Museum